新・マスタープラン事業評価管理シート

令和６年度評価結果

令和7年9月

新潟市水道局

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅰ	水質管理の充実・強化	事業・取組名	Ⅰ－１	水源水質の監視	所管課	水質管理課

①事業概要

【事業の目的】	同一の水源を利用する水道事業体や関係機関と連携し、情報共有体制の構築や河川の水質調査を行うことにより、浄水処理への影響を未然に防ぎます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会（両水協）および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施します。 ・灯油流出などの水源水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施します。（365日24時間） ・水道原水の共同調査を実施します（信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業体の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査）。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視します。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査します。	○水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会（両水協）および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施します。 ・灯油流出などの水源水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施します。（365日24時間） ・水道原水の共同調査を実施します（信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業体の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査）。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視します。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査します。	○水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会（両水協）および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施します。 ・灯油流出などの水源水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施します。（365日24時間） ・水道原水の共同調査を実施します（信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業体の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査）。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視します。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査します。	○水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会（両水協）および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施します。 ・灯油流出などの水源水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施します。（365日24時間） ・水道原水の共同調査を実施します（信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業体の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査）。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視します。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	1,174,000	1,174,700	1,015,900	1,735,400
	執行額（b）	1,174,000	1,174,700	1,015,900	1,735,400
	執行率（%）（b）／（a）	100%	100%	100%	100%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%
	期間（d） （従事期間）	12ヶ月	12か月		12か月	12か月		12か月	12か月		12か月	12か月	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】事業・取組の結果は

令和２年度実績

・県内12水道事業体を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。
・感染症の影響により、令和2年度は総会及び幹事会を書面で開催しました。両水協の事業運営に係る基本方針及び実施計画並びに予算の審議決定等を行い、水質異常が発生した場合に影響を最小限とするための迅速かつ適切な対応をする準備を整えました。

令和3年度

・県内12水道事業体を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。
・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和３年度は，総会・第一回幹事会については書面で、第２回幹事会についてはWebで開催しました。両水協の事業運営に係る基本方針及び実施計画並びに予算の審議決定等を行い、水質異常が発生した場合に影響を最小限とするための迅速かつ適切な対応をする準備を整えました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
水源の監視及び調査		1点	
平均（A）	1点		

令和4年度

・県内12水道事業体を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。
・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和４年度は、総会についてはWEBで開催、第1回幹事会は書面で実施し、第2回幹事会のみ対面で開催しました。両水協の事業運営に係る基本方針及び実施計画並びに予算の審議決定等を行い、水質異常が発生した場合に影響を最小限とするための迅速かつ適切な対応をする準備を整えました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
水源の監視及び調査		1点	
平均（A）	1点		

令和5年度

・県内12水道事業体を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。
・新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことにより、令和5年度は、総会については4年ぶりに対面で開催し、2回行われる幹事会について、いずれも対面で開催しました。両水協の事業運営に係る基本方針及び実施計画並びに予算の審議決定等を行い、水質異常が発生した場合に影響を最小限とするための迅速かつ適切な対応をする準備を整えました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
水源の監視及び調査		1点	
平均（A）	1点		

令和6年度

・県内12水道事業体を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。
・令和6年11月に水質技術研修会として、建設中の浄水場（会員である燕・彦総合事務組合水道局）を視察し、技術的知見の向上を図りました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
水源の監視及び調査		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
河川水質事故による水道水への影響	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	0%	0%	0%	0%	0%	100%	3点		0%	100%	3点		0%	100%	3点		0%	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	達成度（D／B）		0点	実績累計（E）	達成度（D／B）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
水道原水の水質調査	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	2回	2回	2回	2回	2回	100%	3点		2回	100%	3点		2回	100%	3点		2 回	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
浄水施設での対応が困難な物質の監視	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	4回	4回	4回	4回	4回	100%	3点		4回	100%	3点		4回	100%	3点		4回	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・本事業の活動予算については、両水協負担金として新潟県内12水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会（毎年6月実施）で承認される事業です。感染症の影響により、会議費及び研修費等の決算額が予算額を下回りました。書面で開催した幹事会において、繰越金の増額を踏まえて、令和3年度の負担金を減額する案が承認されました。			・本事業の活動予算については、両水協負担金として新潟県内12水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会（毎年6月実施）で承認される事業です。感染症の影響により、会議費及び研修費等の決算額が予算額を下回りました。対面で開催した第2回幹事会において、共同調査費の見直しを行い、令和5年度の負担金を減額する案が承認されました。			・本事業の活動予算については、両水協負担金として新潟県内12水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会（毎年6月実施）で承認される事業です。			・本事業の活動予算については、両水協負担金として新潟県内12水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会（毎年6月実施）で承認される事業です。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・両水協の活動を通して，信濃川水系および阿賀野川水系で57件(例年100件程度)発生した水質事故について，事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより，水系全体の影響を未然に防ぎました。加えて，年次計画にある共同調査や特別調査を実施し，会員事業体の共益となる情報が得られました。 ・本市に直接影響する事案としては，秋葉区の朝日沈砂池からの油流出事故がありましたが，関係者と連携して必要な対応を実施しました。			・両水協の活動を通して、信濃川水系および阿賀野川水系で56件(例年100件程度)発生した水質事故について、事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより、水系全体の影響を未然に防ぎました。加えて、年次計画にある共同調査や特別調査を実施し、会員事業体の共益となる情報が得られました。 ・本市に直接影響する事案は、令和4年度はありませんでしたが、引き続き監視および関係者との連携を継続します。			・両水協の活動を通して、信濃川水系および阿賀野川水系で48件発生した水質事故について、事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより、水系全体の影響を未然に防ぎました。加えて、年次計画にある共同調査や特別調査を実施し、会員事業体の共益となる情報が得られました。 ・本市に直接影響する事案としては、1月下旬に西川への灯油流出事故がありましたが、浄水処理への影響はありませんでした。			・両水協の活動を通して、信濃川水系および阿賀野川水系で49件発生した水質事故について、事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより、水系全体の影響を未然に防ぎました。加えて、年次計画にある共同調査や特別調査を実施し、会員事業体の共益となる情報が得られました。 ・本市に直接影響する事案としては、12月下旬に信濃川支流の小阿賀野川への機械油流出事故がありましたが、浄水処理への影響はありませんでした。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅰ	水質管理の充実・強化	事業・取組名	Ⅰ－２	水安全計画の充実・適切な運用	所管課	水質管理課

①事業概要

【事業の目的】	安全で良質な水道水を継続的に供給するために、水源からじゃ口までのすべての過程における一元的な水質管理を行う「水安全計画」を評価し、必要に応じて見直すことで計画の充実を図っていきます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。	○水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。	○水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。	○水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	60時間	60時間	100%	60時間	60時間	100%	60時間	60時間	100%	60時間	60時間	100%
	期間（d） （従事期間）	12ヶ月	12か月		12か月	12か月		12か月	12か月		12か月	12か月	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	5時間 （ア）	5時間 （イ）	（イ／ア）	5時間 （ア）	5時間 （イ）	（イ／ア）	5時間 （ア）	5時間 （イ）	（イ／ア）	5時間 （ア）	5時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況を評価する妥当性の確認を行っています。 ・新たな管理基準値及び、異常時・緊急時対応マニュアルに従い、適切な運用をすることができました。	・毎年度末に水安全計画の運用について，事故等への対応状況を評価する妥当性の確認を行っています。 ・管理基準値及び、異常時・緊急時対応マニュアルに従い、適切な運用をすることができました。	・毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況を評価する妥当性の確認を行っています。 ・管理基準値及び、異常時・緊急時対応マニュアルに従い、適切な運用をすることができました。	・毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況を評価する妥当性の確認を行っています。 ・管理基準値及び、異常時・緊急時対応マニュアルに従い、適切な運用をすることができました。

	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
水安全計画の評価・見直し			1点		水安全計画の評価・見直し		1点		水安全計画の評価・見直し		1点		水安全計画の評価・見直し		1点	
	平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
浄水場「水安全計画」の評価実施率	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点		100%	100%	3点		100%	100%	3点		100%	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・水安全計画実施に際しては特別の予算は計上していません。なお、水安全計画の評価については、平成21年度の策定以来、運用状況を振り返りながら適宜見直しを進めるPDCAサイクルを確実に推進しています。			・水安全計画実施に際しては特別の予算は計上していません。なお、水安全計画の評価については、平成21年度の策定以来、運用状況を振り返りながら適宜見直しを進めるPDCAサイクルを確実に推進しています。			・水安全計画実施に際しては特別の予算は計上していません。なお、水安全計画の評価については、平成21年度の策定以来、運用状況を振り返りながら適宜見直しを進めるPDCAサイクルを確実に推進しています。			・水安全計画実施に際しては特別の予算は計上していません。なお、水安全計画の評価については、平成21年度の策定以来、運用状況を振り返りながら適宜見直しを進めるPDCAサイクルを確実に推進しています。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・新潟市内すべての浄水場において妥当性の確認作業を行いました。 ・水安全計画を着実に実行することによって、水源から給水栓に至るまでのリスクを未然に防止することができ、安全な水道水の安定供給が可能となっています。次年度以降は、より実効性の高い計画となるよう、随時見直していく予定です。			・新潟市内すべての浄水場において妥当性の確認作業を行いました。 ・水安全計画のレビューを行い、大規模塩水遡上時の対応等について本編に追加しました。 ・水安全計画を着実に実行することによって、水源から給水栓に至るまでのリスクを未然に防止することができ、安全な水道水の安定供給が可能となっています。次年度以降も、より実効性の高い計画となるよう、随時見直していく予定です。			・新潟市内すべての浄水場において妥当性の確認作業を行いました。 ・水安全計画を着実に実行することによって、水源から給水栓に至るまでのリスクを未然に防止することができ、安全な水道水の安定供給が可能となっています。次年度以降も、より実効性の高い計画となるよう、随時見直していく予定です。			・新潟市内すべての浄水場において妥当性の確認作業を行いました。 ・水安全計画を着実に実行することによって、水源から給水栓に至るまでのリスクを未然に防止することができ、安全な水道水の安定供給が可能となっています。次年度以降も、より実効性の高い計画となるよう、随時見直していく予定です。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅰ	水質管理の充実・強化	事業・取組名	Ⅰ－３	水質管理体制の強化	所管課	水質管理課

①事業概要

【事業の目的】	水道GLP（水道水質検査優良試験所規範）を維持し，水質検査結果の精度と信頼性を確保します。 また，管末水質監視装置を拡充し，市全域での水質監視体制を強化します。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 ・水道GLPの更新審査（４年毎）を受けます。 ○水質監視体制の強化 ・主要な配水系統に管末水質監視装置を設置します。 （増設・更新） ○その他 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画を策定し，検査計画及び検査結果を公表します。 ・試験方法等の調査研究を実施します。	○水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 ・水道GLPの更新審査（４年毎）を受けます。 ○水質監視体制の強化 ・主要な配水系統に管末水質監視装置を設置します。 （増設・更新） ○その他 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画を策定し，検査計画及び検査結果を公表します。 ・試験方法等の調査研究を実施します。	○水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 ○水質監視体制の強化 ・主要な配水系統に水質自動分析装置（令和5年度より名称変更）を設置します。 （増設・更新） ○その他 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画を策定し、検査計画及び検査結果を公表します。 ・試験方法等の調査研究を実施します。	○水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 ・水道GLPのサーベイランス（４年毎）を受けます。 ○水質監視体制の強化 ・主要な配水系統に水質自動分析装置を設置します。 （増設・更新） ○その他 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画を策定し、検査計画及び検査結果を公表します。 ・試験方法等の調査研究を実施します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	77,252,630	89,505,220	98,031,601	147,138,784
	執行額（b）	70,661,884	89,413,124	89,095,450	149,062,116
	執行率（%）（b）／（a）	91.5%	99.9%	90.9%	101.3%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%
	期間（d） （従事期間）	12ヶ月	12か月		12か月	12か月		12か月	12か月		12か月	12か月	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・教育訓練や水質検査機器の保守点検は毎年度当初に実施計画表を作成し，計画的に実施しており2022年2月にはGLP更新審査を予定しています。 ・水質管理技術については，引き続きOJT（On the Job Training）の確実な実施と効果が期待される業務ローテーションを実施しました。 ・令和2年度水質管理計画を検討し，今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた管理計画を策定し，１月に公表しました。	・管末水質監視装置については予定どおり１台の設置が完了しました。 ・教育訓練や水質検査機器の保守点検は毎年度当初に実施計画表を作成し，計画どおりに実施してます。 ・コロナの影響で延期となっていたGLP更新審査については2022年8月を予定しています。 ・水質管理技術については，引き続きOJT（On the Job Training）の確実な実施と効果が期待される業務ローテーションを実施しました。 ・令和４年度水質管理計画を検討し，今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた管理計画を策定し，１月に公表しました。	・管末水質監視装置については予定どおり１台の設置が完了しました。 ・コロナの影響で延期となっていたGLP更新審査について、2022年8月に実施し、現地審査において認定事務局からは良好な評価を受け、認定を維持しています。 ・水質管理技術については、引き続きOJT（On the Job Training）の確実な実施と効果が期待される業務ローテーションを実施しました。 ・令和５年度水質管理計画を検討し、今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた管理計画を策定し、１月に公表しました。	・水質自動分析装置については、当初２台設置する予定でしたが、設置費用が従前値の２倍程度に高騰し予算編成が困難となったため、当初予定の２台のうち１台を先送りとしました。契約は予定どおり完了していますが、当初見込みに対して工期が大幅に延長したため令和６年度竣工の予定です。 ・水質検査機器についてはLCMSMSと顕微鏡装置の更新が完了しました。 ・水質管理技術については、引き続きOJT（On the Job Training）の確実な実施と効果が期待される業務ローテーションを実施しました。 ・令和６年度水質管理計画を検討し、今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた管理計画を策定し、１月に公表しました。	・令和６年７月～８月にかけて実施された水道GLPサーベイランス(書類審査及び現地審査)では、本市水道GLPシステムは順調に運用されているとの評価を受けています。 ・水質自動分析装置については、令和５年度に発注した工事２件が竣工しました。 ・水質検査機器についてはICPMSと高圧蒸気滅菌機を更新しました。また、微生物試験の信頼性確保に資する細菌室滅菌装置を導入しました。 ・水質管理技術については、引き続きOJT（On the Job Training）の確実な実施と効果が期待される業務ローテーションを実施しました。 ・令和7年度水質管理計画を検討し、今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた管理計画を策定し、１月に公表しました。

	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
	・水道GLPの維持・更新		1点		・水道GLPの維持・更新		1点		・水道GLPの維持・更新		1点		・水道GLPの維持・更新		1点	
	・人材育成及び技術継承		1点		・人材育成及び技術継承		1点		・人材育成及び技術継承		1点		・人材育成及び技術継承		1点	
	平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
検査機器の保守点検実施率	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点		100%	100%	3点		100%	100%	3点		100%	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
管末水質監視装置設置数	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	１台	１台	２台	２台	1台	100%	3点		1台	100%	3点		０台	0%	1点		2台	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	1点		－	－	3点	
教育訓練実施率（訓練実施回数/予定訓練回数）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点		100%	100%	3点		100%	100%	3点		100%	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
水質検査結果のWeb公表回数	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	12回	12回	12回	12回	12回	100%	3点		12回	100%	3点		12回	100%	3点		12回	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実 績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・GLP認定維持に係る予算については適切に執行されました。 ・水道異物分析方法をSEM/EDS法へ完全移行したことに伴い，ICP分析装置を廃止しったため，これに係る修繕費用が抑えられました。 ・水質管理における人材育成・技術の継承については，主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。			・GLP更新審査に係る予算については適切に執行されました。 ・水質検査に係る予算は適切に執行されました。 ・水質管理における人材育成・技術の継承については、主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。			・水質自動分析装置の設置工事に着手しました。水質自動分析装置の設置を確実に進め、市全域での水質監視体制の強化を図ります。 ・水質検査に係る予算は適切に執行されました。 ・水質管理における人材育成・技術の継承については、主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。			・水質自動分析装置の設置工事(１件)において、設計変更に伴う増額が発生したため、予算効率が101%となりました。 ・水質検査に係る予算は適切に執行されました。 ・水質管理における人材育成・技術の継承については、主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	5点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・GLP認定を維持しているということは，本市の水質検査が一定水準以上の技術力を確保し，その検査精度について第三者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実に行うことは，本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 ・水質管理における人材育成・技術の継承にあたっては，分析技術の計画的な習得を進め教育訓練を着実に実施することで、その成果を現場に反映できるよう努めています。			・GLP認定を維持しているということは、本市の水質検査が一定水準以上の技術力を確保し、その検査精度について第三者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実に行うことは、本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 ・水質管理における人材育成・技術の継承にあたっては、分析技術の計画的な習得を進め教育訓練を着実に実施することで、その成果を現場に反映できるよう努めています。			・GLP認定を維持しているということは、本市の水質検査が一定水準以上の技術力を確保し、その検査精度について第三者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実に行うことは、本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 ・水質管理における人材育成・技術の継承にあたっては、分析技術の計画的な習得を進め教育訓練を着実に実施することで、その成果を現場に反映できるよう努めています。			・GLP認定を維持しているということは、本市の水質検査が一定水準以上の技術力を確保し、その検査精度について第三者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実に行うことは、本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 ・水質管理における人材育成・技術の継承にあたっては、分析技術の計画的な習得を進め教育訓練を着実に実施することで、その成果を現場に反映できるよう努めています。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅰ	水質管理の充実・強化	事業・取組名	Ⅰ－４	新潟市独自の管理目標による水質管理	所管課	水質管理課

①事業概要

【事業の目的】	国が定める水質基準値等より厳しい、本市独自の「安全性とおいしさの基準」である管理目標値を設定し、より安全でおいしい水道水の供給に取り組んでいます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○独自管理目標による水質管理 ・農薬類、総トリハロメタン、残留塩素、臭気強度について独自の管理目標値により管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。	○独自管理目標による水質管理 ・農薬類、総トリハロメタン、残留塩素、臭気強度について独自の管理目標値により管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。	○独自管理目標による水質管理 ・農薬類、総トリハロメタン、残留塩素、臭気強度について独自の管理目標値により管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。	○独自管理目標による水質管理 ・農薬類、総トリハロメタン、残留塩素、臭気強度について独自の管理目標値により管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	35,755,500	47,272,500	56,808,180	51,072,120
	執行額（b）	27,253,710	31,227,218	48,342,074	47,510,309
	執行率（%）（b）／（a）	76.2%	66.1%	85.1%	93.0%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%
	期間（d） （従事期間）	12ヶ月	12か月		12ヶ月	12か月		12ヶ月	12か月		12ヶ月	12か月	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・令和2年度については、残留塩素管理目標達成率が目標を下回りましたが，他の項目については目標を達成できました。 ・残留塩素管理については，8月～9月の高水温の影響で塩素注入率が上がり，達成率が下がりました。各浄水場の給水区域の特性を評価し、管網末端における消毒効果を確保しつつ浄水場出口の残留塩素濃度を低く抑える取り組みを進め，水質管理体制の強化を図っていきます。	・令和３年度については、残留塩素管理目標達成率が目標を下回りましたが，他の項目については目標を達成できました。 ・残留塩素管理については，夏季（猛暑）の気温上昇に伴う管末での残塩低下により残塩管理式を引き上げたため目標値を超える地点が多くなりました。 ・各浄水場の配水区域の特性を評価し、管網末端における消毒効果を確保しつつ浄水場出口の残留塩素濃度を低く抑える取り組みを進め，水質管理体制の強化を図っていきます。	・令和４年度については、残留塩素管理目標達成率が目標を下回りましたが，他の項目については目標を達成できました。 ・残留塩素管理については、夏季（猛暑）の気温上昇に伴う管網末端での残塩低下により残塩管理式を引き上げたため目標値を超える地点が多くなりました。 ・各浄水場の配水区域の特性を評価し、管網末端における消毒効果を確保しつつ浄水場出口の残留塩素濃度を低く抑える取り組みを進め、残塩管理式の改良を行い、水質管理体制の強化を図っていきます。	・総トリハロメタン管理については、例年以上の高水温となった地点で総トリハロメタン濃度が上昇しました。 ・今夏の事例を踏まえ、高水温期の管理体制の強化を図ります。 ・残留塩素管理については、夏季（猛暑）の気温上昇に伴う管網末端での残塩低下により残塩管理式を引き上げたため目標値を超える地点が多くなりました。 ・各浄水場の配水区域の特性を評価し、管網末端における消毒効果を確保しつつ浄水場出口の残留塩素濃度を低く抑える取り組みを進め、残塩管理式の改良を行い、水質管理体制の強化を図っていきます。	・令和６年度については、残留塩素及び臭気強度の管理目標達成率が目標を下回りましたが、他の項目については目標を達成できました。 ・残留塩素管理については、夏季（猛暑）の気温上昇に伴う管網末端での残塩低下により残塩管理式を引き上げたため目標値を超える地点が多くなりました。 ・臭気強度については、冬季に信濃川水系において例年にない一過性の強い臭気（植物臭）が確認され、青山浄水場系統において浄水処理で落としきれない臭いが水道水に残存しました。なお、当該臭気の確認後、速やかに活性炭処理で対応しています。 ・各浄水場の配水区域の特性を評価し、管網末端における消毒効果を確保しつつ浄水場出口の残留塩素濃度を低く抑える取り組みを進め、残塩管理式の改良を行い、水質管理体制の強化を図っていきます。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
・独自管理目標値による水質管理		1点		・独自管理目標値による水質管理		1点		・独自管理目標値による水質管理		1点		・独自管理目標値による水質管理		1点	
平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
農薬濃度 管理目標達成率	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点		100%	100%	3点		100%	100%	3点		100%	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
総トリハロメタン濃度 管理目標達成率	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点		100%	100%	3点		99%	99%	3点		100%	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
残留塩素 管理目標達成率	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	91%	91%	91%	92%	90%	98.9%	3点		88%	96.7%	3点		88%	96.7%	3点		88%	95.7%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
臭気強度 管理目標達成率	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3点		100%	100%	3点		100%	100%	3点		98%	98.0%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・本市独自の管理目標値により，安全でおいしい水道水を供給するために，浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより，目標値を概ね達成できました。 ・令和3年度は，秋葉区の朝日沈砂池からの油流出事故があり、活性炭を多く使用しましたが、購入単価の低下により費用が抑えられました。			・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給するために、浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより、目標値を概ね達成できました。 ・令和４年度は、原水水質について、塩水遡上や油流出事故等の突発的な事象が発生しなかったため比較的安定しており、活性炭注入量が抑えられ、費用が抑えられたと考えられます。			・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給するために、浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより、目標値を概ね達成できました。 ・令和５年度は、総トリハロメタン並びに農薬類の抑制に係る活性炭注入が多かったことに加え、活性炭の単価も上昇しているため例年よりも費用が増加しています。			・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給するために、浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより、目標値を概ね達成できました。 ・令和６年度は、活性炭単価の微増に加え、油流出事故の対応での活性炭注入もありましたが、全体注入量を低く抑えることができたため、令和５年度並の費用となっています。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・本市独自の管理目標値により，安全でおいしい水道水を供給する取組みは，本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠です。ただし，活性炭の注入率と注入手法については浄水費の増加と関連することから，今後とも調査研究を進めます。			・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給する取組みは、本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠です。ただし、活性炭の注入率と注入手法については浄水費の増加と関連することから、今後とも調査研究を進めます。			・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給する取組みは、本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠です。ただし、活性炭の注入率と注入手法については浄水費の増加と関連することから、今後とも調査研究を進めます。			・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給する取組みは、本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠です。ただし、活性炭の注入率と注入手法については浄水費の増加と関連することから、今後とも調査研究を進めます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅰ	水質管理の充実・強化	事業・取組名	Ⅰ－５	分かりやすい水質情報の提供	所管課	水質管理課

①事業概要

【事業の目的】	安全でおいしい水や災害時での水の安定供給など、多様化するお客さまのニーズに対し、水道水をおいしく飲める啓発活動やニーズにあった情報提供などを行い、水道水に対する信頼性を高めます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○啓発活動の継続・充実 ・ろ過実験やきき水を実際に体験してもらうことで、水道水質への理解を深める「体験型広報」については、感染症の状況を見極め、実施可能か判断します。 ・小学校向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 ○分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成します。 ・水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。	○啓発活動の継続・充実 ・ろ過実験やきき水を実際に体験してもらうことで、水道水質への理解を深める「体験型広報」については、感染症の状況を見極め、実施可能か判断します。 ・小学校向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 ○分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成します。 ・水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。	○啓発活動の継続・充実 ・ろ過実験やきき水を実際に体験してもらうことで、水道水質への理解を深める「体験型広報」を充実させます。 ・小学校向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 ○分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成します。 ・水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。	○啓発活動の継続・充実 ・ろ過実験やきき水を実際に体験してもらうことで、水道水質への理解を深める「体験型広報」を充実させます。 ・小学校向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 ○分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成します。 ・水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	334,070	335,170	0	0
	執行額（b）	206,030	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	61.7%	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	120時間	90時間	75%	120時間	90時間	75%	120時間	108時間	90%	120時間	120時間	100%
	期間（d） （従事期間）	12ヶ月	12か月		12ヶ月	12か月		12ヶ月	12か月		12ヶ月	12か月	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	10時間 （ア）	7.5時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	7.5時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	９時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・感染症防止のため、例年実施していた「簡易ろ過実験」「臭気検査」「きき水体験」などの体験型広報は、実施しませんでした。 ・小学生向けプレゼンテーションの資料を見直し、水質管理について理解を深めてもらうための広報活動の準備を整えました。 ・パンフレットについては、感染症の影響により配布の機会がなくなったため、作成しませんでした。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表により、わかりやすい広報に努めました。	・感染者数が減少した期間に、感染症対策を講じたうえで「簡易ろ過実験」を１回実施しました。 ・感染症防止のため、例年実施していた「臭気検査」「きき水体験」などの体験型広報は、実施できませんでした。 ・小学生向けプレゼンテーションの資料を見直し、水質管理について理解を深めてもらうための広報活動の準備を整えました。 ・パンフレットについては、最新の情報やデータを盛り込んだものに刷新しました。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表により、わかりやすい広報に努めました。	・感染者数が減少した期間に、感染症対策を講じたうえで「簡易ろ過実験」を１回実施しました。 ・感染症防止のため、例年実施していた「臭気検査」「きき水体験」などの体験型広報は、実施できませんでした。 ・小学生向けプレゼンテーションの資料を見直し、水質管理について理解を深めてもらうための広報活動の準備を整えました。 ・パンフレットについては、コロナ禍の影響で過年度の在庫が多数あったため、作成を行いませんでした。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表により、わかりやすい広報に努めました。	・令和５年度より広報活動を完全に再開しましたが、体験型広報の応募数が回復せず、計６回の実施にとどまりました。 ・パンフレットについては、コロナ禍の影響で過年度の在庫が多数あったため、作成を行いませんでした。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表により、わかりやすい広報に努めました。	・広報の応募数についてはコロナ禍前の水準まで回復しており、学生や子育て世帯など幅広い年齢層に対し、計12回実施することができました。 ・パンフレットについては、在庫が多数あったため、作成を行いませんでした。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表により、わかりやすい広報に努めました。

	令和3年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	・啓発活動の継続			0点
	・分かりやすい情報提供		1点	
	平均（A）	0.5点		

	令和4年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	・啓発活動の継続			0点
	・分かりやすい情報提供		1点	
	平均（A）	0.5点		

	令和5年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	・啓発活動の継続			0点
	・分かりやすい情報提供		1点	
	平均（A）	0.5点		

	令和6年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	・啓発活動の継続		1点	
	・分かりやすい情報提供		1点	
	平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
体験型広報年間実施数	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	12回	12回	12回	12回	1回	8.3%	1点		1回	8.3%	1点		6回	50%	1点		12回	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		1点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	1点		－	－	1点		－	－	1点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
		―																		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・入札により、水源保全および水質管理センターPRパンフレット作成業務に係る費用を抑えることができたため、予算効率が向上しました。 ・また、水源保全および水質管理センターPRパンフレットの構成を見直しました。 ・昨年度に引き続き、感染症防止のため、「臭気検査」「きき水体験」などは実施できませんでした。 ・感染者数が減少した時期に、「簡易ろ過実験」を１回実施でき			・水源保全および水質管理センターPRパンフレット作成業務については、コロナ禍の影響で過年度の在庫が多数あったため、作成を行わず、予算効率が向上しました。 ・昨年度に引き続き、感染症防止のため、「臭気検査」「きき水体験」などは実施できませんでした。 ・感染者数が減少した時期に、「簡易ろ過実験」を１回実施できました。コロナ終息後を見据え、簡易ろ過実験を充実させるための準備を進めました。			・水源保全および水質管理センターPRパンフレット作成業務については、コロナ禍の影響で過年度の在庫が多数あったため、予算編成は行っていません。 ・体験型広報を再開したものの、実施数がコロナ禍以前の水準には至りませんでした。引き続き、体験型広報の充実を進めるとともに、水道水質の啓発を進めます。			・水源保全および水質管理センターPRパンフレット作成業務については、在庫が多数あったため、予算編成は行っていません。 ・広報活動の実施数がコロナ禍以前の水準に回復しています。引き続き、体験型広報の充実を図り、水道水質の啓発を進めます。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	5点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、お客さまが抱く水質的な不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することが可能となります。感染症の影響を見極め、広報活動が実施可能か判断し、水道水質の理解を深めてもらう取り組みに努めていきます。			・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、お客さまが抱く水質的な不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することが可能となります。感染症の影響を見極め、広報活動が実施可能か判断し、水道水質の理解を深めてもらう取り組みに努めていきます。			・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、お客さまが抱く水質的な不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することが可能となります。引き続き、水道水質の理解を深めてもらう取り組みに努めていきます。			・広報の応募数についてはコロナ禍前の水準まで回復しており、学生や子育て世帯など幅広い年齢層に対し、計12回実施できました。 ・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、お客さまが抱く水質的な不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することが可能となります。引き続き、水道水質の理解を深めてもらう取り組みに努めていきます。		
評価結果	達成度	1点	総合評価	達成度	1点	総合評価	達成度	1点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	1点	D	進捗度	1点	D	進捗度	1点	E	進捗度	3点	C
	外的要因加点	1点	3点／10点	外的要因加点	1点	3点／10点	外的要因加点	0点	2点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること．ただし，コロナ禍が長期化する現状において，当初計画通りの実施が困難だった事業については，感染症流行下における事業継続に十分に配慮しつつ，状況を見て実施できるものから実施したり，代替手段を講じるなどの工夫を，必要に応じて検討すること．	引き続き，計画に沿って事業を推進すること．体験型広報活動については，感染症禍の終息状況を見極め，段階的に活動の再開に努めることが望ましい．	引き続き，計画に沿って事業を推進すること． なお、体験型広報活動については、コロナ禍以前の水準への回復を図ること．	引き続き，計画に沿って事業を推進すること．

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅱ	給水装置における水質保持	事業・取組名	Ⅱ－１	学校施設の水飲み水栓の直結給水化	所管課	管路課

①事業概要

【事業の目的】	じゃ口から水を飲むという水道の文化を引き継ぎ、次世代を担う子供たちが水道水のおいしさをより実感できるよう、小中学校の水飲み水栓の直結給水化に取り組みます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○教育委員会と連携 ・新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。	○教育委員会と連携 ・新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。	○教育委員会と連携 ・新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。	○教育委員会と連携 ・新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	1回	2回	200%	1回	2回	200%	1回	2回	200%	1回	2回	200%
	期間（d） （従事期間）	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	1回/年 （ア）	2回/年 （イ）	（イ／ア）	1回/年 （ア）	2回/年 （イ）	（イ／ア）	1回/年 （ア）	2回/年 （イ）	（イ／ア）	1回/年 （ア）	2回/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	教育委員会との協議 協議実施回数　3回 教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 また、大規模改修計画以外の工事（貯水槽入替等）で直結給水化が図られるか確認を行い、財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 66.1 % 市立学校施設数　177校（開校により1校増） 直結化した学校数 117校（開校により1校増）	教育委員会との協議 ・協議実施回数　2回 ・教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 ・大規模改修計画以外の工事（貯水槽入替等）で直結給水化が図られるか確認を行い、財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 66.7 % 市立学校施設数　177校 直結化した学校数 118校	教育委員会との協議 ・協議実施回数　2回 ・教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 ・大規模改修計画以外の工事（貯水槽入替等）で直結給水化が図られるか確認を行い、財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。 ・なお、2施設の廃止に伴い、直結給水化率は減少しました。 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 66.3 % 市立学校施設数　175校 直結化した学校数 116校	教育委員会との協議 ・協議実施回数　2回 ・教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 ・大規模改修計画以外の工事（貯水槽入替等）で直結給水化が図られるか確認を行い、財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。 ・なお、4施設の廃止に伴い、直結給水化率は減少しました。 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 66.1 % 市立学校施設数　171校 直結化した学校数 113校	教育委員会との協議 ・協議実施回数　2回 ・教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 ・大規模改修計画以外の工事（貯水槽入替等）で直結給水化が図られるか確認を行い、財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。 ・新たに2施設で直結給水化が図られ、学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 67.3 %となりました。 市立学校施設数　171校 直結化した学校数 115校

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
教育委員会との協議	2点			教育委員会との協議	2点			教育委員会との協議	2点			教育委員会との協議	2点		
平均（A）	2点			平均（A）	2点			平均（A）	2点			平均（A）	2点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
学校施設の水飲み水栓の直結給水化率	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	66.7%	66.7%	66.7%	67.8%	66.7%	100%	3点		66.3%	99.4%	3点		66.1%	99.1%	3点		67.3%	99.3%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・2回にわたり、教育委員会との協議及び情報共有を図り、今後の改修予定校を確認しました。 ・その他施設の工事（貯水槽入替、修繕等）に合わせた、直結給水化について協議を進めましたが、厳しい財政事情もあり、実施には至りませんでした。 ・本取り組みについては、事業の性質上、予算計上及び執行はありません。			・2回にわたり、教育委員会との協議及び情報共有を図り、今後の改修予定校を確認しました。 ・その他施設の工事（貯水槽入替、修繕等）に合わせた、直結給水化について協議を進めましたが、厳しい財政事情もあり、実施には至りませんでした。 ・本取り組みについては、事業の性質上、予算計上及び執行はありません。			・2回にわたり、教育委員会との協議及び情報共有を図り、今後の改修予定校を確認しました。 ・その他施設の工事（貯水槽入替、修繕等）に合わせた、直結給水化について協議を進めましたが、厳しい財政事情もあり、実施には至りませんでした。 ・本取り組みについては、事業の性質上、予算計上及び執行はありません。			・2回にわたり、教育委員会との協議及び情報共有を図り、今後の改修予定校を確認しました。 ・その他施設の工事（貯水槽入替、修繕等）に合わせた、直結給水化について協議を進めましたが、厳しい財政事情もあり、実施には至りませんでした。 ・本取り組みについては、事業の性質上、予算計上及び執行はありません。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・令和3年度は潟東中学校の直結給水化が図られ、目標を達成することができました。 ・引き続き、教育委員会との協議及び情報共有を図り、双方共通の認識で取組を進めています。			・令和4年度は新規の直結給水化が図られず、加えて直結化済２施設の閉鎖に伴い直結給水化率が減少しました。 ・引き続き、教育委員会との協議及び情報共有を図り、双方共通の認識で取組を進めています。			・令和5年度は山潟中学校の直結給水化が図られましたが、直結化済4施設の閉鎖に伴い直結給水化率が減少しました。 ・引き続き、教育委員会との協議及び情報共有を図り、双方共通の認識で取組を進めています。			・令和6年度は新津第5中学校，南浜中学校の直結給水化が図られ、直結給水化率が1.2%上昇しました。 ・第3次マスタープランにおいては掲載施策から外れますが、引き続き教育委員会との協議及び情報共有を図り、双方共通の認識で取組を進めていきます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅱ	給水装置における水質保持	事業・取組名	Ⅱ－２	貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	所管課	管路課

①事業概要

【事業の目的】	貯水槽水道利用者へ安全でおいしい水道水が供給されるよう、訪問指導等の強化により、貯水槽の清掃率向上に向けた積極的な啓発活動を行います。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○民間清掃業者との連携 ・民間清掃業者との連携による啓発活動を行います。 ○衛生管理訪問指導の実施 ・貯水槽施設衛生管理訪問指導（過去１年以上清掃報告の無い施設を対象に、訪問・電話指導）を実施します。	○民間清掃業者との連携 ・民間清掃業者との連携による啓発活動を行います。 ○衛生管理訪問指導の実施 ・貯水槽施設衛生管理訪問指導（過去１年以上清掃報告の無い施設を対象に、訪問・電話指導）を実施します。	○民間清掃業者との連携 ・民間清掃業者との連携による啓発活動を行います。 ○衛生管理訪問指導の実施 ・貯水槽施設衛生管理訪問指導（過去１年以上清掃報告の無い施設を対象に、訪問・電話指導）を実施します。	○民間清掃業者との連携 ・民間清掃業者との連携による啓発活動を行います。 ○衛生管理訪問指導の実施 ・貯水槽施設衛生管理訪問指導（過去１年以上清掃報告の無い施設を対象に、訪問・電話指導）を実施します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	3,853,000	3,948,080	4,270,080	4,553,500
	執行額（b）	3,725,002	3,877,871	4,033,793	4,467,614
	執行率（%）（b）／（a）	96.7%	98.2%	94.5%	98.1%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	0.3人	0.3人	100%	0.3人	0.3人	100%	0.3人	0.3人	100%	0.3人	0.3人	100%
	期間（d） （従事期間）	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	0.3人/年 （ア）	0.3人/年 （イ）	（イ／ア）	0.3人/年 （ア）	0.3人/年 （イ）	（イ／ア）	0.3人/年 （ア）	0.3人/年 （イ）	（イ／ア）	0.3人/年 （ア）	0.3人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	民間清掃業者との連携 貯水槽清掃強化月間での取組案を基に、業界団体との協議を実施し、業界団体総会の場での啓発活動を予定しましたが、コロナウイルス蔓延防止の一環として、総会が中止となったため、連携の具体化には至りませんでした。令和4年度についても協議を継続し、総会の場での啓発活動の実施に向けて取り組みます。 衛生管理訪問指導の実施 （公財）　新潟水道サービスへ貯水槽施設衛生管理指導業務を委託し、過去１年以上清掃報告の無い小規模貯水槽水道施設150件を対象に、訪問・電話指導を実施しました。	民間清掃業者との連携 ・貯水槽清掃強化月間での取組案を基に、業界団体との協議を実施し、業界団体総会の場での啓発活動を予定しましたが、コロナウイルス蔓延防止の一環として、総会が中止となったため、連携の具体化には至りませんでした。令和4年度についても協議を継続し、総会の場での啓発活動の実施に向けて取り組みます。 衛生管理訪問指導の実施 ・（公財）　新潟水道サービスへ貯水槽施設衛生管理指導業務を委託し、過去１年以上清掃報告の無い小規模貯水槽水道施設150件を対象に、訪問・電話指導を実施しました。	民間清掃業者との連携 ・貯水槽清掃強化月間での取組案を基に、業界団体との協議を実施し、業界団体総会の場での啓発活動を実施しました。令和5年度についても協議を継続し、総会の場での啓発活動の実施に向けて取り組みます。 衛生管理訪問指導の実施 ・（公財）　新潟水道サービスへ貯水槽施設衛生管理指導業務を委託し、過去１年以上清掃報告の無い小規模貯水槽水道施設150件を対象に、訪問・電話指導を実施しました。	民間清掃業者との連携 ・貯水槽清掃強化月間での取組案を基に、業界団体との協議を実施し、業界団体総会の場での啓発活動を実施しました。 衛生管理訪問指導の実施 ・（公財）　新潟水道サービスへ貯水槽施設衛生管理指導業務を委託し、過去１年以上清掃報告の無い小規模貯水槽水道施設150件を対象に、訪問・電話指導を実施しました。

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
民間清掃業者との連携			0点
衛生管理訪問指導の実施	2点		
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
民間清掃業者との連携		1点	
衛生管理訪問指導の実施		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
民間清掃業者との連携		1点	
衛生管理訪問指導の実施		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
民間清掃業者との連携		1点	
衛生管理訪問指導の実施		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
貯水槽清掃実施率（簡易専用水道）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	93.9%	94.0%	94.2%	94.4%	96.3%	102.6%	4点		94.8%	100.9%	4点		93.0%	98.7%	3点		89.2%	94.5%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	4点		－	－	4点		－	－	3点		－	－	3点	
貯水槽清掃実施率（小規模貯水槽水道）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	66.2%	66.3%	66.4%	66.5%	71.2%	107.6%	4点		72.0%	108.6%	4点		71.7%	108.0%	4点		68.7%	103.3%	4点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	4点		－	－	4点		－	－	4点		－	－	4点	
貯水槽清掃実施率（全体）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	77.5%	77.6%	77.8%	78.0%	81.6%	105.3%	4点		81.5%	105.0%	4点		80.7%	103.7%	4点		77.3%	99.1%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	4点		－	－	4点		－	－	4点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・引き続き未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を委託し実施しました。 ・限られた人員体制の中で、効率よく指導強化を進めました。			・引き続き未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を委託し実施しました。 ・限られた人員体制の中で、効率よく指導強化を進めました。			・引き続き未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を委託し実施しました。 ・限られた人員体制の中で、効率よく指導強化を進めました。			・引き続き未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を委託し実施しました。 ・限られた人員体制の中で、効率よく指導強化を進めました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・全体の貯水槽清掃率は、目標値を4.1ポイント上回りました。 ・引き続き高い清掃率を達成できたことは、訪問・電話指導の充実・強化の効果が一因と考えます。 ・清掃実施率の値は上下を繰り返しており、今後も清掃実施に係る啓発活動を実施する必要があります。			・全体の貯水槽清掃率は、目標値を3.9ポイント上回りました。 ・引き続き高い清掃率を達成できたことは、訪問・電話指導の充実・強化の効果が一因と考えます。 ・清掃実施率の値は上下を繰り返しており、今後も清掃実施に係る啓発活動を実施する必要があります。			・全体の貯水槽清掃率は、目標値を2.9ポイント上回りました。 ・引き続き高い清掃率を達成できたことは、訪問・電話指導の充実・強化の効果が一因と考えます。 ・清掃実施率の値は上下を繰り返しており、今後も清掃実施に係る啓発活動を実施する必要があります。			・全体の貯水槽清掃率は、目標値を0.7ポイント下回りました。 ・目標値を若干下回ったものの引き続き高い清掃率を達成できたことは、訪問・電話指導の充実・強化の効果が一因と考えます。 ・貯水槽水道において安全でおいしい水の供給には、高い清掃率の保持は有効であることから、今後も清掃実施に係る啓発活動を実施します。		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	維持	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	高い清掃率を維持するために、引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅱ	給水装置における水質保持	事業・取組名	Ⅱ－３	指定給水装置工事事業者の技術力向上	所管課	管路課

①事業概要

【事業の目的】	指定給水装置工事事業者の技術力向上により、工事の品質確保やお客さまとのトラブルの未然防止を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○（公社）日本水道協会新潟県支部が主催する講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・指定給水装置工事事業者講習会への参加を積極的に働きかけます。 ・講習会事務局として、適切な施工確保に向けた講習内容の見直しを適宜行います。 ○給水装置工事の適切な評価と表彰制度の継続 ・指定給水装置工事事業者の意欲の向上を図るため、表彰制度を継続します。	○（公社）日本水道協会新潟県支部が主催する講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・指定給水装置工事事業者講習会への参加を積極的に働きかけます。 ・講習会事務局として、適切な施工確保に向けた講習内容の見直しを適宜行います。 ○給水装置工事の適切な評価と表彰制度の継続 ・指定給水装置工事事業者の意欲の向上を図るため、表彰制度を継続します。	○（公社）日本水道協会新潟県支部が主催する講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・指定給水装置工事事業者講習会への参加を積極的に働きかけます。 ・講習会事務局として、適切な施工確保に向けた講習内容の見直しを適宜行います。 ○給水装置工事の適切な評価と表彰制度の継続 ・指定給水装置工事事業者の意欲の向上を図るため、表彰制度を継続します。	○（公社）日本水道協会新潟県支部が主催する講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・指定給水装置工事事業者講習会への参加を積極的に働きかけます。 ・講習会事務局として、適切な施工確保に向けた講習内容の見直しを適宜行います。 ○給水装置工事の適切な評価と表彰制度の継続 ・指定給水装置工事事業者の意欲の向上を図るため、表彰制度を継続します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	371,500	359,750	359,750	346,500
	執行額（b）	241,508	333,540	328,164	302,600
	執行率（%）（b）／（a）	65.0%	92.7%	91.2%	87.3%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	0.2人	0.2人	100%	0.2人	0.2人	100%	0.2人	0.2人	100%	0.2人	0.2人	100%
	期間（d） （従事期間）	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	0.2人/年 （ア）	0.2人/年 （イ）	（イ／ア）	0.2人/年 （ア）	0.2人/年 （イ）	（イ／ア）	0.2人/年 （ア）	0.2人/年 （イ）	（イ／ア）	0.2人/年 （ア）	0.2人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・令和2年度は、コロナウイルス感染症拡大防止を理由に、講習会開催が叶わず、代替策として、自主学習テキストを全事業者に配布のうえ、回答のあった事業者を受講者として認定する方法により実施しました。新たな取り組みに対する事業者への周知が不十分だったことや、受講勧奨ができなかったなどの要因もあり、目標にはやや到達しませんでした。 ・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、自主学習用資料を修正しました。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。（19件：18社）	講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・令和3年度は、コロナウイルス感染症拡大防止を理由に、講習会開催が叶わず、代替策として、自主学習テキストを全事業者に配布のうえ、回答のあった事業者を受講者として認定する方法により実施しました。通常と異なる方法にもかかわらず目標を達成することができました。 ・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、自主学習用資料を修正しました。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。（19件：19社）	講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・令和4年度は、事業者を対象として参会形式での講習会を開催し、目標を達成することができました。 ・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、資料を修正しました。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。（22件：18社）	講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・令和5年度は、事業者を対象として参会形式での講習会を開催し、目標を達成することができました。 ・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、資料を修正しました。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。（19件：17社）	講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し ・令和6年度は、事業者を対象として参会形式での講習会を開催し、目標を達成することができました。 ・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、資料を修正しました。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。（21件：19社・1団体）

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
講習会参加要請、講習内容の適宜見直し		1点	
指定給水装置工事事業者表彰の実施		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
講習会参加要請、講習内容の適宜見直し		1点	
指定給水装置工事事業者表彰の実施		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
講習会参加要請、講習内容の適宜見直し		1点	
指定給水装置工事事業者表彰の実施		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
講習会参加要請、講習内容の適宜見直し		1点	
指定給水装置工事事業者表彰の実施		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
給水装置に係る事故件数	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	0件	0件	0件	0件	0件	100%	3点		0件	100%	3点		0件	100%	3点		0件	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
指定給水装置工事事業者講習会参加率	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	79.2%	79.5%	79.7%	80.0%	80.6%	101.8%	4点		80.6%	101.4%	4点		79.6%	99.9%	3点		80.4%	100.5%	4点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	4点		－	－	4点		－	－	3点		－	－	4点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・指定給水装置工事事業者講習会に代わる自主学習テキストの郵送に際しては、指定工事事業者の施工技術向上に資するべく、最新の情報を盛り込んで作成しました。 ・優良工事店表彰については、コロナウイルス感染防止対策の観点から、表彰式は例年のような集合形式ではなく個別対応とし、施工内容が優れた工事事業者19社に対し、実施しました。 　なお、表彰式の実施形態が変更となったことにより、予算執行額は減少しました。			・指定給水装置工事事業者講習会は、指定工事事業者の施工技術向上に資するべく、最新の情報を盛り込んで作成しました。 ・優良工事店表彰については、表彰式は3年振りに式典形式による開催が叶い、施工内容が優れた工事事業者18社に対し、実施しました。			・指定給水装置工事事業者講習会は、指定工事事業者の施工技術向上に資するべく、最新の情報を盛り込んで作成しました。 ・優良工事店表彰については、通常の式典形式で施工内容が優れた工事事業者17社に対し、実施しました。			・指定給水装置工事事業者講習会は、指定工事事業者の施工技術向上に資するべく、最新の情報を盛り込んで作成しました。 ・優良工事店表彰については、施工内容が優れた工事事業者19社・1団体に対し、実施しました。 ・表彰に係る費用を低減できたことから、予算効率の評価が上昇しました。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・講習会や表彰制度にあっては、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これらの取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。 　よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。			・講習会や表彰制度にあっては、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これらの取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。 　よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。			・講習会や表彰制度は、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これらの取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。 　よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。 ・指定給水装置工事事業者講習会は、令和５年内に会場予約・案内の発送等の準備を行い、令和6年2月20日に開催しました。 参加率は能登半島地震の影響から例年に比して低くなったものと推測しています。			・指定給水装置工事事業者講習会は、令和６年内に会場予約・案内の発送等の準備を行い、令和7年2月19日に開催しました。 ・講習会参加率は、目標値を上回ることができました。 ・講習会や表彰制度は、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これらの取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	3点	C	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点

④２次評価結果

	維持	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ－１	浄配水施設の計画的更新	所管課	計画整備課

①事業概要

【事業の目的】	浄水処理・送配水機能の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的に更新するとともに、水需要の減少を踏まえて設備能力を見直し、施設規模の適正化を図ります。 また、更新に併せて、環境負荷の低減や維持管理性の向上に配慮した整備を進めます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【青山浄水場施設整備事業】 令和３～令和6年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施 【設計業務】今後の施設整備に向けた設計業務	○浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【青山浄水場施設整備事業】 令和３～令和6年度 【巻取水場施設整備事業】 令和4～令和6年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施 【設計業務】今後の施設整備に向けた設計業務	○浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【青山浄水場施設整備事業】 令和３～令和6年度 【巻取水場施設整備事業】 令和4～令和6年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施 【設計業務】今後の施設整備に向けた設計業務	○浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【青山浄水場施設整備事業】 令和３～令和6年度 【巻取水場施設整備事業】 令和4～令和6年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施 【設計業務】今後の施設整備に向けた設計業務

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	513,845,000	961,960,000	1,657,124,000	1,938,012,000
	執行額（b）	303,018,000	851,805,000	1,346,883,000	1,155,024,000
	執行率（%）（b）／（a）	59.0%	88.5%	81.3%	59.6%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） 担当者数	6.30人	6.30人	100%	5.76人	5.76人	100%	5.17人	5.17人	100%	4.91人	4.91人	100%
	期間（d） 対応期間	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（c/d） 対応期間あたり従事職員数	6.30人/年 （ア）	6.30人/年 （イ）	（イ／ア）	5.76人/年 （ア）	5.76人/年 （イ）	（イ／ア）	5.17人/年 （ア）	5.17人/年 （イ）	（イ／ア）	4.91人/年 （ア）	4.91人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	◆配水場施設整備事業（事業完了） ・監視制御設備更新工事（竹尾、南浜、内島見、内野） ・遠方監視制御設備機能増設工事（南浜） ・監視制御設備機能増設工事（内野） ・電気設備更新工事（南浜） ・配水ポンプ電気設備更新工事（内島見） ・ポンプ設備更新工事（南浜、内島見） ・緊急遮断弁機能増設工事（内野） ◆経年劣化した設備の個別整備 ◆各施設整備に向けた設計業務	◆青山浄水場施設整備事業 ・受変電設備更新工事（契約） ・電気計装設備更新工事（契約） ・配水ポンプ設備更新工事（契約） ◆経年劣化した設備の個別整備 ◆各施設整備に向けた設計業務	◆青山浄水場施設整備事業 ・受変電/電気計装/配水ポンプ設備更新工事（工事継続） ・薬品注入設備更新工事（契約） ・監視制御設備機能増設工事（契約） ◆巻取水場施設整備事業 ・受変電設備更新工事（契約） ・自家発電設備更新工事（契約） ・取水ポンプ設備更新工事（契約） ・活性炭注入設備更新工事（契約） ◆経年劣化した設備の個別整備 ◆各施設整備に向けた設計業務	◆青山浄水場施設整備事業 ・電気計装/配水ポンプ/薬品注入設備更新工事（工事継続） ・監視制御設備機能増設工事（工事継続） ・受変電設備更新工事（完了） ◆巻取水場施設整備事業 ・受変電/取水ポンプ/活性炭注入設備更新工事（工事継続） ・自家発電設備更新工事（完了） ◆経年劣化した設備の個別整備 ◆各施設整備に向けた設計業務	◆青山浄水場施設整備事業 ・電気計装/配水ポンプ/薬品注入設備更新工事（完了） ・監視制御設備機能増設工事（完了） ◆巻取水場施設整備事業 ・受変電/取水ポンプ/活性炭注入設備更新工事（完了） ◆経年劣化した設備の個別整備（工事継続） ◆各施設整備に向けた設計業務（業務継続）

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
青山浄水場施設整備事業		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
青山浄水場施設整備事業		1点	
巻取水場施設整備事業		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
青山浄水場施設整備事業		1点	
巻取水場施設整備事業			0点
平均（A）	0.5点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
青山浄水場施設整備事業	2点		
巻取水場施設整備事業	2点		
（個別整備/設計業務）			0点
平均（A）	1.3点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
青山浄水場施設整備事業	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	3点		実施	実施	3点		実施	実施	3点		実施	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
巻取水場施設整備事業	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	－	実施	実施	実施	－	－	－		実施	実施	3点		一部実施	実施	2点		実施	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		1点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	－		－	－	3点		－	－	2点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	◆青山浄水場施設整備事業 受変電設備更新工事、電気計装設備更新工事、配水ポンプ設備更新工事を計画通りに発注し、工事に着手しました。 ◆経年劣化した設備の個別整備 計画的に工事を進めています。 ◆各施設整備に向けた設計業務 計画的に設計業務を進めています。			◆青山浄水場施設整備事業 受変電/電気計装/配水ポンプ設備更新工事など、R4年分の機器を製作しました。他2工事を計画通りに着手しました。 ◆巻取水場施設整備事業 受変電/自家発電/取水ポンプ/活性炭設備更新工事を計画通りに工事に着手しました。 ◆個別整備/各施設整備に向けた設計業務 計画的に工事及び設計を進めています。			◆青山浄水場施設整備事業 受変電設備更新工事を計画通り完了しました。他4工事を計画通り進めています。 ◆巻取水場施設整備事業 自家発電設備更新工事を計画通り完了しました。機電設備は、コロナ緩和に伴う社会的需要の急増により、ケーブル等の入手が困難となったため、予定していた機器が完成できませんでした。 ◆個別整備/各施設整備に向けた設計業務 計画的に工事及び設計を進めています。			◆青山浄水場施設整備事業 青山浄水場施設整備事業を計画通り完了しました。 ◆巻取水場施設整備事業 巻取水場施設整備事業を計画通り完了しました。 ◆個別整備/各施設整備に向けた設計業務 半導体供給不足の影響により、金津ポンプ場整備および竹尾配水場設計業務において、工程・工法の見直しを要したことから、いずれもR6年度内に完了しませんでした。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B	作業効率	2点	C	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	1点	6点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、浄配水場施設の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的かつ効率的に更新する必要があります。 ・令和3年度から着手しました青山浄水場施設整備事業は稼働施設の安全確保を最優先として、計画通りの確実な施工管理を行います。			・水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、浄配水場施設の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的かつ効率的に更新する必要があります。 ・青山浄水場及び巻取水場施設整備事業は稼働施設の安全確保を最優先として、計画通りの確実な施工管理を行います。			・水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、浄配水場施設の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的かつ効率的に更新する必要があります。 ・青山浄水場及び巻取水場施設整備事業は稼働施設の安全確保を最優先として、計画通りの確実な施工管理を行います。			・青山浄水場及び巻取水場施設整備事業は、稼働施設の安全確保を最優先として、適切な施工管理を行いながら、水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、老朽化した設備を計画的かつ効率的に更新することができました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	B	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	1点	7点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	予算規模が大きく，浄配水施設は水道システムの根幹をなすものであることから，引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し，計画に沿った事業推進に努めること．	予算規模が大きく，浄配水施設は水道システムの根幹をなすものであることから，引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し，計画に沿った事業推進に努めること．	予算規模が大きく，浄配水施設は水道システムの根幹をなすものであることから，引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し，計画に沿った事業推進に努めること．	予算規模が大きく，浄配水施設は水道システムの根幹をなすものであることから，引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し，計画に沿った事業推進に努めること．

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ－２	管路施設の計画的更新	所管課	計画整備課

①事業概要

【事業の目的】	漏水事故の未然防止を図り、安定給水を確保するため、アセットマネジメント手法を取り入れ、更新周期を設定し、老朽化した管路施設（基幹管路・配水支管）を中心に計画的に更新します。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○基幹管路更新事業 ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度32.8ｋｍ 令和3年度　1,500m（後期実施計画より） ○配水支管更新事業 ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度　132.3ｋｍ 令和3年度　11,100m（後期実施計画より）	○基幹管路更新事業 ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度32.8ｋｍ 令和4年度　2,400m（後期実施計画より） ○配水支管更新事業 ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度　132.3ｋｍ 令和4年度　10,600m（後期実施計画より）	○基幹管路更新事業 ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度32.8ｋｍ 令和5年度　2,700m（後期実施計画より） ○配水支管更新事業 ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度　132.3ｋｍ 令和5年度　10,700m（後期実施計画より）	○基幹管路更新事業 ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度32.8ｋｍ 令和6年度　2,700m（後期実施計画より） ○配水支管更新事業 ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度　132.3ｋｍ 令和6年度　10,200m（後期実施計画より）

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	6,344,500,000	6,926,880,000	7,410,610,000	6,210,560,000
	執行額（b）	4,917,126,061	4,858,322,996	5,437,383,198	4,819,849,194
	執行率（%）（b）／（a）	77.5%	70.1%	73.4%	77.6%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（ｃ） 担当者数	34.80人	34.68人	99.7%	35.00人	35.76人	102.2%	35.19人	33.81人	96.1%	35.18人	35.29	100.3%
	期間（ｄ） 対応期間	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（ｃ/d） 対応期間あたり従事職員数	34.80人/年 （ア）	34.68人/年 （イ）	（イ／ア）	35.00人/年 （ア）	35.76人/年 （イ）	（イ／ア）	35.19人/年 （ア）	33.81人/年 （イ）	（イ／ア）	35.18人/年 （ア）	35.29人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業　更新延長　3,897m 4,600m（予算時計画長） 配水支管更新事業　更新延長　12,884m 11,570m（予算時計画長） ※既設管路ルートでの更新が困難なため，別ルートによる更新を行った結果，延長が増減しています。 ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業　更新延長　4,830m 配水支管更新事業　更新延長　11,938m （注）：事業の進捗は，工事の発注延長により計画管理しています。	◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業　更新延長　3,314m 2,155m（予算時計画長） 配水支管更新事業　更新延長　13,767m 11,977m（予算時計画長） ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業　更新延長　2,484m 配水支管更新事業　更新延長　13,718m （注）：事業の進捗は，工事の発注延長により計画管理しています。	◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業　更新延長　3,130m 3,280m（予算時計画長） 配水支管更新事業　更新延長　12,995m 10,738m（予算時計画長） ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業　更新延長　4,448m 配水支管更新事業　更新延長　13,463m （注）：事業の進捗は，工事の発注延長により計画管理しています。	◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業　更新延長　3,752m 4,173m（予算時計画長） 配水支管更新事業　更新延長　13,640m 11,332m（予算時計画長） ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業　更新延長　2,908m 配水支管更新事業　更新延長　14,175m （注）：事業の進捗は，工事の発注延長により計画管理しています。	◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業　更新延長　534m 322m（予算時計画長） 配水支管更新事業　更新延長　12,175m 9,673m（予算時計画長） ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業　更新延長　2,130m 配水支管更新事業　更新延長　9,455m （注）：事業の進捗は，工事の発注延長により計画管理しています。

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
基幹管路更新事業	2点		
配水支管更新事業	2点		
平均（A）	2.0点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
基幹管路更新事業		1点	
配水支管更新事業	2点		
平均（A）	1.5点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
基幹管路更新事業		1点	
配水支管更新事業	2点		
平均（A）	1.5点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
基幹管路更新事業	2点		
配水支管更新事業	2点		
平均（A）	2点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
基幹管路更新延長	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
※評価指標の延長は発注延長（計画値）を使用	1,500m	2,400m	2,700m	2,700m	3,314m	220.9%	5点		3,130m	130.4%	5点		3,752m	139.0%	5点		534m	19.8%	1点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	1,500m	3,900m	6,600m	9,300m	3,314m	220.9%	5点		6,444m	165.2%	5点		10,196m	154.5%	5点		10,730m	115.4%	5点	
配水支管更新延長	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	11,100m	10,600m	10,700m	10,200m	13,767m	124.0%	5点		12,995m	122.6%	5点		13,640m	127.5%	5点		12,175m	119.4%	5点	
※評価指標の延長は発注延長（計画値）を使用	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	11,100m	21,700m	32,400m	42,600m	13,767m	124.0%	5点		26,762m	123.3%	5点		40,402m	124.7%	5点		52,577m	123.4%	5点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を実施し、計画の実現性を高めたことで、目標の事業量を効率的に達成することができました。			・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。 ・基幹管路更新事業は通水作業に時間を要するため、布設を前倒しで進めており、作業量が増加しています。また、関連する道路事業と調整を図りましたが、一部の工事発注ができなかったことにより効率が低下しました。 ・今後も事前調査や関連事業との調整に取り組み、目標の事業量を効率的に達成できるよう進めていきます。			・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。 ・関連する道路事業と調整の結果、一部の工事発注ができませんでしたが、目標に対して少ない人員体制で計画延長以上の更新ができたことで作業効率が改善しました。 ・今後も事前調査や関連事業との調整に取り組み、目標の事業量を効率的に達成できるよう進めていきます。			・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。 ・人員体制は目標に対して、概ね同等で計画延長以上の更新ができました。 ・今後も事前調査や関連事業との調整に取り組み、目標の事業量を効率的に達成できるよう進めます。		
評価結果	予算効率	5点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	5点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	A	作業効率	2点	C	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	9点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化することで、漏水事故の未然防止を図りました。 ・今後も事前調査に取り組み、計画の実現性を高めることで事業を確実に進めます。			・引き続き、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新強化に取り組んでおり、単年度及び累積においても目標を上回る実績となりました。 ・基幹管路更新事業は布設を前倒しで進めていますが、既設管の撤去が残っており事業完了は予定通りの見込みとなっています。 ・配水支管更新事業はダウンサイジングなどの取り組みで好転していますが、令和6年度末では老朽管（CIP）が残る見込みです。 ・今後も事前調査に取り組み、計画の実現性を高めることで事業を確実に進めます。			・引き続き、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新強化に取り組んでおり、単年度及び累積においても目標を上回る実績となりました。 ・基幹管路更新事業は布設を前倒しで進めていますが、既設管の撤去が残っており事業完了は予定通りの見込みとなっています。 ・今後も事前調査に取り組み、計画の実現性を高めることで事業を確実に進めます。			・基幹管路更新事業は年々布設を前倒しで進めていたことで、単年度の目標値には達しませんでしたが、累計は目標を上回りました。引き続き、事故発生時に影響の大きい基幹管路の更新を強化していきます。 ・老朽配水支管更新事業は、単年度、累計とも目標を上回りました。引き続き、中心市街地の老朽管更新を進めます。 ・今後も事前調査に取り組み、計画の実現性を高めることで事業を確実に進めます。		
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度	5点	A	進捗度	5点	A	進捗度	5点	B
	外的要因加点	0点	10点／10点	外的要因加点	0点	10点／10点	外的要因加点	0点	10点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	予算規模が大きく，管路施設は水道システムの根幹をなすものであることから，引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し，計画に沿った事業推進に努めること．	予算規模が大きく，管路施設は水道システムの根幹をなすものであることから，引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し，計画に沿った事業推進に努めること．	予算規模が大きく，管路施設は水道システムの根幹をなすものであることから，引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し，計画に沿った事業推進に努めること．	予算規模が大きく，管路施設は水道システムの根幹をなすものであることから，引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し，計画に沿った事業推進に努めること．

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ－３	鉛給水管の計画的更新	所管課	管路課

①事業概要

【事業の目的】	鉛給水管を更新し給水管の耐震化および漏水の未然防止を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○鉛給水管の更新 ・鉛給水管が分岐している配水支管（小口径：主に口径50㎜のビニル管、鋼管）の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。	○鉛給水管の更新 ・鉛給水管が分岐している配水支管（小口径：主に口径50㎜のビニル管、鋼管）の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。	○鉛給水管の更新 ・鉛給水管が分岐している配水支管（小口径：主に口径50㎜のビニル管、鋼管）の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。	○鉛給水管の更新 ・鉛給水管が分岐している配水支管（小口径：主に口径50㎜のビニル管、鋼管）の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	418,680,000	397,748,182	382,000,000	474,060,000
	執行額（b）	388,418,380	350,426,770	360,756,700	393,420,253
	執行率（%）（b）／（a）	92.8%	88.1%	94.4%	83.0%

【時間・体制 （人員）】 時間（人員）は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	8.3人	11.7人	141%	8.5人	6.8人	80%	7.9人	4.4人	56%	4.7人	4.7人	100%
	期間（d） （従事期間）	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたり の作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	8.3人/年 （ア）	11.7人/年 （イ）	（イ／ア）	8.5人/年 （ア）	6.8人/年 （イ）	（イ／ア）	7.9人/年 （ア）	4.4人/年 （イ）	（イ／ア）	4.7人/年 （ア）	4.7人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】
事業・取組の結果は

令和２年度実績

	施策	当初見込	更新数	実施率
①	小口径管鉛給水更新（ガス競合）	210	129	61.4%
	小口径管鉛給水更新（局単独）			
	連合給水鉛管更新			
	小計	210	129	
②	他工事給水鉛管更新	626	368	89.7%
	給水鉛管更新(局単独)			
	メーター取替更新			
	給水装置工事	310	472	
	小計	936	840	
	計	1,146	969	84.6%

鉛製給水管率　4.8%

令和3年度

	施策	当初見込	更新数	実施率
①	小口径管鉛給水更新（ガス競合）	70	78	111.4%
	小口径管鉛給水更新（局単独）			
	連合給水鉛管更新			
	小計	70	78	
②	他工事給水鉛管更新	616	378	105.2%
	給水鉛管更新（局単独）			
	メーター取替更新			
	給水装置工事	300	586	
	小計	916	964	
	計	986	1,042	105.7%

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
① 4条予算事業	2点		
② 3条予算事業	2点		
平均（A）	2点		

令和4年度

	施策	当初見込	更新数	実施率
①	小口径管鉛給水更新（ガス競合）	70	55	78.6%
	小口径管鉛給水更新（局単独）			
	連合給水鉛管更新			
	小計	70	55	
②	他工事給水鉛管更新	597	326	83.7%
	給水鉛管更新（局単独）			
	メーター取替更新			
	給水装置工事	290	416	
	小計	887	742	
	計	957	797	83.3%

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
① 4条予算事業			0点
② 3条予算事業			0点
平均（A）	0点		

令和5年度

	施策	当初見込	更新数	実施率
①	小口径管鉛給水更新（ガス競合）	70	33	47.1%
	小口径管鉛給水更新（局単独）			
	連合給水鉛管更新			
	小計	70	33	
②	他工事給水鉛管更新	511	352	95.6%
	給水鉛管更新（局単独）			
	メーター取替更新			
	給水装置工事	280	404	
	小計	791	756	
	計	861	789	91.6%

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
① 4条予算事業			0点
② 3条予算事業		1点	
平均（A）	0.5点		

令和6年度

	施策	当初見込	更新数	実施率
①	小口径管鉛給水更新（ガス競合）	60	53	88.3%
	小口径管鉛給水更新（局単独）			
	連合給水鉛管更新			
	小計	60	53	
②	他工事給水鉛管更新	610	171	53.6%
	給水鉛管更新（局単独）			
	メーター取替更新			
	給水装置工事	270	301	
	小計	880	472	
	計	940	525	55.9%

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
① 4条予算事業			0点
② 3条予算事業			0点
平均（A）	0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
鉛給水管率	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（B／D）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（B／D）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（B／D）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（B／D）		外的要因加点
	4.3%	4.0%	3.6%	3.3%	4.5%	95.4%	3点		4.3%	92.5%	3点		4.1%	86.1%	2点		3.9%	84.6%	2点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	2点		－	－	2点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・鉛給水管の更新は、他工事と併せ実施することによる費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っていますが、労務費や諸経費率等の工事費用の高騰に加え、鉛管設置場所が見込以上に分散していたことに伴う鉛管密度低減のため、平成30年度から検定満期メータの取替に併せ、鉛給水管の更新を行う取り組みを実施しています。			・鉛給水管の更新は、他工事と併せ実施することによる費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っていますが、労務費や諸経費率等の工事費用の高騰に加え、鉛管設置場所が見込以上に分散していたことに伴う鉛管密度低減のため、平成30年度から検定満期メータの取替に併せ、鉛給水管の更新を行う取り組みを実施しています。 なお、他工事と併せた更新が伸びなかったことにより、予算・人員・実績とも予定を下回ることとなりました。			・鉛給水管の更新は、他工事と併せ実施することによる費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っていますが、労務費や諸経費率等の工事費用の高騰に加え、鉛管設置場所が見込以上に分散していたことに伴う鉛管密度低減のため、平成30年度から検定満期メータの取替に併せ、鉛給水管の更新を行う取り組みを実施しています。 なお、他工事と併せた更新が伸びなかったことにより、予算・人員・実績とも予定を下回ることとなりました。			・鉛給水管の更新は、他工事と併せ実施することによる費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っていますが、労務費や諸経費率等の工事費用の高騰に加え、鉛管設置場所が見込以上に分散していたことに伴う鉛管密度低減のため、平成30年度から検定満期メータの取替に併せ、鉛給水管の更新を行う取り組みを実施しています。 なお、他工事との競合や局単独での更新が進まなかったことにより、予算・実績とも予定を下回ることとなりました。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	2点	C
	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	5点／10点	外的要因加点	0点	5点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続して実施する必要があることから、引き続き他工事関連や、小口径老朽管（主に口径50mmのﾋﾞﾆﾙ管、鋼管）の解消を推進するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消を進めます。			・鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続して実施する必要があることから、引き続き他工事関連や、小口径老朽管（主に口径50mmのﾋﾞﾆﾙ管、鋼管）の解消を推進するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消を進めます。			・鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続実施する必要があり、引き続き他工事関連や、小口径老朽管（主に口径50mmのﾋﾞﾆﾙ管、鋼管）の解消を推進するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消を進めます。 ・令和５年度は、当初、水道局単独での更新のみを予定していましたが、他工事と競合可能な路線が確認できたため、効率的な施工を目的として単独更新から振り替えました。しかし競合路線は、単独更新よりも鉛管密度が低いことから、鉛給水管率の低減にはつながりませんでした。			・令和6年度は他工事との競合や局単独での更新が進まなかったこと、小口径老朽管（主に口径50mmのﾋﾞﾆﾙ管、鋼管）路線の鉛管密度が低かったことにより更新の効果が上がらず、鉛給水管率の低減につながりませんでした。 ・鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続して実施する必要があることから、引き続き他工事関連での鉛給水管解消を推進するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消を進めます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	2点	総合評価	達成度	2点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	2点	D	進捗度	2点	D
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	4点／10点	外的要因加点	0点	4点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	効率性の観点だけでなく、健康面への影響を考慮し、事業の加速化が望ましい.	効率性の観点だけでなく、健康面への影響を考慮し、事業の加速化が望ましい.

※ 目標数値が以下の指標の計算方法：（１－（実績－目標）／目標）×１００

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅳ	災害対策・体制の強化	事業・取組名	Ⅳ－１	浄配水施設の計画的耐震化	所管課	計画整備課

①事業概要

【事業の目的】	大規模地震が発生した場合でも、影響を最小限にとどめ、水道システムとして機能を損なうことのないよう、浄配水施設整備に併せ、効率的に浄配水施設等の耐震化を進めます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	【土木構造物】・青山浄水場配水池(令和6年度完了予定)・長峰配水場配水池(令和3年度完了予定) 【構内水管】・青山浄水場構内水管(令和6年度完了予定) 【設計業務】今後の耐震化に向けた設計業務 耐震実施予定８施設　平成27～令和6年度※下線は完了 青山浄水場(配水池、洗浄水槽)、阿賀野川浄水場(配水池、洗浄水槽、沈砂池)、巻取水場(沈砂池)、長峰配水場(配水池)、秋葉配水場(配水池)	【土木構造物】・青山浄水場配水池(令和5年度完了予定)・秋葉配水場配水池(令和5年度完了予定)・巻取水場沈砂池(令和5年度完了予定) 【構内水管】・青山浄水場構内水管(令和6年度完了予定) 【設計業務】今後の耐震化に向けた設計業務 耐震実施予定８施設　平成27～令和6年度※下線は完了 青山浄水場(配水池、洗浄水槽)、阿賀野川浄水場(配水池、洗浄水槽、沈砂池)、巻取水場(沈砂池)、長峰配水場(配水池)、秋葉配水場(配水池)	【土木構造物】・青山浄水場配水池(令和5年度完了予定)・秋葉配水場配水池(令和5年度完了予定)・巻取水場沈砂池(令和5年度完了予定) 【構内水管】・青山浄水場構内水管(令和6年度完了予定) 【設計業務】今後の耐震化に向けた設計業務 耐震実施予定８施設　平成27～令和6年度※下線は完了 青山浄水場(配水池、洗浄水槽)、阿賀野川浄水場(配水池、洗浄水槽、沈砂池)、巻取水場(沈砂池)、長峰配水場(配水池)、秋葉配水場(配水池)	【構内水管】・青山浄水場構内水管(令和6年度完了予定) 【設計業務】今後の耐震化に向けた設計業務

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	250,245,000	580,590,000	825,081,000	460,271,000
	執行額（b）	207,089,000	391,594,000	787,039,000	430,264,000
	執行率（%）（b）／（a）	82.8%	67.4%	95.4%	93.5%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） 担当者数	2.50人	2.50人	100%	2.27人	1.97人	86.8%	2.93人	2.41人	82.3%	2.05人	2.05人	100%
	期間（d） 対応期間	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（c/d） 対応期間あたり従事職員数	2.50人/年 （ア）	2.50人/年 （イ）	（イ／ア）	2.27人/年 （ア）	1.97人/年 （イ）	（イ／ア）	2.93人/年 （ア）	2.41人/年 （イ）	（イ／ア）	2.05人/年 （ア）	2.05人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	◆長峰配水場配水池の工事着手 ◆設計業務 ・各耐震化に向けた設計業務	◆青山浄水場施設整備事業 ・構内水管耐震化工事（契約） ・構内水管布設工事（契約） ・配水池長寿命化工事（契約） ◆経年劣化した設備の個別整備 ・長峰配水場配水池長寿命化工事（R3年度完了） ◆各施設整備に向けた設計業務	◆青山浄水場施設整備事業 ・構内水管耐震化工事（工事継続） ・構内水管布設工事（工事継続） ・配水池長寿命化工事（工事継続） ◆経年劣化した設備の個別整備 ・秋葉配水場配水池長寿命化工事（契約） ◆各施設整備に向けた設計業務	◆青山浄水場施設整備事業 ・構内水管耐震化工事（工事継続） ・配水池長寿命化工事（完了） ◆巻取水場施設整備事業 ・沈砂池長寿命化工事（契約・工事継続）耐震化完了 ◆経年劣化した設備の個別整備 ・秋葉配水場配水池長寿命化工事（工事継続）耐震化完了 ◆各施設整備に向けた設計業務	◆青山浄水場施設整備事業 ・構内水管耐震化工事（完了） ◆各施設整備に向けた設計業務

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
青山浄水場施設整備事業		1点	
個別整備による耐震化工事		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
青山浄水場施設整備事業		1点	
個別整備による耐震化工事		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
青山浄水場施設整備事業		1点	
巻取水場施設整備事業		1点	
個別整備による耐震化工事		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
青山浄水場施設整備事業		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
【土木構造物】（完了数／全計画数）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	1	0	3	0	1施設完了	100%	3点		工事・設計継続	100%	3点		3施設完了	100%	3点		構内水管完了	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	5／8	5／8	8／8	8／8	5／8施設完了	100%	3点		5／8施設完了	100%	3点		8／8施設完了	100%	3点		8／8施設完了	100%	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・青山浄水場施設整備事業における構内水管耐震化工事、構内水管布設工事、配水池長寿命化工事を計画通りに発注し、工事着手しました。 ・長峰配水場配水池長寿命化工事は計画通りに完了しました。			・青山浄水場施設整備事業における構内水管耐震化工事、構内水管布設工事、配水池長寿命化工事は計画的に工事を進めています。 ・秋葉配水場配水池長寿命化工事は計画通りに発注し、工事着手しました。			・青山浄水場施設整備事業における構内水管耐震化工事は計画的に工事を進めています。 ・青山浄水場配水池長寿命化工事は計画通りに完了しました。 ・秋葉配水場配水池は計画通りに耐震化が完了しました。 ・巻取水場沈砂池は計画通りに耐震化が完了しました。			・青山浄水場施設整備事業における構内水管耐震化工事は計画通りに完了しました。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	4点	B	作業効率	4点	B	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を損なうことのないように浄配水場施設の耐震化を進めていく必要があります。令和3年度は長峰配水場配水池の耐震化工事が完了しました。 ・来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備にあわせ、計画的かつ効率的に耐震補強を実施します。			・大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を損なうことのないように浄配水場施設の耐震化を進めていく必要があります。令和4年度は秋葉配水場配水池の耐震化工事に着手しました。 ・来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備にあわせ、計画的かつ効率的に耐震補強を実施します。			・大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を損なうことのないように浄配水場施設の耐震化を進めていく必要があります。令和5年度は3施設の耐震化が完了しました。 ・来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備にあわせ、計画的かつ効率的に耐震補強を実施します。			・大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を損なうことのないように浄配水場施設の耐震化を進めていく必要があります。令和6年度は青山浄水場構内水管の耐震化が完了しました。 ・来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備にあわせ、計画的かつ効率的に耐震補強を実施します。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅳ	災害対策・体制の強化	事業・取組名	Ⅳ－２	管路施設の計画的耐震化	所管課	計画整備課

①事業概要

【事業の目的】	大規模地震が発生した場合でも、生活や都市活動に必要な水道水をできる限りお客さまに届けられるよう、老朽化管路を地震に強い耐震管へ入れ替え、管路施設の耐震化を進めます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○基幹管路更新 ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度　32.8ｋｍ 令和3年度　1,500m（後期実施計画より） ○配水支管更新 ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度　132.3ｋｍ 令和3年度　11,100m（後期実施計画より） （Ⅲ-２管路施設の計画的更新に併せ実施）	○基幹管路更新事業 ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度32.8ｋｍ 令和4年度　2,400m（後期実施計画より） ○配水支管更新事業 ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度　132.3ｋｍ 令和4年度　10,600m（後期実施計画より）	○基幹管路更新事業 ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度32.8ｋｍ 令和5年度　2,700m（後期実施計画より） ○配水支管更新事業 ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度　132.3ｋｍ 令和5年度　10,700m（後期実施計画より）	○基幹管路更新事業 ・基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～令和6年度32.8ｋｍ 令和6年度　2,700m（後期実施計画より） ○配水支管更新事業 ・年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～令和6年度　132.3ｋｍ 令和6年度　10,200m（後期実施計画より）

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	6,344,500,000	6,926,880,000	7,410,610,000	6,210,560,000
	執行額（b）	4,917,126,061	4,858,322,996	5,437,383,198	4,819,849,194
	執行率（%）（b）／（a）	77.5%	70.1%	73.4%	77.6%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（ｃ） 担当者数	34.80人	34.68人	99.7%	35.00人	35.76	102.2%	35.19人	33.81人	96.1%	35.18人	35.29	100.3%
	期間（ｄ） 対応期間	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（ｃ/ｄ） 対応期間あたり従事職員数	34.80人/年 （ア）	34.68人/年 （イ）	（イ／ア）	35.00人/年 （ア）	35.76人/年 （イ）	（イ／ア）	35.19人/年 （ア）	33.81人/年 （イ）	（イ／ア）	35.18人/年 （ア）	35.29人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業　更新延長　3,897m 4,600m（予算時計画長） 配水支管更新事業　更新延長　12,884m 11,570m（予算時計画長） ※既設管路ルートでの更新が困難なため，別ルートによる更新を行った結果，延長が増減しています。 ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業　更新延長　4,830m 配水支管更新事業　更新延長　11,938m （注）：事業の進捗は，工事の発注延長により計画管理しています。	◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業　更新延長　3,314m 2,155m（予算時計画長） 配水支管更新事業　更新延長　13,767m 11,977m（予算時計画長） ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業　更新延長　2,484m 配水支管更新事業　更新延長　13,718m （注）：事業の進捗は，工事の発注延長により計画管理しています。	◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業　更新延長　3,130m 3,280m（予算時計画長） 配水支管更新事業　更新延長　12,995m 10,738m（予算時計画長） ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業　更新延長　4,448m 配水支管更新事業　更新延長　13,463m （注）：事業の進捗は，工事の発注延長により計画管理しています。	◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業　更新延長　3,752m 4,173m（予算時計画長） 配水支管更新事業　更新延長　13,640m 11,332m（予算時計画長） ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業　更新延長　2,908m 配水支管更新事業　更新延長　14,175m （注）：事業の進捗は，工事の発注延長により計画管理しています。	◆工事発注延長（注） 基幹管路更新事業　更新延長　534m 322m（予算時計画長） 配水支管更新事業　更新延長　12,175m 9,673m（予算時計画長） ◆工事竣工延長（前年度からの繰越延長含む） 基幹管路更新事業　更新延長　2,130m 配水支管更新事業　更新延長　9,455m （注）：事業の進捗は，工事の発注延長により計画管理しています。

	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
	基幹管路更新事業	2点			基幹管路更新事業		1点		基幹管路更新事業		1点		基幹管路更新事業	2点		
	配水支管更新事業	2点			配水支管更新事業	2点			配水支管更新事業	2点			配水支管更新事業	2点		
	平均（A）	2.0点			平均（A）	1.5点			平均（A）	1.5点			平均（A）	2点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
管路耐震適合率 ※評価指標の延長は発注延長（計画値）を使用	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	69.7%	70.1%	70.4%	70.8%	69.8%	100.1%	4点		70.2%	100.1%	4点		70.6%	100.3%	4点		70.9%	100.1%	4点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	69.7%	70.1%	70.4%	70.8%	69.8%	100.1%	4点		70.2%	100.1%	4点		70.6%	100.3%	4点		70.9%	100.1%	4点	
基幹管路耐震適合率 ※評価指標の延長は発注延長（計画値）を使用	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	67.4%	68.2%	69.1%	70.1%	67.9%	100.7%	4点		69.0%	101.2%	4点		70.3%	101.7%	4点		70.5%	100.5%	4点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	67.4%	68.2%	69.1%	70.1%	67.9%	100.7%	4点		69.0%	101.2%	4点		70.3%	101.7%	4点		70.5%	100.5%	4点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を実施し、計画の実現性を高めたことで、目標の事業量を効率的に達成することができました。			・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。 ・基幹管路更新事業は通水作業に時間を要するため、布設を前倒しで進めており、作業量が増加しています。また、関連する道路事業と調整を図りましたが、一部の工事発注ができなかったことにより効率が低下しました。 ・今後も事前調査や関連事業との調整に取り組み、目標の事業量を効率的に達成できるよう進めていきます。			・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。 ・関連する道路事業と調整の結果、一部の工事発注ができませんでしたが、目標に対して少ない人員体制で計画延長以上の更新ができたことで作業効率が改善しました。 ・今後も事前調査や関連事業との調整に取り組み、目標の事業量を効率的に達成できるよう進めていきます。			・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。 ・人員体制は目標に対して、概ね同等で計画延長以上の更新ができました。 ・今後も事前調査や関連事業との調整に取り組み、目標の事業量を効率的に達成できるよう進めていきます。		
評価結果	予算効率	5点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	5点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	A	作業効率	2点	C	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	9点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・管路施設の耐震化については、生活や都市活動に必要な水道水をできるだけ届けられるよう、更新事業にあわせ計画的に進めていきます。 ・新・マスタープラン後期実施計画の見直しにより、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化しています。			・管路施設の耐震化については、生活や都市活動に必要な水道水をできるだけ届けられるよう、更新事業にあわせ計画的に進めていきます。 ・引き続き、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化していきます。			・管路施設の耐震化については、生活や都市活動に必要な水道水をできるだけ届けられるよう、更新事業にあわせ計画的に進めていきます。 ・引き続き、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化していきます。			・管路施設の耐震化については、生活や都市活動に必要な水道水をできるだけ届けられるよう、更新事業にあわせ計画的に進めていきます。 ・引き続き、事故発生時に影響の大きい基幹管路や中心市街地の老朽配水支管の更新を強化していきます。		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	予算規模が大きく，管路施設は水道システムの根幹をなすものであることから，引き続き，計画に沿った事業推進に努めること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅳ	災害対策・体制の強化	事業・取組名	Ⅳ－３	重要施設向け配水管の耐震化	所管課	計画整備課

①事業概要

【事業の目的】	災害時に早急な対策・復旧計画の策定が求められる行政機関や、被災した市民の生命に係る救急医療施設などの重要施設向け配水支管の耐震化を優先的に進め、被災対応の充実を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○重要施設向け配水管の耐震化 ・重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水支管を優先的に耐震管に入れ替えます。 ・令和3年度　医療機関2施設 累計41施設（行政機関9施設，医療機関32施設） ・耐震化予定の重要施設（令和6年度まで） 累計48施設（行政機関12施設，医療機関36施設）	○重要施設向け配水管の耐震化 ・重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水支管を優先的に耐震管に入れ替えます。 ・令和4年度　行政機関1施設 累計42施設（行政機関10施設，医療機関32施設） ・耐震化予定の重要施設（令和6年度まで） 累計48施設（行政機関12施設，医療機関36施設）	○重要施設向け配水管の耐震化 ・重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水支管を優先的に耐震管に入れ替えます。 ・令和5年度　医療機関1施設 累計43施設（行政機関10施設，医療機関33施設） ・耐震化予定の重要施設（令和6年度まで） 累計48施設（行政機関12施設，医療機関36施設）	○重要施設向け配水管の耐震化 ・重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水支管を優先的に耐震管に入れ替えます。 ・令和6年度　行政機関1施設、医療機関3施設 累計48施設（行政機関12施設，医療機関36施設） ・耐震化予定の重要施設（令和6年度まで） 累計48施設（行政機関12施設，医療機関36施設）

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	300,000,000	342,000,000	396,790,000	343,360,000
	執行額（b）	280,044,600	332,814,180	360,851,019	215,019,662
	執行率（%）（b）／（a）	93.3%	97.3%	90.9%	62.6%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） 担当者数	1.17人	1.33人	113.7%	1.83人	1.54人	84.2%	1.03人	1.93人	187.4%	1.25人	1.0人	80.0%
	期間（d） 対応期間	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（c/d） 対応期間あたり従事職員数	1.17人/年 （ア）	1.33人/年 （イ）	（イ／ア）	1.83人/年 （ア）	1.54人/年 （イ）	（イ／ア）	1.03人/年 （ア）	1.93人/年 （イ）	（イ／ア）	1.25人/年 （ア）	1.0人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	◆耐震化完了重要施設数（実際に工事が完了した施設数の累計） ・行政機関　９施設 ・医療機関　３０施設 （令和2年度　みどり病院，とやの中央病院，新潟万代病院　完了） ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数 ・行政機関　０施設【計９施設】 ・医療機関　３施設【計３１施設】 みどり病院、新潟万代病院、新津信愛病院 （R2年度発注：2カ年継続）	◆耐震化完了重要施設数 （実際に工事が完了した施設数の累計） ・行政機関　９施設 ・医療機関　３２施設 （Ｒ3年度　新潟信愛病院，新津信愛病院　完了） ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数 ・行政機関　０施設【計９施設】 ・医療機関　２施設【計３３施設】 新潟信愛病院、 白根大通病院（Ｒ３年度発注：４カ年継続）	◆耐震化完了重要施設数 （実際に工事が完了した施設数の累計） ・行政機関　１０施設 ・医療機関　３２施設 （Ｒ4年度　消防局本局　完了） ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数 ・行政機関　2施設【計１１施設】 ・医療機関　1施設【計３３施設】 消防局本局、 白根大通病院（Ｒ３年度発注：４カ年継続） 東区役所（Ｒ４年度発注：3カ年継続）	◆耐震化完了重要施設数 （実際に工事が完了した施設数の累計） ・行政機関　１１施設 ・医療機関　３３施設 （Ｒ５年度　東区役所，西蒲中央病院　完了） ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数 ・行政機関　2施設【計１２施設】 ・医療機関　2施設【計３４施設】 中央区役所（Ｒ５年度発注：2カ年継続） 白根大通病院（Ｒ３年度発注：４カ年継続） 東区役所（Ｒ４年度発注：2カ年で完了） 西蒲中央病院	◆耐震化完了重要施設数 （実際に工事が完了した施設数の累計） ・行政機関　１２施設 ・医療機関　３５施設 （Ｒ６年度　中央区役所，東新潟病院，松浜病院　完了） ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数 ・行政機関　2施設【計１２施設】 ・医療機関　2施設【計３４施設】 中央区役所（Ｒ５年度発注：2カ年継続） 白根大通病院（Ｒ３年度発注：4カ年継続） 東新潟病院 松浜病院

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
重要施設向け配水管の耐震化		1点		重要施設向け配水管の耐震化		1点		重要施設向け配水管の耐震化	2点			重要施設向け配水管の耐震化			0点
平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	2点			平均（A）	0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
耐震化完了重要施設数（マスタープラン前1施設及び計画以外2施設の完了を含む）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	2施設	1施設	1施設	5施設	2施設	100%	3点		1施設	100%	3点		2 施設	200%	5点		3 施設	60%	1点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	41施設	42施設	43施設	48施設	41施設	100%	3点		42施設	100%	3点		44施設	102.3%	4点		47施設	97.9%	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
		―																		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・計画的に業務を進めた結果、今年度に予定された工事については全て発注できました。 ・人員体制は更新ルートの調整に時間を要しましたが、効率的な発注ができました。			・計画的に業務を進めた結果、今年度に予定された工事については全て発注できました。 ・令和３年度から継続工事となっていた白根大通病院について、更新ルートを変更する調整が完了したことで作業効率を改善できました。			・計画的に業務を進めた結果、今年度に予定された工事については全て発注できました。 ・人員体制は更新ルートの調整に時間を要しましたが、効率的な発注ができました。			・計画的に業務を進めた結果、今年度に予定された工事については全て発注できました。 ・人員体制は目標値より少ない人員で効率的な発注ができました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	C	作業効率	4点	B	作業効率	3点	B	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	5点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・医療２施設を計画通り発注しました。 ・当該事業は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に進めます。			・行政2施設、医療1施設を計画通り発注しました。 ・当該事業は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に進めます。			・行政2施設、医療2施設を計画通り発注しました。 ・当該事業は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に進めます。 ・東区役所ルートは、更新ルートを見直したことで予定より1年早く完了しました。			・行政1施設、医療3施設を計画通り発注しました。 ・当該事業は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に進めます。 ・白根大通病院は関係機関との調整に時間を要し、年度内に完了できませんでした。（R7.6月末完成見込み）		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	1点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	4点	A	進捗度	3点	D
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	9点／10点	外的要因加点	0点	4点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	関係機関との調整を行い，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅳ	災害対策・体制の強化	事業・取組名	Ⅳ－４	配水管網のブロック化の推進	所管課	管路課

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時の被害範囲の極小化や復旧の迅速化を図るため、配水幹線の更新や関連事業との整合を図りながら、小ブロック（135ブロック）の構築を行います。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○小ブロックの構築 ・令和2年度末（85.9%　116／135） ・令和6年度末（90.4%　122／135）	○小ブロックの構築 ・令和2年度末（85.9%　116／135） ・令和6年度末（90.4%　122／135）	○小ブロックの構築 ・令和2年度末（85.9%　116／135） ・令和6年度末（90.4%　122／135）	○小ブロックの構築 ・令和2年度末（85.9%　116／135） ・令和6年度末（90.4%　122／135）

②過程

	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間・体制 （人員）】 時間（人員）は どれくらいかけたか	総作業量（c） （実働時間）	0人	0人	0%	0人	0人	0%	0人	0人	0%	0人	0人	0%
	期間（d） （従事期間）	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたり の作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	0人/年 （ア）	0人/年 （イ）	（イ／ア）	0人/年 （ア）	0人/年 （イ）	（イ／ア）	0人/年 （ア）	0人/年 （イ）	（イ／ア）	0人/年 （ア）	0人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	・小ブロック構築数　6ブロック ・小ブロック構築率　85.9%（116/135） 巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備や中之口川に係る水管橋整備の進展等に併せて、6ブロックの構築に至りました。	・小ブロック構築数　3ブロック ・小ブロック構築率　87.4%（118/135） ・老朽管の機能停止及び適正な注入点数への変更により、3ブロックを構築しました。 　なお、今年度は、令和2年度構築済みの1ブロックを包含する新たなブロックを構築したため、構築済みブロック数が令和2年度の116から118へと2ブロックの増加となっています。	・小ブロック構築数　0ブロック ・小ブロック構築率　87.4%（118/135） ・関連する他事業が未整備のため管路整備事業が行えず、予定していた2ブロックを構築することができませんでした。 　なお、今年度構築を予定していた2ブロックについては、令和6年度に構築予定を変更しています。	・小ブロック構築数　2ブロック ・小ブロック構築率　88.9%（120/135） ・令和4年度に未構築となった2ブロックについては、関連する他事業の整備状況を注視しつつ、引き続き令和6年度の構築を目指します。 ・今年度は、基幹管路整備事業の進捗状況から令和6年度に構築を予定していた2ブロックを前倒しで構築し、構築済みブロック数が令和4年度の118から120へと2ブロックの増加となっています。	・小ブロック構築数　1ブロック ・小ブロック構築率　89.6%（121/135） ・令和4年度に未構築となった2ブロックについては、関連する他事業が進まず構築できませんでしたが、引き続き整備動向を注視し早期構築を目指します。 ・今年度は、基幹管路整備事業の進捗に伴い当初計画にない１ブロックを新たに構築し、構築済みブロック数が120から121へと１ブロックの増加となっています。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
小ブロック構築数		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
小ブロック構築数			0点
平均（A）	0点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
小ブロック構築数		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
小ブロック構築数			0点
平均（A）	0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
小ブロック構築率	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	87.4%	88.9%	88.9%	90.4%	87.4%	100%	3点		87.4%	98.3%	3点		88.9%	100%	3点		89.6%	99.1%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		1点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施しています。 ・予算の計上及び執行はありませんが、今年度は3ブロックを構築することができました。			・小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施しています。 ・今年度は関連する他事業が未整備のため管路整備事業が行えず、予定していた2ブロックを構築することができませんでした。			・小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施しています。 ・令和4年度に未構築となった2ブロックについては、関連する他事業と調整を図りつつ、引き続き令和6年度の構築を目指します。 ・今年度は、基幹管路整備事業の進捗状況から令和6年度に構築を予定していた2ブロックを前倒しで構築することができました。			・小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施しています。 ・令和4年度に未構築となった2ブロックについては、関連する他事業が進まず構築できませんでしたが、基幹管路整備事業に伴い構築作業をすすめることで、当初計画に無い１小ブロックを効率よく構築することができました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	2点	C	作業効率	3点	C	作業効率	2点	D
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	1点	5点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	4点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・配水管網のブロック化は、事故・災害発生時における被害の局所化や迅速な復旧を行うための取り組みとなります。今年度の目標値を達成し、配水管網の事故・災害対応面でのレベルアップが着実に進んでいます。			・配水管網のブロック化は、事故・災害発生時における被害の局所化や迅速な復旧を行うための取り組みとなります。今年は目標値を達成することができませんでしたが、関連する他事業と調整し、引き続き配水管網の事故・災害対応面でのレベルアップを着実に進めていきます。			・配水管網のブロック化は、事故・災害発生時における被害の局所化や迅速な復旧を行うための取り組みとなります。今年は令和6年度に構築を予定していた2ブロックを前倒しで構築できたことにより、目標値を達成することができました。引き続き、関連する他事業と調整し、配水管網の事故・災害対応面でのレベルアップを着実に進めていきます。			・配水管網のブロック化は、事故・災害発生時における被害の局所化や迅速な復旧を行うための取り組みとなります。 ・今年度は、基幹管路整備事業の進捗に伴い新たに１ブロックを構築し小ブロック数は121となりましたが、目標数122を下回る結果となりました。 ・今後は令和4年度に未構築となった2ブロックについて、関連する他事業動向を注視しながら早期構築に努めることで、配水管網の事故・災害対応面でのレベルアップを着実に進めます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	関連事業との調整を行い，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅳ	災害対策・体制の強化	事業・取組名	Ⅳ－５	大ブロック間の相互連絡管の整備	所管課	管路課

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時のバックアップを目的とし、大ブロック（各浄配水場給水区域）間に相互連絡管を整備し、安定給水の向上を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線　φ500㎜　L＝6,880m 期間：H27～R6年度 ○信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備 ・亀貝ルート　φ500㎜　L＝2,340m 期間：R３～R６年度 ○南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備 ・豊栄－太夫浜線　φ500㎜　L＝650m 期間：R３～R４年度	○巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線　φ500㎜　L＝6,880m 期間：H27～R6年度 ○信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備 ・亀貝ルート　φ500㎜　L＝2,340m 期間：R３～R６年度 ○南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備 ・豊栄－太夫浜線　φ500㎜　L＝650m 期間：R３～R４年度	○巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線　φ500㎜　L＝6,880m 期間：H27～R6年度 ○信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備 ・亀貝ルート　φ500㎜　L＝2,340m 期間：R３～R６年度	○巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線　φ500㎜　L＝6,880m 期間：H27～R6年度 ○信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備 ・亀貝ルート　φ500㎜　L＝2,340m 期間：R３～R６年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	688,000,000	449,500,000	925,260,001	736,610,000
	執行額（b）	501,801,000	262,856,182	494,551,819	651,858,239
	執行率（%）（b）／（a）	72.9%	58.5%	53.5%	88.5%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	2.25人	2.25人	100%	1.6人	1.3人	81%	2.3人	2.12人	92%	1.8人	0.9人	50%
	期間（d） （従事期間）	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	2.25人/年 （ア）	2.25人/年 （イ）	（イ／ア）	1.6人/年 （ア）	1.3人/年 （イ）	（イ／ア）	2.3人/年 （ア）	2.12人/年 （イ）	（イ／ア）	1.8人/年 （ア）	0.9人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・φ500mm L=702.5m 前々年度から工程の組替えを行った影響で、今年度は、所期目標値を上回る整備延長を施工しました。 青山浄水場系～南山配水場系連絡管整備 ・φ500mm L=782m 今年度予定していた工区の一部を前年度に前倒しで発注したこともあり、今年度発注延長は計画を下回ったものの、今年度発注工事をもって、当該整備事業は完了しました。	・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 φ500㎜ L=240.2m ・信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備 φ500㎜ L=610.9m ・南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備 φ500㎜ L=401.7m 初年度の２ルートも含め予定を上回る施工ができました。	・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 φ500㎜ L=420.6m※ ※舗装工事のみ令和5年度に繰越したため、布設延長は計上 ・信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備 φ500㎜ L=589.1m ・南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備 φ500㎜ L=0m	・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 φ500㎜ L=303.2m ・信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備 φ500㎜ L=416.7m ・南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備 φ500㎜ L=270.0m	・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 φ500㎜ L=314m ・信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備 φ500㎜ L=953.9m

	令和3年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	連絡管整備延長	2点		
	平均（A）	2点		

	令和4年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	連絡管整備延長	2点		
	平均（A）	2点		

	令和5年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	連絡管整備延長	2点		
	平均（A）	2点		

	令和6年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	連絡管整備延長		1点	
	平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
相互連絡管整備延長（巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	230m	350m	350m	330m	240.2m	104.4%	4点		420.6m	120.2%	5点		303.2m	86.6%	2点		314m	95.2%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	5,850m	6,200m	6,550m	6,880m	6,090.2m	104.1%	4点		6,510.8m	105.0%	4点		6814.0m	104.0%	4点		7,128m	103.6%	4点	
相互連絡管整備延長（信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	590m	200m	600m	950m	610.9m	103.5%	4点		589.1m	294.6%	5点		416.7m	69.5%	1点		953.9m	100.4%	4点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	590m	790m	1,390m	2,340m	610.9m	103.5%	4点		1,200.0m	151.9%	5点		1616.7m	116.3%	5点		2,570.6m	109.9%	4点	
相互連絡管整備延長（南浜配水場系～内島見配水場系連絡管）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	400m	250m	－	－	401.7m	100.4%	4点		0m	0.0%	1点		270.0m	270.0%	5点		－	－	－	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		－
	400m	650m	－	－	401.7m	100.4%	4点		401.7m	61.8%	1点		671.7m	103.3%	4点		－	－	－	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備並びに信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備については、工区割りの調整から目標値以上の延長を整備することができました。 ・南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備については、予定どおりの延長の整備により目標値を達成することができました。			・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備並びに信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備については、工区割りの調整から目標値以上の延長を整備することができました。なお、いずれも最終年度に通水作業が予定されていることから、一定程度前倒しで事業を進めています。 ・南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備については、河川管理者との協議に時間を要したことと、工事発注のやり直しにより、令和4年度中の竣工ができなくなりましたが、既に債務負担行為により発注し、令和5年度に完了する予定です。			・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備並びに信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備については、工区割りを調整したことで単年度は目標値を下回る整備延長となりましたが、実績累計としては引き続き目標を上回る進捗を確保しています。なお、いずれも最終年度に通水作業が予定されていることから、一定程度前倒しで事業を進めています。 ・南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備については、令和5年度に完了しました。			・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備については、単年度の目標値を下回る整備となりましたが、実績累計は目標値を上回る整備延長となりました。 ・信濃川浄水場系～青山浄水場系連絡管整備については、単年度および実績累計ともに目標値を上回る整備延長となっています。		
評価結果	予算効率	5点	総合評価	予算効率	5点	総合評価	予算効率	5点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	A	作業効率	5点	A	作業効率	4点	A	作業効率	4点	B
	外的要因加点	0点	9点／10点	外的要因加点	0点	10点／10点	外的要因加点	0点	9点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・３路線すべてで目標値を達成しており、事故・災害発生時のバックアップ機能向上を目的とする連絡管整備が着実に進んでいます。 ・事故・災害発生時のバックアップ機能を向上させるため、今後も計画に沿って事業を実施していきます。			・1路線は複数年にわたる工事のため、目標値を達成できませんでしたが、他の2路線は目標値を達成しており、事故・災害発生時のバックアップ機能向上を目的とする連絡管整備が着実に進んでいます。 ・事故・災害発生時のバックアップ機能を向上させるため、今後も計画に沿って事業を実施していきます。			・2路線は単年度の目標値を達成できませんでしたが、実績累計は目標値を達成しており、事故・災害発生時のバックアップ機能向上を目的とする連絡管整備は着実に進んでいます。 ・事故・災害発生時のバックアップ機能を向上させるため、今後も計画に沿って事業を実施していきます。			・2路線ともに令和６年度内での通水作業に至らなかったため、令和７年度中に通水作業を行い早期運用を図ることで、事故・災害発生時のバックアップ機能確保につなげます。		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	3点	B	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅳ	災害対策・体制の強化	事業・取組名	Ⅳ－６	事故・災害時における復旧体制の強化	所管課	経営管理課

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時などの非常時において，迅速かつ的確に応急給水する体制や，水道施設を早期に復旧する体制の強化を図るとともに，応急給水設備の整備，給水・復旧に係る各種災害協定や関係団体・地域住民との連携の強化などをはかります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアルの見直し拡充。 ○マニュアルに基づく訓練の実施 ・局内及び他事業体との訓練。 ○応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車用常設注水設備の整備。 ・住民用応急給水設備の整備に向けた調整。 ○災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業や地域住民との協力及び協働体制構築に向けた調整。 ・避難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整。	○各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアルの見直し拡充。 ○マニュアルに基づく訓練の実施 ・局内及び他事業体との訓練。 ○応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車用常設注水設備の整備。 ・住民用応急給水設備の整備に向けた調整。 ○災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業や地域住民との協力及び協働体制構築に向けた調整。 ・避難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整。	○各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアルの見直し拡充。 ○マニュアルに基づく訓練の実施 ・局内及び他事業体との訓練。 ○応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車用常設注水設備の整備。 ・住民用応急給水設備の整備に向けた調整。 ○災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業や地域住民との協力及び協働体制構築に向けた調整。 ・避難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整。	○各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアルの見直し拡充。 ○マニュアルに基づく訓練の実施 ・局内及び他事業体との訓練。 ○応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車用常設注水設備の整備。 ・住民用応急給水設備の整備に向けた調整。 ○災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業や地域住民との協力及び協働体制構築に向けた調整。 ・避難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） 時間（h）	28.3時間	28.3時間	100%	28.3時間	31.4時間	112%	31.6時間	31.6時間	100%	31.7時間	31.7時間	100%
	期間（d） 作業従事職員数	3人	3人		3人	3人		3人	3人		3人	3人	
	単位あたりの作業量（c/d） h／人	9.4時間 （ア）	9.4時間 （イ）	（イ／ア）	9.4時間 （ア）	10.5時間 （イ）	（イ／ア）	10.5時間 （ア）	10.5時間 （イ）	（イ／ア）	10.6時間 （ア）	10.6時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】
事業・取組の結果は

令和２年度実績

各種災害時マニュアルの作成・更新
・マニュアル等を見直し内容の充実を図りました。（危機事象対応マニュアルなど）
マニュアルに基づく訓練の実施
・局内訓練（地震対応訓練）は実施準備を進めていましたが、悪天候により急遽中止となりました。
・他事業体（神戸市、名古屋市）とweb会議を用いた訓練を行いました。
応急給水設備の整備
・戸頭浄水場に給水車常設注水設備を整備しました。
災害時の協力体制および連携体制の拡充
・民間企業と災害時応援協定を締結しました。（水島鉄工(株)，水ing他2社，フジテコム(株)）
拠点給水所の周知方法の検討
・拠点給水所の使用可否について課題整理を行いました。

令和3年度

各種災害時マニュアルの作成・更新
・マニュアル等を見直し内容の充実を図りました。（危機事象対応マニュアル、応急対策マニュアルなど）
マニュアルに基づく訓練の実施
・局内訓練（地震対応訓練）を予定通り実施しました。
・他事業体（名古屋市、仙台市、札幌市、東京都、堺市）とWEB会議を用いた訓練、情報交換を行いました。
災害時の協力体制および連携体制の拡充
・民間企業と災害時応援協定を締結しました。（公益社団法人全国上下水道ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ協会中部支部）

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
各種災害時マニュアルの更新		1点	
マニュアルに基づく訓練の実施		1点	
災害時の協力体制および連携体制の充実		1点	
平均（A）	1点		

令和4年度

各種災害時マニュアルの作成・更新
・マニュアル等を見直し内容の充実を図りました。（危機事象対応マニュアル、応急対策マニュアルなど）
マニュアルに基づく訓練の実施
・局内訓練（地震対応訓練）を予定通り実施しました。
・他事業体（さいたま市、神戸市、大阪市、仙台市、名古屋市）と合同防災訓練、情報伝達訓練、技術交流会を行いました。
応急給水設備の整備
・巻浄水場における給水車常設注水設備の整備について、予定通り発注されましたが、工期延長したため、令和5年度に完了予定です。
災害時の協力体制および連携体制の拡充
・災害時応援協定の締結先と平時及び緊急時の連絡窓口を確認し、連携体制の強化を図りました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
各種災害時マニュアルの更新		1点	
マニュアルに基づく訓練の実施		1点	
災害時の協力体制および連携体制の充実		1点	
平均（A）	1点		

令和5年度

各種災害時マニュアルの作成・更新
・マニュアル等を見直し内容の充実を図りました。（危機事象対応マニュアル、寒波対応マニュアルなど）
マニュアルに基づく訓練の実施
・局内訓練（地震対応訓練）については、能登半島地震対応により中止となりました。
・新潟市総合防災訓練におけるライフライン復旧訓練及び防災展示・体験ブースに参加しました。
・他事業体（さいたま市、仙台市、名古屋市）と合同防災訓練、意見交換会、技術交流会を行いました。
応急給水設備の整備
・巻浄水場における給水車常設注水設備の整備については、令和5年5月末に完了しました。
災害時の協力体制および連携体制の拡充
・災害時応援協定の締結先と平時及び緊急時の連絡窓口を確認し、連携体制の強化を図りました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
各種災害時マニュアルの更新		1点	
マニュアルに基づく訓練の実施		1点	
災害時の協力体制および連携体制の充実		1点	
平均（A）	1点		

令和6年度

各種災害時マニュアルの作成・更新
・マニュアル等を見直し内容の充実を図りました。（危機事象対応マニュアル、寒波対応マニュアルなど）
マニュアルに基づく訓練の実施
・局内訓練（地震対応訓練）を予定通り実施しました。
・他事業体（さいたま市、仙台市、名古屋市、神戸市、大阪市）と合同防災訓練、技術交流会を行いました。
災害時の協力体制および連携体制の拡充
・災害時応援協定の締結先と平時及び緊急時の連絡窓口を確認し、連携体制の強化を図りました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
各種災害時マニュアルの更新		1点	
マニュアルに基づく訓練の実施		1点	
災害時の協力体制および連携体制の充実		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
各種マニュアルの作成・見直し	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	3点		実施	実施	3点		実施	実施	3点		実施	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
マニュアルに基づく訓練の実施	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	3点		実施	実施	3点		実施	実施	3点		実施	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
給水車用常設注水設備の整備	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	－	巻浄水場	－	－	－	－	－		巻浄水場	実施	3点		－	－	－		－	－	－	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－		－	－	－		－	－	－	
応急給水の機能強化	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・今年度予定されていた取組内容について，概ね実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、訓練等については、参会式の訓練は中止となり、WEB形式に変更となりました。			・今年度予定されていた取組内容について，概ね実施しました。 ・他事業体との訓練等について、今年度から参会形式による開催となり、給水車の実動訓練や机上訓練、意見交換を実施しました。			・今年度予定されていた取組内容について，概ね実施しました。 ・他事業体との訓練等については、給水車の実動訓練や机上訓練（応急給水計画作成）、円滑な相互応援体制構築のための意見交換会を実施しました。			・今年度予定されていた取組内容について，概ね実施しました。 ・他事業体との訓練等については、給水車の実動訓練や机上訓練（応急給水計画作成）、円滑な相互応援体制構築のための意見交換会を実施しました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	2点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	5点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・マニュアルの見直しを行い、災害対応力を向上させました。 ・局内訓練の実施により、災害時の初動対応について、一連の流れを確認することができました。 ・他事業体との訓練により、災害時の連携を確認し救援活動の実効性を高めました。 ・民間企業と災害時応援協定を締結し、災害時の協力及び連携体制を強化しました。			・マニュアルの見直しを行い、災害対応力を向上させました。 ・局内訓練の実施により、災害時の初動対応について、一連の流れを確認することができました。 ・他事業体との訓練により、災害時の連携を確認し救援活動の実効性を高めました。 ・巻浄水場における給水車常設注水設備の整備について、予定通り発注しました。			・マニュアルの見直しを行い、災害対応力を向上させました。 ・市総合防災訓練の実施により、災害対応力の向上及び防災体制の充実強化を図ることができた。 ・他事業体との訓練により、災害時の連携を確認し救援活動の実効性を高めました。			・マニュアルの見直しを行い、災害対応力を向上させました。 ・局内防災訓練の実施により、災害対応力の向上及び防災体制の充実強化を図ることができました。 ・他事業体との訓練により、災害時の連携を確認し救援活動の実効性を高めました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

	維持	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き，計画に沿って事業を推進すること．なお，各種災害時の対応や復旧体制については，マニュアル類の継続的な点検・改善や訓練の定期実施等を通して，発生時に有効に機能するように努めること．	引き続き，計画に沿って事業を推進すること．なお，各種災害時の対応や復旧体制については，マニュアル類の継続的な点検・改善や訓練の定期実施等を通して，発生時に有効に機能するように努めること．	引き続き，計画に沿って事業を推進すること． なお，各種災害時の対応や復旧体制については，マニュアル類の継続的な点検・改善や訓練の定期実施等を通して，発生時に有効に機能するように努めること．	引き続き，計画に沿って事業を推進すること． なお，各種災害時の対応や復旧体制については，マニュアル類の継続的な点検・改善や訓練の定期実施等を通して，発生時に有効に機能するように努めること．

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅴ	経営基盤の強化	事業・取組名	Ⅴ－１	アセットマネジメントによる適正な資産管理	所管課	計画整備課

①事業概要

【事業の目的】	人口減少に伴い給水収益の大幅な減少が見込まれる中、水道事業を安定して持続していくために、中長期的な視点に立って、施設更新需要の見通しについて検討し、着実な更新投資を行う必要があります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○水道施設台帳の整備 ・アセットマネジメントの基礎となる必要情報の効率的な整備と、蓄積した情報の効果的な利用を目的として、施設情報等を一元管理できる水道施設台帳の整備について検討します。	○水道施設台帳の整備 ・アセットマネジメントの基礎となる必要情報の効率的な整備と、蓄積した情報の効果的な利用を目的として、施設情報等を一元管理できる水道施設台帳の整備について検討します。 ○全局的なアセットマネジメントの推進 ・持続可能な水道事業の実現に向けて、「アセットマネジメント推進委員会」を設立し、全局的なアセットマネジメントの実践・管理を図ります。	○水道施設台帳の整備 ・アセットマネジメントの基礎となる必要情報の効率的な整備と、蓄積した情報の効果的な利用を目的として、施設情報等を一元管理できる水道施設台帳の整備について検討します。 ○全局的なアセットマネジメントの推進 ・持続可能な水道事業の実現に向けて、「アセットマネジメント推進委員会」を開催し、全局的なアセットマネジメントの実践・管理を図ります。	○水道施設台帳の整備 ・アセットマネジメントの基礎となる必要情報の効率的な整備と、蓄積した情報の効果的な利用を目的として、施設情報等を一元管理できる水道施設台帳の導入について検討します。 ○施設整備計画の策定 ・アセットマネジメントの実践により試算した中長期的な更新需要および財政収支見通しを基に、次期新潟市水道事業経営計画における施設整備計画を策定します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） 担当者数	0.40人	0.40人	100%	0.40人	0.40人	100%	0.40人	0.40人	100%	0.40人	0.40人	100%
	期間（d） 対応期間	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（c/d） 対応期間あたり従事職員数	0.40人/年 （ア）	0.40人/年 （イ）	（イ／ア）	0.40人/年 （ア）	0.40人/年 （イ）	（イ／ア）	0.40人/年 （ア）	0.40人/年 （イ）	（イ／ア）	0.40人/年 （ア）	0.40人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	浄配水施設再編基本構想については、市議会への説明を行い、「新潟市水道施設整備長期構想2020」として公表することができました。また、新マスタープラン後期実施計画では、本構想を踏まえ、次期マスタープランを見据えた施設整備計画を策定することができました。	・水道施設台帳システムについて、プラント系メーカーや水道コンサルなど、様々なシステムベンダーが構築したシステムのデモンストレーションを受け、有用性や特色などを確認しました。 ・浄配水施設の設備状況について、台帳の電子データ化が概ね完了したことを確認しました。	・アセットマネジメント推進委員会を設立し、施設情報等を一元管理できる水道施設台帳の整備や、施設更新周期の見直し、中長期的な視点での更新需要算出について検討しました。	○水道施設台帳の整備 ・施設情報等を一元管理できる水道施設台帳の導入について検討しました。 ○全局的なアセットマネジメントの推進 ・「新潟市水道施設整備長期構想2020」を踏まえた中長期的な視点での更新需要を試算し、施設再編による効果を確認しました。	○水道施設台帳の整備 ・施設情報等を一元管理できる水道施設台帳の導入について検討しました。 ○施設整備計画の策定 アセットマネジメントの実践により試算した中長期的な更新需要および財政収支見通しを基に、次期新潟市水道事業経営計画における施設整備計画を策定しました。

	令和3年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	水道施設台帳整備の検討		1点	
	平均（A）	1点		

	令和4年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	水道施設台帳整備の検討		1点	
	全局的なアセットマネジメントの推進		1点	
	平均（A）	1点		

	令和5年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	水道施設台帳整備の検討		1点	
	全局的なアセットマネジメントの推進		1点	
	平均（A）	1点		

	令和6年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	水道施設台帳整備の検討		1点	
	施設整備計画の策定		1点	
	平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
施設整備計画の策定	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	－	－	－	策定	－	－	－		－	－	－		－	－	－		施設整備計画の策定	策定	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－		－	－	－		－	－	3点	
水道施設台帳整備の検討	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	実施	実施	実施	実施	水道施設台帳システムの検討	実施	3点		水道施設台帳システムの検討	実施	3点		水道施設台帳システムの検討	実施	3点		水道施設台帳システムの検討	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・当初予定通りの人員で水道施設台帳整備の検討を進めることができました。			・アセットマネジメント推進委員会を設立し、当初予定通りの人員でアセットマネジメントに係る検討を進めることができました。			・当初予定通りの人員でアセットマネジメントに係る検討を進めることができました。			・当初予定通りの人員でアセットマネジメントを基にした施設整備計画の策定ができました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・アセットマネジメントの効率化・高度化に向け、水道台帳システムのベンダーによるデモンストレーションを受け、システムの有用性や各社の特色を確認しました。 ・浄配水施設の設備状況について、電子データ化が概ね完了したことを確認しました。			・アセットマネジメントによる適正な資産管理のため、施設情報を一元管理できる水道施設台帳の検討を進めました。 ・アセットマネジメント推進委員会の設立により、更新周期の見直しや、更新需要の算出などの課題に対し全局的に取り組みました。			・アセットマネジメントによる適正な資産管理のため、施設情報を一元管理できる水道施設台帳の導入について検討を進めました。 ・アセットマネジメント推進委員会を開催し、更新需要の算出や費用の精緻化などの課題に対し全局的に取り組みました。			・アセットマネジメントによる適正な資産管理のため、施設情報を一元管理できる水道施設台帳の導入について検討を進めました。 ・アセットマネジメントの実践により、長期的な視点に基づきコストやリスクを踏まえた施設整備計画を策定することができました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅴ	経営基盤の強化	事業・取組名	Ⅴ－２	定員・給与の適正化	所管課	総務課

①事業概要

【事業の目的】	独立採算で運営する水道事業は、最小のコストで最大の効果を得るよう努める必要があります。健全な運営のために求められる人的資源の最適化を常に追求しつつ、事業運営の効率化を推進します。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○定員の適正化 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施するとともに、引き続き業務の見直しなどを図り、定員の適正化を進めます。 ○給与の適正化 ・職員給与については、市長事務部局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。	○定員の適正化 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施するとともに、引き続き業務の見直しなどを図り、定員の適正化を進めます。 ○給与の適正化 ・職員給与については、市長事務部局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。	○定員の適正化 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施するとともに、引き続き業務の見直しなどを図り、定員の適正化を進めます。 ○給与の適正化 ・職員給与については、市長事務部局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。	○定員の適正化 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施するとともに、引き続き業務の見直しなどを図り、定員の適正化を進めます。 ○給与の適正化 ・職員給与については、市長事務部局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	480時間	480時間	100%	480時間	480時間	100%	480時間	480時間	100%	480時間	480時間	100%
	期間（d） （作業従事職員数）	2人	2人		2人	2人		2人	2人		2人	2人	
	単位あたりの作業量（c/d） （1人あたりの年間作業時間）	240時間 （ア）	240時間 （イ）	（イ／ア）	240時間 （ア）	240時間 （イ）	（イ／ア）	240時間 （ア）	240時間 （イ）	（イ／ア）	240時間 （ア）	240時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理により，適正な人員を配置しました。 ・年度末職員数　３４１名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め，給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。	定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理により、適正な人員を配置しました。 ・年度末職員数　３３７名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。	定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理により、人員数確保に努めました。 ・年度末職員数　３３０名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。	定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理により、人員数確保に努めました。 ・年度末職員数　３２６名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。	定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理により、人員数確保に努めました。 ・年度末職員数　３２７名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。

	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
定員の適正化	2点			2点			2点			2点		
給与の適正化		1点			1点			1点			1点	
平均（A）	1.5点			1.5点			1.5点			1.5点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
職員数（人）（再任用短時間職員等を含む）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（B／D）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（B／D）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（B／D）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（B／D）		外的要因加点
	351人以下	351人以下	351人以下	351人以下	337人	103.4%	4点		330人	105.9%	4点		326人	107.7%	4点		327人	107.3%	4点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	4点		－	－	4点		－	－	4点		－	－	4点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・職員定数については、今後の業務見通しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、適正に行うことができました。 ・給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 （職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。）			・職員定数については、今後の業務見通しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、調整を図りました。 ・給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 （職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。）			・職員定数については、今後の業務見通しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、調整を図りました。 ・給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 （職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。）			・職員定数については、今後の業務見通しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、調整を図りました。 ・給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 （職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。）		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・再任用職員を含めた適正な人員管理を実施した結果、目標職員数である351人以下を達成し、適正な定数管理を行うことが出来ました。 ・給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。			・再任用職員を含めた適正な人員管理を実施した結果、目標職員数である351人以下を達成しました。 ・給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。			・再任用職員を含めた適正な人員管理を実施した結果、目標職員数である351人以下を達成しました。 ・給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。			・再任用職員を含めた適正な人員管理を実施した結果、目標職員数である351人以下を達成しました。 ・給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

※ 目標数値が以下の指標の計算方法：（１－（実績－目標）／目標）×１００

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-3-①	業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 DB（デザインビルド）方式の導入（試行）	所管課	計画整備課

①事業概要

【事業の目的】	事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向けた検討を進め、効果が見込める業務について積極的に委託化に取り組みます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○DB（デザインビルド）方式の導入（試行） ・経済性と効率化の観点や他都市の状況も含めた調査・検討を行います。 【取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務委託】 令和3～4年度 【取水施設撤去事業（DB方式）】 令和4～7年度	○DB（デザインビルド）方式の導入（試行） ・経済性と効率化の観点や他都市の状況も含めた調査・検討を行います。 【取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務委託】 令和3～4年度 【取水施設撤去事業（DB方式）】 令和4～7年度（令和4年度：契約、調査・設計業務 着手令和5年度以降：工事着手）	○DB（デザインビルド）方式の導入（試行） ・経済性と効率化の観点や他都市の状況も含めた調査・検討を行います。 【取水施設撤去事業（DB方式）】 令和4～7年度（令和５年度：調査・設計業務、工事着手）	○DB（デザインビルド）方式の導入（試行） ・経済性と効率化の観点や他都市の状況も含めた調査・検討を行います。 【取水施設撤去事業（DB方式）】 令和4～7年度（令和6年度：設計業務、撤去工事）

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	45,200,000	199,000,000	325,450,000
	執行額（b）	0	28,250,000	37,351,000	293,263,000
	執行率（%）（b）／（a）	－	62.5%	18.8%	90.1%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） 担当者数	0.60人	0.60人	100%	0.60人	0.60人	100%	0.60人	0.60人	100%	0.60人	0.60人	100%
	期間（d） 対応期間	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（c/d） 対応期間あたり従事職員数	0.60人/年 （ア）	0.60人/年 （イ）	（イ／ア）	0.60人/年 （ア）	0.60人/年 （イ）	（イ／ア）	0.60人/年 （ア）	0.60人/年 （イ）	（イ／ア）	0.60人/年 （ア）	0.60人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	取水施設撤去工事DB方式導入可能性調査業務委託を実施しました。 月潟浄水場、中之口・潟東浄水場、旧巻浄水場の３施設の取水施設撤去工事についてDB方式にて発注することを決定しました。	◆取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務委託 ・取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務（契約）	◆取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務委託 ・取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務（履行） ◆取水施設撤去事業 ・月潟他取水施設撤去工事（契約） ・河川協議に時間を要したため、撤去工事に伴う補償算定業務の発注及び補償費の支払いが出来ず、令和5年度に繰越すこととした。	◆取水施設撤去事業 ・月潟他取水施設撤去工事（調査業務） ・中之口取水施設/旧巻取水施設の調査業務と設計業務が完了し撤去工事に着手しましたが、河川協議に時間を要し、予定していた出来形までは達成できませんでした。	◆取水施設撤去事業 ・中之口取水施設/旧巻取水施設/月潟取水施設の撤去工事が完了しました。 ・月潟浄水場施設の撤去工事を進めており、ほぼ予定通りに執行しています。

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務委託		1点		取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務委託		1点		取水施設撤去事業(DB方式)			0点	取水施設撤去事業(DB方式)		1点	
				取水施設撤去事業(DB方式)			0点								
平均（A）	1点			平均（A）	0.5点			平均（A）	0点			平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
DB方式実施に向けた事業者選定支援業務	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	実施	実施	－	－	実施	実施	3点		実施	実施	3点		－	－	－		－	－	－	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	－		－	－	－	
DB方式による取水施設撤去事業	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	－	実施	実施	実施	－	－	－		実施	実施	3点		実施	一部実施	2点		実施	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		1点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－			－	－	3点		－	－	2点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務を計画通りに発注し、着手しました。 ・月潟浄水場、中之口・潟東浄水場、旧巻浄水場の３施設の取水施設撤去工事について、DB方式での発注に向けて、実施方針や要求水準書（案）の公表を行いました。			・取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務を計画通りに進め、履行しました。 ・月潟浄水場、中之口・潟東浄水場、旧巻浄水場の３施設の取水施設撤去工事を計画通りにDB方式で発注し、着手しました。			・月潟浄水場、中之口・潟東浄水場、旧巻浄水場の３施設の取水施設撤去事業を進めるなかで、河川協議に時間を要し、予定していた出来形までは達成できませんでした。よって、外的要因により効率性が低下したことから、通常の加点の他に1点加算しました。			・令和6年度末時点で中之口取水施設/旧巻取水施設/月潟取水施設の撤去工事が完了しました。現在、月潟浄水場の撤去工事を実施しています。 ・設計、施工を同一受注者が実施するDB方式により、情報の共有速度や質が高まり、効率性が向上しました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	2点	C	作業効率	2点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	5点／10点	外的要因加点	1点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・事業を実施するため、さらなる業務効率化に向けた官民連携手法の検討を進めていく必要があります。 ・今年度契約した取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務について、来年度以降も計画通り業務を進め、DB（デザインビルド）方式による事業の契約を行います。			・取水施設撤去事業DB事業者選定支援業務を適切に実施し、計画通りにDB方式で取水施設撤去工事を発注することができました。 ・今年度契約した取水施設撤去工事について、令和5年10月までに実施設計を完了させ、同10月以降の現場着手が行えるよう、事業を進めて行きます。			・月潟浄水場、中之口・潟東浄水場、旧巻浄水場の３施設の取水施設撤去事業を進めるなかで、河川協議に時間を要し、予定していた出来形までは達成できませんでした。よって、外的要因により有効性が低下したことから、通常の加点の他に1点加算しました。			・令和6年度末時点で中之口取水施設/旧巻取水施設/月潟取水施設の撤去工事が完了しました。現在、月潟浄水場の撤去工事を実施しています。 ・河川管理者との協議結果を設計、施工に迅速に反映できるなどDB方式の有効性が発揮されました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	2点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	2点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	1点	5点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅴ	経営基盤の強化	事業・取組名	Ⅴ-3-②	業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 給水装置工事検査業務の委託化に係る調査・検討	所管課	管路課

①事業概要

【事業の目的】	事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向けた検討を進め、効果が見込める業務について積極的に委託化に取り組みます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○給水装置工事検査業務の委託化に係る調査・検討 ・給水装置工事検査業務について、経済性や業務執行状況等の検証を実施するとともに、技術の継承方法、執行体制など、他都市の事例を調査するなどし、委託化による効果の有無について検討を行います。	○給水装置工事検査業務の委託化に係る調査・検討 ・給水装置工事検査業務について、経済性や業務執行状況等の検証を実施するとともに、技術の継承方法、執行体制など、他都市の事例を調査するなどし、委託化による効果の有無について検討を行います。	○給水装置工事検査業務の委託化に係る調査・検討 ・給水装置工事検査業務について、経済性や業務執行状況等の検証を実施するとともに、技術の継承方法、執行体制など、他都市の事例を調査するなどし、委託化による効果の有無について検討を行います。	○給水装置工事検査業務の委託化に係る調査・検討 ・給水装置工事検査業務について、経済性や業務執行状況等の検証を実施するとともに、技術の継承方法、執行体制など、他都市の事例を調査するなどし、委託化による効果の有無について検討を行います。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	0.13人	0.026人	20%	0.026人	0.023人	88.5%	0.01人	0.023人	230%	0.023人	0.041人	178%
	期間（d） （従事期間）	1年	1年		1年	1		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	0.13人 （ア）	0.026人/年 （イ）	（イ／ア）	0.026人 （ア）	0.023人/年 （イ）	（イ／ア）	0.01人 （ア）	0.023人/年 （イ）	（イ／ア）	0.023人 （ア）	0.041人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	なし（令和３年度からの新規事業）	・WGを年間13回開催したほか、他都市調査などそれ以外の場においても検討しました。	・WGが委託化に関する提案を行い、当該提案について実務担当者の意見を聞いて検討を進めました。	・WGが作成した提案をブラッシュアップし、技術部長、総務部を交えて検討を進めました。	・委託化を検討する上で、業務の効率化を併せて検討する必要があるため、給水申請から竣工検査までの業務フローを見直し、課題を整理するとともに、一連の作業をシステム化による管理を検討しました。

	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
調査・検討			1点		調査・検討		1点		調査・検討		1点		調査・検討		1点	
	平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
給水装置工事検査業務の委託化に係る調査・検討	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・他都市の状況把握等により検討を進めることができました。 ・作業人員について 　調査・検討に取り組む段階でＷＧを立ち上げ、項目毎に担当を割り振りして責任を持たせることで少ない時間での検討が可能となり、結果的に作業効率は目標を上回りました。			・WGの提案をベースにすることにより、効率的に検討を進めることができました。			・WGの提案をブラッシュアップし、具体的な検討を効率よく進めることができました。			・業務のシステム化に向け、具体的な検討を効率よく進めることができました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	B	作業効率	4点	B	作業効率	2点	C	作業効率	2点	C
	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	5点／10点	外的要因加点	0点	5点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・「業務の現況」「政令市における業務執行体制」「委託化に係る比較評価」等について調査・検討しました。 ・今後も調査を重ね、検討をより深化させていきます。			・実施時期の検討を進めたほか、実現のための課題及び解決策の整理を進めました。			・委託化へ向けた具体的な提案を、局内関係所属へ説明し、検討を進めました。			・給水申請から竣工検査までの一連の業務を効率化するために、オンラインによる受付システムの構築を検討するとともに、料金システムを連動させることで、更なる業務の効率化が図られることを確認できました。 ・また、令和７年度はシステム化に向け一部構築を開始します。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅴ	経営基盤の強化	事業・取組名	Ⅴ-3-③	業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 料金関連業務の委託化に係る調査・検討	所管課	営業課

①事業概要

【事業の目的】	事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客様サービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向けた検討を進め、効果が見込める業務について積極的に委託化に取り組みます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○料金関連業務（名義変更処理、再検針対象外の認定、更正処理）の委託化に係る調査・検討 ・部分委託によって複雑化した業務の見直し・整理を行うとともに他都市事例を調査するなど、委託化による効果の有無について検討。	○料金関連業務（名義変更処理、再検針対象外の認定、更正処理）の委託化に係る調査・検討 ・部分委託によって複雑化した業務の見直し・整理を行うとともに他都市事例を調査するなど、委託化による効果の有無について検討。	調査・検討については令和４年度終了	調査・検討については令和４年度終了

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	－	－
	執行額（b）	0	0		
	執行率（%）（b）／（a）	－	－		

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	146時間	146時間	100%	88時間	88時間	100%						
	期間（d） （従事期間）	6月	6月		6月	6月							
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	24.3時間 （ア）	24.3時間 （イ）	（イ／ア）	14.6時間 （ア）	14.6時間 （イ）	（イ／ア）	（ア）	（イ）	（イ／ア）	（ア）	（イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		委託化に係る調査・検討 ・現行業務フローを確認しながら問題点を洗い出し、委託化に係るメリット、デメリットを整理した。また、今後解決すべき課題を洗い出した。	委託化に係る調査・検討 ・令和３年度に洗い出した課題を検討し、委託化の効果を整理しました。 また、委託の発注体系についても整理を行いました。		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
委託化に係る調査・検討		1点		委託化に係る調査・検討		1点									
平均（A）	1点			**平均（A）**	1点			**平均（A）**				**平均（A）**			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
料金関連業務（名義変更処理、再検針対象外の認定、更正処理）の委託化に係る調査・検討。	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	調査・検討	調査・検討	－	－	調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点									
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点									
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・業務フローの検証を行い、委託化に向けた問題点の洗い出しと解決方法の検討を行った。			・業務フローの検証を行い、委託化に向けた問題点について、解決方法の検討を行いました。								
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合評価	予算効率		総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率			作業効率		
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点		0点／10点	外的要因加点		0点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・委託化に向けた問題点が明らかになったことから、今後は解決に向けて引き続き検討していきます。			・委託化に向けた問題点について、解決方法を整理しました。								
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度		総合評価	達成度		総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度			進捗度		
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点		0点／10点	外的要因加点		0点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.		

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅴ	経営基盤の強化	事業・取組名	Ⅴ－４	遊休資産の有効活用	所管課	経営管理課

①事業概要

【事業の目的】	施設統廃合計画により廃止となった浄配水場等の遊休資産を有効活用することにより、財政基盤の強化を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究 ・遊休資産の有効活用について、情報収集活動や調査・研究を行う。	○施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究 ・遊休資産の有効活用について、情報収集活動や調査・研究を行う。	○施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究 ・遊休資産の有効活用について、情報収集活動や調査・研究を行う。	○施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究 ・遊休資産の有効活用について、情報収集活動や調査・研究を行う。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	18.1時間	18.1時間	100%	18時間	18時間	100%	18時間	18時間	100%	18時間	18時間	100%
	期間（d） （従事職員数）	1人	1人		1人	1人		1人	1人		1人	1人	
	単位あたりの作業量（c/d） （1人あたりの実働時間）	18.1時間 （ア）	18.1時間 （イ）	（イ／ア）	18時間 （ア）	18時間 （イ）	（イ／ア）	18時間 （ア）	18時間 （イ）	（イ／ア）	18時間 （ア）	18時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・令和２年度は新たな遊休資産の活用はありませんでしたが、活用に向け調査を行いました。	・市環境部と協力し，旧長戸呂浄水場用地を含む複数の市所有地を活用したオフサイトＰＰＡモデルによる太陽光発電の実施検討に着手しました。 ・亀田浄水場用地の一部及び新たに旧長戸呂浄水場用地の一部を、冬期間、道路除雪の雪集積場として活用しました。	・市環境部と協力し，オフサイトＰＰＡモデルによる太陽光発電の実施に向けた検討を進め、候補地として旧長戸呂浄水場及び旧西川浄水場を選定しました。 ・亀田浄水場用地の一部及び旧長戸呂浄水場用地の一部を、冬期間、道路除雪の雪集積場として活用しました。	・市環境部と協力し，オフサイトＰＰＡモデルによる太陽光発電の実施に向けた検討を進め、旧長戸呂浄水場及び旧西川浄水場に設置の準備を進めました。 ・亀田浄水場用地の一部及び旧長戸呂浄水場用地の一部を、冬期間、道路除雪の雪集積場として活用しました。	・市環境部と協力し，オフサイトＰＰＡモデルによる太陽光発電の実施に向けた検討を進め、旧長戸呂浄水場及び旧西川浄水場に太陽光発電設備を設置しました。 ・簑口ガスホルダー用地を普通財産に変更し、白根ガス㈱へ土地及び建物を全面貸付するための準備を行いました。

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究		1点		施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究		1点		施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究		1点		施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究		1点	
平均（A）	1点			**平均（A）**	1点			**平均（A）**	1点			**平均（A）**	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
有効活用の調査・研究	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	実施	3点		調査・研究	実施	3点		調査・研究	実施	3点		調査・研究	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・市環境部と協力し，旧長戸呂浄水場用地を含む複数の市所有地を活用したオフサイトＰＰＡモデルによる太陽光発電の実施検討に着手しました。			・市環境部と協力し，オフサイトＰＰＡモデルによる太陽光発電の実施に向けた検討を進め、候補地として旧長戸呂浄水場及び旧西川浄水場を選定しました。			・市環境部と協力し，オフサイトＰＰＡモデルによる太陽光発電の実施に向けた検討を進め、旧長戸呂浄水場及び旧西川浄水場に設置の準備を進めました。			・市環境部と協力し，オフサイトＰＰＡモデルによる太陽光発電の実施に向けた検討を進め、旧長戸呂浄水場及び旧西川浄水場に太陽光発電設備を設置しました。 ・簑口ガスホルダー用地を普通財産に変更し、白根ガス㈱へ土地及び建物を全面貸付するための準備を行いました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅴ	経営基盤の強化	事業・取組名	Ⅴ－５	時代に即した料金制度等の検討・実施	所管課	経営管理課

①事業概要

【事業の目的】	水需要や財政収支の状況を踏まえ、将来にわたり安全な水の安定供給の持続が可能となるよう、維持管理・更新の時代に即した料金制度の検討を行います。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○料金体系の調査・研究，見直し案の検討、料金改定の必要性、時期、水準の検討 ・中長期的な収支見直しを立て、料金改定の必要性や時期、水準等について検討し、見直し案の検討を行う。 ・（公社）日本水道協会の「水道料金算定要領」に基づく料金シミュレーションの実施。 ・新たな料金制度の見直し案の検討。	○料金体系の調査・研究，見直し案の検討、料金改定の必要性、時期、水準の検討 ・中長期的な収支見直しを立て、料金改定の必要性や時期、水準等について検討し、見直し案の検討を行う。 ・（公社）日本水道協会の「水道料金算定要領」に基づく料金シミュレーションの実施。 ・新たな料金制度の見直し案の検討。	○料金体系の調査・研究，見直し案の検討、料金改定の必要性、時期、水準の検討 ・中長期的な収支見直しを立て、料金改定の必要性や時期、水準等について検討し、見直し案の検討を行う。 ・（公社）日本水道協会の「水道料金算定要領」に基づく料金シミュレーションの実施。 ・新たな料金制度の見直し案の検討。	○料金体系の調査・研究，見直し案の検討、料金改定の必要性、時期、水準の検討 ・中長期的な収支見直しを立て、料金改定の必要性や時期、水準等について検討し、見直し案の検討を行う。 ・（公社）日本水道協会の「水道料金算定要領」に基づく料金シミュレーションの実施。 ・新たな料金制度の見直し案の検討。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	80.6時間	80時間	100%	80時間	80時間	100%	80時間	2470.5時間	883%	80時間	80時間	100%
	期間（d） （従事職員数）	２人	２人		２人	２人		２人	７人		２人	２人	
	単位あたりの作業量（c/d） （1人あたりの実働時間）	40.3時間 （ア）	40時間 （イ）	（イ／ア）	40時間 （ア）	40時間 （イ）	（イ／ア）	40時間 （ア）	353時間 （イ）	（イ／ア）	40時間 （ア）	40時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較（政令市）を行いました。 ・後期実施計画策定にあたり、令和６年度までの資金確保を確認しました。	・政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較（政令市）を行いました。 ・現状の水道料金の課題に関して「新潟市の水道料金に関するレポート」を作成しました。	・政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較（政令市）を行いました。 ・現状の水道料金の課題に関して、継続的に調査・検討を行いました。	・政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較（政令市）を行いました。 ・令和６年度中の料金改定に向けて準備を進め、経営審議会からの答申をいただき、新潟市議会から議決承認いただきました。	・政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較（政令市）を行いました。 ・令和６年１０月に料金改定を行う予定でしたが、能登半島地震の経済的影響により、令和７年１月に料金改定を実施しました。

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
令和3年度			
料金体系の調査・研究、見直し案の検討		1点	
料金改定の必要性、時期、水準の検討		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
令和4年度			
料金体系の調査・研究、見直し案の検討		1点	
料金改定の必要性、時期、水準の検討		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
令和5年度			
料金体系の調査・研究、見直し案の検討		1点	
料金改定の必要性、時期、水準の検討	2点		
平均（A）	1.5点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
令和6年度			
料金体系の調査・研究、見直し案の検討		1点	
料金改定の必要性、時期、水準の検討		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
料金制度見直し案の調査・研究	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	実施	3点		調査・研究	実施	3点		調査・研究	実施	3点		調査・研究	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証を行いました。 ・予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証を行いました。 ・予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証を行いました。 ・令和６年度中の料金改定に向け準備を進めました。 ・予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証を行いました。 ・予算効率は事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・時代に即した料金制度等の検証等のため、基礎資料を収集し、レポートを作成しました。 ・重要な事業取組であることから、持続可能な経営を構築することを目的に、社会情勢や財政収支などを見据えながら、引き続き調査研究を行います。			・現状の水道料金の課題に関して、継続的に調査・検討を行いました。 ・重要な事業取組であることから、持続可能な経営を構築することを目的に、社会情勢や財政収支などを見据えながら、引き続き調査研究を行います。			・令和６年度中の料金改定に向けて準備を進め、経営審議会からの答申をいただき、新潟市議会から議決承認いただきました。			・令和６年10月に料金改定を実施する予定でしたが、能登半島地震の経済的影響により、令和７年１月の料金改定に向け準備を進め、国への届け出を行い料金改定を実施しました。 ・改定後の水道料金の課題に関して、継続的に調査・検討を行いました。 ・重要な事業取組であることから、持続可能な経営を構築することを目的に、社会情勢や財政収支などを見据えながら、引き続き調査研究を行います。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

	維持	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	引き続き，計画に沿って事業を推進すること．	物価上昇など昨今の社会情勢を踏まえ，引き続き，計画に沿って事業を推進すること．なお，検討に際しては，利用者間の公平性や本市水道事業の中長期的な事業継続に対して十分配慮することが望ましい．	引き続き，計画に沿って事業を推進すること．	引き続き，計画に沿って事業を推進すること．

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅴ	経営基盤の強化	事業・取組名	Ⅴ－6	水道事業経営審議会の効果的運用	所管課	経営管理課

①事業概要

【事業の目的】	水道事業経営審議会を継続し、有識者や水道利用者などの第三者の意見や助言を事業運営に効果的に反映させます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○水道事業経営審議会の継続運営 ・水道事業決算及び次年度予算、事業の進捗状況や評価などについての意見、提言、助言を事業運営へ反映。 ・新たな水道料金制度等の検討・審議。	○水道事業経営審議会の継続運営 ・水道事業決算及び次年度予算、事業の進捗状況や評価などについての意見、提言、助言を事業運営へ反映。 ・新たな水道料金制度等の検討・審議。	○水道事業経営審議会の継続運営 ・水道事業決算及び次年度予算、事業の進捗状況や評価などについての意見、提言、助言を事業運営へ反映。 ・新たな水道料金制度等の検討・審議。	○水道事業経営審議会の継続運営 ・水道事業決算及び次年度予算、事業の進捗状況や評価などについての意見、提言、助言を事業運営へ反映。 ・新たな水道料金制度等の検討・審議。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	436,000	390,000	856,500	520,000
	執行額（b）	420,200	366,954	1,035,034	510,000
	執行率（%）（b）／（a）	96.4%	94.1%	120.8%	98%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	60.5時間	60.5時間	100%	60時間	60時間	100%	60時間	202.5時間	338%	60時間	60時間	100%
	期間（d） （従事期間）	2人	2人		2人	2人		2人	2人		2人	2人	
	単位あたりの作業量（c/d） （1人あたりの実働時間）	30.2時間 （ア）	30.2時間 （イ）	（イ／ア）	30時間 （ア）	30時間 （イ）	（イ／ア）	30時間 （ア）	101.3時間 （イ）	（イ／ア）	30時間 （ア）	30時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・水道事業経営審議会を３回開催しました。 ・会議の議事録は資料と合わせ、局ホームページに掲載しました。	・水道事業経営審議会を（３回／年）開催し、意見・提言・助言をいただきました。審議会の議事録は会議資料と合わせ、局ホームページに掲載しました。 ・令和３年10月に委員及び公募委員の改選があり、再任５名、新任３名、公募委員２名の方に就任いただきました。 ・新たに就任いただいた委員向けに事前説明会を開催しました。	・水道事業経営審議会を（３回／年）開催し、意見・提言・助言をいただきました。審議会の議事録は会議資料と合わせ、局ホームページに掲載しました。 ・令和５年３月に委員1名の改選があり、再任いただきました。	・水道事業経営審議会を（8回／年（予定４回／年））開催し、水道料金の改定について諮問を行い審議結果について答申をいただきました。 ・令和５年10月に委員５名の改選があり、新たに5名就任いただきました。	・水道事業経営審議会を（３回／年）開催し、意見・提言・助言をいただきました。審議会の議事録は会議資料と合わせ、局ホームページに掲載しました。 ・令和７年３月に委員1名の改選があり、再任いただきました。

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
水道事業経営審議会の継続運営		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
水道事業経営審議会の継続運営		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
水道事業経営審議会の継続運営	2点		
平均（A）	2点		

	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
水道事業経営審議会の継続運営		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
予算・決算、新・MP事業実施状況に対する意見・提言の聴取と反映	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	3点		実施	実施	3点		実施	実施	3点		実施	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		1点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・水道事業経営審議会を(３回／年)開催し、委員及び公募委員の改選も予定どおり行いました。 ・予算効率・作業効率も予定枠内となり、目標どおり達成しています。			・水道事業経営審議会を(３回／年)開催し、委員の改選も予定どおり行いました。 ・予算効率・作業効率も予定枠内となり、目標どおり達成しています。			・水道事業経営審議会を(８回／年)開催し、委員の改選も予定どおり行いました。 ・料金改定についての審議が行われたため、開催回数が増えた（予定４回／年）ものの、事業目的に合った活動を実施することができました。			・水道事業経営審議会を(３回／年)開催し、委員の改選も予定どおり行いました。 ・予算効率・作業効率も予定枠内となり、目標どおり達成しています。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・水道事業経営審議会を３回開催し、予算・決算報告及び、新・マスタープラン事務事業について、中期期間実施分評価及び令和２年度実施分２次評価をいただきました。			・水道事業経営審議会を３回開催し、予算・決算報告及び、新・マスタープラン事務事業について、令和３年度実施分２次評価をいただきました。			・水道事業経営審議会を８回開催し、予算・決算報告及び、新・マスタープラン事務事業に係る令和４年度実施分２次評価をいただいたほか、料金改定について審議し答申をいただくなど、事業目的に合った活動を実施することができました。 ・料金改定に係る審議を４回にわたり実施し、答申の作成につなげるなど、事業目的である「第三者意見を事業運営に効果的に反映」させた事を考慮し、１点外的要因を加点しました			・水道事業経営審議会を３回開催し、予算・決算報告及び、新・マスタープラン事務事業について、令和５年度実施分２次評価をいただきました。 ・次期マスタープランの作成にあたり説明を行い、ご意見等をいただきました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	B	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	1点	7点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅴ	経営基盤の強化	事業・取組名	Ⅴ－７	機能的・効率的な組織体制の構築	所管課	総務課

①事業概要

【事業の目的】	水道事業が直面している多くの課題に的確に対応し、事務事業を効果的・効率的に推進するため、持続可能な水道システムを支える組織の構築を進める。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○機能的・効率的な組織体制の構築 ・業務量の増減及び目標達成度等を考慮した小規模な組織の見直しを適宜実施し、意思決定から実行までの速度を向上させるとともに、中長期経営計画に掲げた目標を達成するため、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態の調査・検討を行います。	○機能的・効率的な組織体制の構築 ・業務量の増減及び目標達成度等を考慮した小規模な組織の見直しを適宜実施し、意思決定から実行までの速度を向上させるとともに、中長期経営計画に掲げた目標を達成するため、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態の調査・検討を行います。	○機能的・効率的な組織体制の構築 ・業務量の増減及び目標達成度等を考慮した小規模な組織の見直しを適宜実施し、意思決定から実行までの速度を向上させるとともに、中長期経営計画に掲げた目標を達成するため、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態の調査・検討を行います。	○機能的・効率的な組織体制の構築 ・業務量の増減及び目標達成度等を考慮した小規模な組織の見直しを適宜実施し、意思決定から実行までの速度を向上させるとともに、中長期経営計画に掲げた目標を達成するため、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態の調査・検討を行います。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	640時間	640時間	100%	640時間	640時間	100%	640時間	640時間	100%	640時間	640時間	100%
	期間（d） （作業従事職員数）	4人	4人		4人	4人		4人	4人		4人	4人	
	単位あたりの作業量（c/d） （1人あたりの年間作業時間）	160時間 （ア）	160時間 （イ）	（イ／ア）	160時間 （ア）	160時間 （イ）	（イ／ア）	160時間 （ア）	160時間 （イ）	（イ／ア）	160時間 （ア）	160時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	中長期経営計画に掲げた目標を達成するため、一部の所属において新たにグループ制を導入し、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態となるよう組織改正を行いました。	・経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態となるよう検討し、令和4年度におけるグループ制の効率的再編へとつなげることができました。	・経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態となるよう検討し、令和5年度における組織のスリム化・組織改正の実施へとつなげることができました。	・経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態となるよう検討し、令和6年度における最適な組織形態とすることができました。	・経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態となるよう検討し、令和7年度における組織のスリム化・組織改正の実施へとつなげることができました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
最適な組織形態の検討		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
最適な組織形態の検討		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
最適な組織形態の検討		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
最適な組織形態の検討		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
継続的な組織の見直し	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・令和4年度における最適な組織形態の検討を、適切かつ効率的に行うことができました。 （経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します）			・令和5年度における組織改正・組織のスリム化の検討を、適切かつ効率的に行うことができました。 （経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します）			・令和6年度における最適な組織形態の検討を、適切かつ効率的に行うことができました。 （経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します）			・令和7年度における組織改正・組織のスリム化の検討を、適切かつ効率的に行うことができました。 （経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します）		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・令和4年度において、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態とすることができました。			・令和5年度において、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態とすることができました。			・令和6年度において、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態とすることができました。			・令和7年度において、経営資源（人材）を最大限に活用できる最適な組織形態とすることができました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-8-①	ICTを活用した業務効率化 RPA（RoboticProcessAutomation)の導入	所管課	営業課

①事業概要

【事業の目的】	ICTを活用した業務効率化を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○RPA（RoboticProcessAutomation)の導入 ・定型的な入力業務等についてソフトウエアによる自動化を検討し、導入する。	○RPA（RoboticProcessAutomation)の導入 ・RPAソフトウェアライセンスを１ライセンス取得し、試行運用を開始する。	○RPA（RoboticProcessAutomation)の導入 ・引き続きRPAソフトウェア１ライセンスで試行運用を行い、導入効果の検証を行う。	○RPA（RoboticProcessAutomation)の導入 ・引き続きRPAソフトウェア１ライセンスで試行運用を行い、導入効果の検証を行う。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	726,400	726,400	726,400
	執行額（b）	0	650,000	650,000	650,000
	執行率（%）（b）／（a）	–	89.5%	89.5%	89.5%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	192時間	192時間	100%	432時間	216時間	150%	288時間	192時間	133%	288時間	200時間	139%
	期間（d） （従事職員数）	2人	2人		3人	1人		2人	1人		2人	1人	
	単位あたりの作業量（c/d） （1人あたりの実働時間）	96時間 （ア）	96時間 （イ）	（イ／ア）	144時間 （ア）	216時間 （イ）	（イ／ア）	144時間 （ア）	192時間 （イ）	（イ／ア）	144時間 （ア）	200時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		・RPA導入のためソフトウェアおよび対象業務の選定を行った。	・RPAを導入し、試行運用を開始しました。	・RPAを導入し、試行運用と効果の検証を行いました。	・RPAを導入し、試行運用と効果の検証を行いました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
RPAの導入		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
試行運用の開始		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
試行運用と検証の実施		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
試行運用と検証の実施		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 （評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
RPAの導入	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	調査・検討	試行運用	試行運用	試行運用	調査・検討	実施	3点		試行運用	実施	3点		試行運用・検証	実施	3点		試行運用・検証	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・令和4年度からの試行運用に向け、予定通りRPAソフトウェアおよび対象業務の選定を以下の通り行った。 １　RPAソフトウェアは、他都市への照会などから庁内ネットワークでの稼働実績、市長部局での導入実績およびサポート体制などを勘案し、市長部局と同様の製品を選定した。 ２　対象業務は、営業課内で定期的に繰り返し行う業務を対象とし、統計資料作成業務と支払伝票の作成業務を選定した。			・RPAを導入しました。 ・営業課内の統計業務や支払伝票の作成について試行を開始しました。			・RPAを導入しました。 ・前年度に引き続き、営業課内の統計資料や支払伝票の作成業務をRPAにて行いました。 ・追加業務として、スマートメーターの検針値検証データ作成および、冬季間の凍結・破裂受付件数の集計作業を行いました。			・RPAを導入しました。 ・前年度までに作成したシナリオを引き続き活用し、営業課内の統計資料や支払伝票、各種集計データ作成業務をRPAにて行いました。 ・今年度の新規追加業務として、 ①雪推定検針データの抽出および配布作業 ②料金改定の問い合わせ件数の抽出作業 を行いました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	2点	C	作業効率	2点	C	作業効率	2点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・令和4年度からの試行運用に向け、予定通りRPAソフトウェアおよび対象業務の選定を上記効率性評価に記載のとおり行い、目標を達成できた。			・上記効率性評価のとおり、RPAの導入し、予定された業務に対し、導入効果の検証などを行い、業務の効率化に貢献できることを確認しました。			・上記効率性評価のとおり、予定された業務に対して導入効果の検証などを行ったほか、新たな業務を追加・検証し、省力化・効率化に貢献できることを確認しました。			・上記効率性評価のとおり、予定された業務に対して導入効果の検証などを行ったほか、新たな業務を追加・検証し、省力化・効率化に貢献できることを確認しました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-8-②	ICTを活用した業務効率化 スマートメーターの導入検討	所管課	営業課

①事業概要

【事業の目的】	ICTを活用した業務効率化を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○スマートメータの導入検討 ・スマートメーター導入による省力化の効果や、得られるデータの活用法などについて調査・検討を進める。	○スマートメータの導入検討 ・令和５年度からの実証実験に向け、詳細計画を策定する。	○スマートメータの導入検討 ・令和５年６月から実証実験を開始し、将来の本格導入に向けた情報収集を行います。	○スマートメータの導入検討 ・前年度より実証実験を継続し、将来の本格導入に向けた情報収集を行います。

②過程

	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	予算額（a）	100,000	1,065,000	1,436,700	1,135,600
	執行額（b）	0	532,000	1,576,128	407,400
	執行率（%）（b）／（a）	0%	50%	110%	36%

	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	総作業量（c） （実働時間）	192時間	192時間	100%	384時間	384時間	100%	480時間	480時間	100%	384時間	192時間	100%
	期間（d） （従事職員数）	4人	4人		4人	4人		5人	5人		4人	2人	
	単位あたりの作業量（c/d） （1人あたりの実働時間）	48時間 （ア）	48時間 （イ）	（イ／ア）	96時間 （ア）	96時間 （イ）	（イ／ア）	96時間 （ア）	96時間 （イ）	（イ／ア）	96時間 （ア）	96時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	・メーターのメーカーから講師を招き、スマートメーター説明研修を実施した。また、電力会社と実証実験（共同検針）についての協議を開始した。	・予定通りスマートメーター実証実験の基本計画を策定した。	・予定通りスマートメーター実証実験の詳細計画を策定しました。	・予定通りスマートメーターの実証実験を開始しました。	・予定どおりスマートメーターの実証実験を継続し、導入に向けた情報収集を行いました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
スマートメータの導入検討		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
スマートメータの導入検討		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
スマートメーターの実証実験開始		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
スマートメーターの実証実験		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 （評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
スマートメーターの利活用についての調査・検討	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・予算で計上していた旅費については、他都市への業務調査などを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できず未執行となったため予算効率は3点とした。しかし、電力会社との協議を重ね、スマートメーター実証実験の基本計画を策定することができた。			・令和3年度に策定した基本計画をもとに、電力会社と協議を行いながら、詳細な計画を策定しました。 ・実証実験に必要な電子式水道メーターを購入しました。 　なお、予算額には、予算要求時のメーター購入費用1,065,000円（業者見積）を記載していましたが、令和5年2月に見積合わせを行ったところ、執行額は532,000円となりました。その結果、執行率が50%となっています。			・令和４年度に策定した計画をもとに、市内50カ所にスマートメーターを設置し、東北電力ネットワーク(株)と共同で実証実験を開始しました。			・前年度に引き続き、市内25カ所のスマートメーターについては、東北電力ネットワーク(株)と共同で実証実験を継続しました。 ・新たに半数の25個を水道メーターのメーカーとの実証実験に振り分け、携帯電話通信網を利用したLPWA通信（LTE-M）についても検証を行いました。 　また、「見守りサービス」のモデル実施を開始し、各種アラーム（漏水疑い、不使用継続、日々の使用開始時等）の設定値の妥当性などについて検証を行いました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	5点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・予定通りスマートメーター実証実験の基本計画を策定した。 ・実証実験基本計画の概要は、以下の通り １　目的：将来的な導入に向けた情報収集 ２　実験の方法：東北電力ネットワーク（株）のネットワークを使った自動検針（共同検針） ３　実験の規模：市営住宅1棟（40戸）その他10戸 ４　実験の期間：令和5年6月頃～令和6年3月末まで ５　費用：約250万円			・上記効率性評価のとおり、詳細計画の策定、水道メーターの購入を行い、令和5年6月に実証実験を開始するための準備ができました。			・令和５年７月より実証実験を開始し、情報収集を行いました。			・前年度に引き続き、東北電力ネットワーク（株）と共同で実証実験を行いました。 ・令和６年９月より「見守りサービス」等のモデル実施を行いました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅴ	経営基盤の強化	事業・取組名	Ⅴ-8-③	ICTを活用した業務効率化 ICTを活用した給水装置審査業務の集約化に係る調査・検討	所管課	管路課

①事業概要

【事業の目的】	ICTの活用による業務の再構築とそれに伴う執行体制の効率化について、調査・検討を進めます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○ICTを活用した給水装置審査業務の集約化に係る調査・検討 ・GISデータのネット閲覧や電子申請による給水申請書の受付など、ICTの活用を前提とした給水審査業務集約化の可能性とその効果の有無について、調査・検討を行います。	○ICTを活用した給水装置審査業務の集約化に係る調査・検討 ・GISデータのネット閲覧や電子申請による給水申請書の受付など、ICTの活用を前提とした給水審査業務集約化の可能性とその効果の有無について、調査・検討を行います。	○ICTを活用した給水装置審査業務の集約化に係る調査・検討 ・GISデータのネット閲覧や電子申請による給水申請書の受付など、ICTの活用を前提とした給水審査業務集約化の可能性とその効果の有無について、調査・検討を行います。	○ICTを活用した給水装置審査業務の集約化に係る調査・検討 ・GISデータのネット閲覧や電子申請による給水申請書の受付など、ICTの活用を前提とした給水審査業務集約化の可能性とその効果の有無について、調査・検討を行います。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	0.13人	0.026人	20%	0.026人	0.005人	19.2%	0.01人	0.007人	70%	0.007人	0.041人	585%
	期間（d） （従事期間）	1年	1年		1年	1年		1年	1年		1年	1年	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	0.13人 （ア）	0.026人/年 （イ）	（イ／ア）	0.026人 （ア）	0.005人/年 （イ）	（イ／ア）	0.01人 （ア）	0.007人/年 （イ）	（イ／ア）	0.007人 （ア）	0.041人/年 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	なし（令和３年度からの新規事業）	・WGを年間13回開催したほか、他都市調査などそれ以外の場においても検討しました。	・WGが集約化に関する提案を行い、当該提案について実務担当者を交えて検討を進めました。	・WGが作成した集約化に関する提案をブラッシュアップし、技術部長、総務部を交えて検討を進めました。	・審査業務集約化に伴う申請サービスの低下を見据え、電子申請での受付を開始しました(令和6年10日１日から)。 ・電子申請導入にあたり、指定給水装置工事事業者に対し説明・広報を適切に行いました。 ・審査業務集約化(令和7年4日１日から)に向け指定給水装置工事事業者等に対し説明・広報を適切に行いました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
調査・検討		1点		調査・検討		1点		調査・検討		1点		調査・検討・実施準備	2点		
平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	2点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
給水装置工事審査業務の集約化に係る調査・検討	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点		調査・検討	実施	3点		調査・検討・実施準備	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・作業人員について 調査・検討に取り組む段階でＷＧを立ち上げ、項目毎に担当を割り振りして責任を持たせることで少ない時間での検討が可能となり、結果的に作業効率は目標を上回りました。			・WGの提案をベースにすることにより、効率的に検討を進めることができました。			・WGの提案をブラッシュアップし、具体的な検討を効率よく進めることができました。			・構築済の市電子申請システムの活用により効率的に導入することができました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	B	作業効率	4点	B	作業効率	4点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・「業務の現況」「効率化に係る比較評価」「他都市の業務対応状況」「現状における課題」等について調査・検討しました。 ICT活用については、電子申請等について検討しました。 今後は検討メンバーを実務担当にまで広げ、検討をより深化させていきます。			・実施時期の検討を進めたほか、各拠点の状況調査とマニュアル類の見直しを実施しました。			・集約化へ向けた具体的な提案を、局内関係所属へ説明し、検討を進めました。 ・ICTの活用については、令和６年3月から電子申請の試行を始めました。			・従来の窓口申請に加え電子申請の導入により、給水申請サービスの拡充をはかることができました。 ・この拡充に加え局内関係所属との調整を図ったことで、令和7年4月からの給水装置審査業務の集約化につなげました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅵ	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	Ⅵ－１	戦略的な広報の実施	所管課	総務課

①事業概要

【事業の目的】	「新潟市水道局広報戦略」～広報活動の考え方～に基づき、継続的に広報計画を策定し、効果的な広報活動を展開します。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○広報計画に沿った広報活動の実施 ・独自イベントによる広報（水道週間行事、施設見学） ・お客さまに直接働きかける広報（災害パネル展示、出張授業、各種イベントへの出店） ・デジタルメディアを活用する広報（インターネット） ・紙媒体による広報（広報紙、検針票裏面、パンフレット） ・漫画を活用する広報（小学生向けパンフレット、工事看板）	○広報計画に沿った広報活動の実施 ・独自イベントによる広報（水道週間行事、施設見学） ・お客さまに直接働きかける広報（災害パネル展示、出張授業、各種イベントへの出店） ・デジタルメディアを活用する広報（インターネット） ・紙媒体による広報（広報紙、検針票裏面、パンフレット） ・漫画を活用する広報（小学生向けパンフレット、工事看板）	○広報計画に沿った広報活動の実施 ・独自イベントによる広報（水道週間行事、施設見学） ・お客さまに直接働きかける広報（災害パネル展示、出張授業、各種イベントへの出店） ・デジタルメディアを活用する広報（インターネット） ・紙媒体による広報（広報紙、検針票裏面、パンフレット） ・漫画を活用する広報（小学生向けパンフレット、工事看板）	○広報計画に沿った広報活動の実施 ・独自イベントによる広報（水道週間行事、施設見学） ・お客さまに直接働きかける広報（災害パネル展示、出張授業、各種イベントへの出店） ・デジタルメディアを活用する広報（インターネット） ・紙媒体による広報（広報紙、検針票裏面、パンフレット） ・漫画を活用する広報（小学生向けパンフレット、工事看板）

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	37,870,000	31,935,200	33,695,900	31,222,000
	執行額（b）	34,365,473	29,070,500	30,781,029	30,073,705
	執行率（%）（b）／（a）	90.7%	91.0%	91.3%	96.3%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	2160時間	2160時間	100%	2160時間	2160時間	100%	2160時間	2160時間	100%	2160時間	2160時間	100%
	期間（d） （従事期間）	12カ月	12カ月		12カ月	12カ月		12カ月	12カ月		12カ月	12カ月	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	180時間 （ア）	180時間 （イ）	（イ／ア）	180時間 （ア）	180時間 （イ）	（イ／ア）	180時間 （ア）	180時間 （イ）	（イ／ア）	180時間 （ア）	180時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・新型コロナウイルス感染症の影響から、水道週間（信濃川浄水場一般開放）を始め各種イベントが中止となりましたが、水道週間では「水太郎の手洗いカード」を市内小学校に配布するなどの代替広報を実施、他ではＳＮＳ（フェイスブック）の積極的な活用を行いました。 ・広報紙「水先案内」では漫画の活用に加え、集中連載「ご存知ですか？水道事業のこと」を連載するなど分かりやすい広報に努めました。 これらの施策を通し、コロナ禍ではありましたが、幅広い層へ水道局の魅力を発信できていると考えています。	○水道週間 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、信濃川浄水場一般開放は中止となりましたが、代替広報として「水太郎の手洗い体操動画」を作成し、YouTubeチャンネルに公開したほか、SNS（フェイスブック）の積極的な活用を行いました。 ○出張授業 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、実地での出張授業は中止となりましたが、代替策として「水太郎と学ぶ水道授業DVD（動画）」を製作し、市内小学校に貸し出しを行いました。 ○広報紙「水先案内」 ・コミックエッセイ風なデザインを採用し、気軽に読めそうな広報紙としたほか、連載企画「スイスイNews」にて水道事業のことを分かりやすい広報に努めました。 昨年度に引き続きコロナ禍ではありましたが、これらの施策を通し、幅広い層へ水道事業の現状を正確かつ詳細に発信できました。	○水道週間 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、信濃川浄水場一般開放は中止となりましたが、代替広報として「信濃川浄水場バーチャルツアー動画」を作成し、局HPやYouTubeチャンネルに公開したほか、SNSやアウトメディアによる広報、DEKKY401とイオンモール新潟南でのイベント実施など、積極的に水道週間をPRしました。 ○広報紙「水先案内」 ・表紙に水道に関する「まちがいさがし」を採用し、お客さまが楽しみながら水道事業に関心をもてるような広報紙としたほか、集中連載「水道事業のリアル」にて水道事業を様々な視点から分析し、分かりやすく掲載しました。 引き続きコロナ禍ではありましたが、これらの施策を通し、幅広い層へ水道事業の現状を正確かつ詳細に発信できました。	○水道週間 ・信濃川浄水場の一般開放を再開し、ARを使った施設見学や水つくり実験、ウォーターバーなどを実施するとともに、SNSやアウトメディアによる広報なども行い積極的に水道週間をPRしました。 ○広報紙「水先案内」 ・表紙や中面にイラストレーター・絵本作家から描き下ろしてもらったイラストを採用し、気軽に手に取ってもらえる広報紙としたほか、料金改定や防災対策などお客さまが求めるテーマを積極的に掲載しました。 ○イベント参加 様々なイベントに積極的に参加し、水道水のおいしさや安全性をアピールしました。 これらの施策を通し、幅広い層へ水道事業の現状を正確かつ詳細に発信できました。	○水道週間 ・信濃川浄水場を一般開放し、宝探しゲームを取り入れた施設見学や水つくり実験、ウォーターバーなどを実施するとともに、SNSやアウトメディアによる広報なども行い積極的に水道週間をPRしました。 ○広報紙「水先案内」 ・夏号から冬号にかけて、令和7年1月の水道料金改定に向けた特集記事を組み、お客さまが理解しやすい内容で掲載しました。 ○出張授業 小学４年生を対象とした出張授業を５年振りに再開し、市内13の小学校に14回の授業を開催しました。授業の内容を大幅に見直し、DVDを取り入れることですべての水道プロモーターが説明者として参加できるよう工夫しました。 これらの施策を通し、幅広い層へ水道事業の現状を正確かつ詳細に発信できました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
独自イベント			0点
防災パネルの展示、出張授業			0点
ＨＰ		1点	
広報紙、検針票裏面広告		1点	
小学生向けパンフレット		1点	
平均（A）	0.6点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
独自イベント		1点	
各種イベントへの出店		1点	
ＨＰ		1点	
広報紙、検針票裏面広告		1点	
パンフレット		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
独自イベント		1点	
各種イベントへの出店		1点	
ＨＰ		1点	
広報紙、検針票裏面広告		1点	
パンフレット		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
独自イベント		1点	
出張授業		1点	
ＨＰ		1点	
広報紙、検針票裏面広告		1点	
パンフレット		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
お客さまアンケートにおける広報紙「水先案内」の認知度	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	75%以上	–	75%以上	–	73.6%	98.1%	3点		–	–	–		77.2%	102.9%	4点		–	–	–	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	–	–	–	–	–	–	3点		–	–	–		–	–	4点		–	–	–	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していたイベントなどの事業・取組みが実施できなかったため、代替策として対面なしで実施可能な動画作成等に予算を費やしました。そのため、コストに見合った結果は出ませんでしたが、事業としての目的は概ね達成できました。			・新型コロナウイルス感染症の影響により規模の縮小はあったものの、予定していた広報活動は概ね実施できました。			・予定していた広報活動は計画的に実施することができ、事業の目的は概ね達成できました。			・予定していた広報活動を計画的に実施することができ、事業の目的は概ね達成できました。		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	D	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	4点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、出張授業が中止となりましたが、代替策として動画DVDを作成したり、広報紙「水先案内」では連載企画「スイスイNews」を掲載するなど、戦略的な広報が実施できたと評価しています。 しかしながら、「お客さまアンケート」における水先案内の認知度は73.6%にとどまり、目標値の75%以上は達成できませんでした。			・広報紙「水先案内」では、昨年度に続き集中連載として「水道事業のリアル」を掲載するなど、戦略的な広報活動を実施することができたと評価しています。 ・ ウィズコロナとして、水道週間イベントを再開したほか、「新潟まつり」や「古町どんどん」などの他団体のイベントにも積極的に参加しました。これまでのウォーターバーに加え、新たな試みとして親子を対象とした「水つくり実験」を実施するなど、水道事業をアピールすることができました。 ※評価指標である水先案内の認知度は、事業所向けのお客さまアンケート項目にはないため、評価対象外とします。			・出張授業は次年度からの本格実施に向け、1校の試行と新たなシナリオ作成等を行うとともに水道授業の動画DVDを市内11校に貸し出しました。 ・広報紙「水先案内」では、水道料金改定に向けた情報を積極的に掲載するなど戦略的な広報を実施することができ、「お客さまアンケート」における水先案内の認知度も77.2%と目標の75%以上を達成することができました。			・出張授業を5年振りに再開し、市内13の小学校に計14回授業を行うとともに水道授業の動画DVDを市内2校に貸し出しました。 ・広報紙「水先案内」では、水道料金改定に関連する情報を積極的に掲載するなど戦略的な広報を実施することができました。 ※評価指標である水先案内の認知度は、お客さまアンケート調査を実施しなかったため、評価対象外とします。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	–	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	–	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	–		進捗度	4点	B	進捗度	–	
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	–	0点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	–	0点／10点

④２次評価結果

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【方向性】	**維持**	**拡充**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること．ただし，社会のデジタル化・オンライン化が進む現状においては，多様な手段で戦略的・効果的な広報活動の検討・実施を継続することが望ましい．	計画に沿った事業の推進に際しては，多様な情報媒体・情報伝達機会を効果的に活用し，幅広い層の市民にとって本市水道事業の理解が深まる機会となることが望ましい．	引き続き，計画に沿って事業を推進すること． 料金改定については、引き続き丁寧な説明を行うこと．	引き続き，計画に沿って事業を推進すること．

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅵ	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	Ⅵ－２	お客さまの意見・要望の把握	所管課	総務課

①事業概要

【事業の目的】	本市水道事業における基本理念である「すべてのお客さまに信頼される水道」を実現するためには、お客さまが水道事業に求めるものを的確に把握して施策に反映させるなど、お客さまの視点に立った事業運営に努める必要があります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○お客さまアンケートの実施 ・お客さまアンケートを継続的に実施することにより、お客さまの水道事業に対する意見・要望を的確にとらえ、事業運営の基礎資料とします。 ○水道モニター制度運用 ・水道モニター制度を継続実施します。 ・モニターの皆さんから水道事業への提言をいただき、事業運営の参考とします。 ・いただいた提言は、ホームページで公表します。 （※新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止しました。）	○お客さまアンケートの実施 ・お客さまアンケートを継続的に実施することにより、お客さまの水道事業に対する意見・要望を的確にとらえ、事業運営の基礎資料とします。 ○水道モニター制度運用 ・水道モニター制度を継続実施します。 ・モニターの皆さんから水道事業への提言をいただき、事業運営の参考とします。 ・いただいた提言は、ホームページで公表します。	○お客さまアンケートの実施 ・お客さまアンケートを継続的に実施することにより、お客さまの水道事業に対する意見・要望を的確にとらえ、事業運営の基礎資料とします。 ○水道モニター制度運用 ・水道モニター制度を継続実施します。 ・モニターの皆さんから水道事業への提言をいただき、事業運営の参考とします。 ・いただいた提言は、ホームページで公表します。	○水道モニター制度運用 ・水道モニター制度を継続実施します。 ・モニターの皆さんから水道事業への提言をいただき、事業運営の参考とします。 ・いただいた提言は、ホームページで公表します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	2,658,300	1,440,300	3,836,000	356,300
	執行額（b）	1,480,250	570,000	2,388,315	249,000
	執行率（%）（b）／（a）	56%	39.6%	62.3%	69.9%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	180時間	80時間	66.7%	180時間	80時間	66.7%	180時間	180時間	100%	120時間	120時間	100%
	期間（d） （従事期間）	12ヵ月	8ヵ月		12ヵ月	8ヵ月		12ヵ月	12ヵ月		12ヵ月	12ヵ月	
	単位あたりの作業量（c/d） （月あたりの実働時間）	15時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）	15時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）	15時間 （ア）	15時間 （イ）	（イ／ア）	10時間 （ア）	10時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	新型コロナウイルス感染症の影響から、水道モニター事業は中止しました。	○お客さまアンケートの実施 ・個人向けのアンケートを実施し、水道事業に対するお客さまの評価や意見およびニーズを把握するとともに、お客さま満足度や平成28年度および令和元年度に実施した同調査結果からの経年変化の分析を行いました。 ○水道モニター制度運用 ・新型コロナウイルス感染症の影響から、水道モニター事業は中止しました。	○お客さまアンケートの実施 ・事業所向けのアンケートを実施し、水道水の節水状況や災害時における飲料水の確保、水道局の広報・PRに対する評価や意見およびニーズを把握するとともに、水道事業に対する満足度や平成29年度に実施した同調査結果からの経年変化の分析を行いました。 ○水道モニター制度運用 ・新型コロナウイルス感染症の影響から、水道モニター事業は中止しましたが、令和５年度の再開に向けてモニターの応募および選考を行いました。	○お客さまアンケートの実施 ・個人向けのアンケートを実施し、水道事業に対するお客さまの評価や意見およびニーズを把握するとともに、お客さま満足度や平成28年度、令和元年度および令和３年度に実施した同調査結果からの経年変化の分析を行いました。 ○水道モニター制度運用 ・4年振りに水道モニター事業を再開し、3回の研修会・施設見学会およびモニターから抽出された提言をとりまとめました。 これらの結果は、ホームページに公開すると同時に水道事業運営の参考資料として局内に周知しました。	○お客さまアンケートの実施 ・令和６年度は計画通りアンケート調査は実施しませんでした。 ○水道モニター制度運用 ・予定通り水道モニター事業を実施し、3回の研修会・施設見学会とワークショップを行い、水道モニターからの意見・提言をとりまとめました。 これらの結果は、ホームページに公開すると同時に水道事業運営の参考資料として局内に周知しました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
お客さまアンケート		1点	
水道モニター制度運用			0点
平均（A）	0.5点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
お客さまアンケート		1点	
水道モニター制度運用			0点
平均（A）	0.5点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
お客さまアンケート		1点	
水道モニター制度運用		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
水道モニター制度運用		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
お客さまアンケートの実施	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	実施	実施	実施	－	実施	実施	3点		実施	実施	3点		実施	実施	3点		－	－	－	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	－	
水道モニター活動回数（モニター会議、施設見学会、提言発表会等開催数）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	4回	4回	4回	4回	中止	－	－		中止	－	－		4回	100%	3点		4回	100.0%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	—	—	—	－	－	－		－	－	－		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・お客さまアンケートを計画的に実施し、目的を達成しました。 ・水道モニター事業については、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となりました。 （評価は「お客さまアンケートの実施」のみ）			・お客さまアンケートを計画的に実施し、目的を達成しました。 ・水道モニター事業については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となりました。 （評価は「お客さまアンケートの実施」のみ）			・予算より少ない執行額で予定していたメニューを行い、効率的に事業を実施することができました。 ・お客さまアンケートでは今回からWEB回答を取り入れ、回収率アップを目指したものの、これまでと同様50%弱にとどまりましたが、予定どおり調査を完了できました。 ・水道モニターは、予定を下回る17名による活動となりましたが、計画どおり実施できました。			・水道モニター事業は、予定を下回る18名による活動となりましたが、計画どおり実施しました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・お客さまアンケートについては、お客さまの水道事業に対する評価や意見の把握を行い、今後の事業運営の基礎資料として各所属へ情報提供しました。 水道モニター事業は、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となりました。 （評価は「お客さまアンケートの実施」のみ）			・お客さまアンケートについては、市内事業所を対象とした水道水の節水状況や災害時における飲料水の確保などに対する評価や意見の把握を行い、今後の事業運営の基礎資料として各所属へ情報提供しました。 水道モニター事業は、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となりました。 （評価は「お客さまアンケートの実施」のみ）			・お客さまアンケートは、一般家庭世帯を対象とした水道事業に対する評価や意見の把握を行い、今後の事業運営の基礎資料として各所属へ情報提供しました。 ・水道モニター事業は、予定通りのプログラムを遂行でき、水道モニターから水道事業に対する意見や要望、提言を聴取することができました。			・お客さまアンケートは、マスタープランの計画通り実施しませんでした。また、令和７年度からのアンケート調査の見直しに向け、政令指定都市等の実施状況調査を行いました。 ・水道モニター事業は、予定通りのプログラムを遂行でき、水道モニターから水道事業に対する意見や要望、提言を聴取することができました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【方向性】	**維持**	**拡充**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進し、お客様の意見・要望の把握に努めること	計画に沿った事業の推進に際しては，経営資源を効率的に活用しつつ，多様な利用者の意見・要望を効果的に把握することが望ましい.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅵ	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	Ⅵ－３	分かりやすい経営情報の開示	所管課	経営管理課

①事業概要

【事業の目的】	これからの水道事業に要する費用負担のあり方や経営の効率化に対する取組みなどについて、分かりやすくお客さまにお知らせし、水道事業経営の透明性の向上を図ります。			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	○料金設定の仕組み（水道料金計算方法等）およびコスト情報の提供 ・水道事業の経営情報や水道料金などに関する情報を、広報紙やホームページなどを通じ、積極的に提供。	○料金設定の仕組み（水道料金計算方法等）およびコスト情報の提供 ・水道事業の経営情報や水道料金などに関する情報を、広報紙やホームページなどを通じ、積極的に提供。	○料金設定の仕組み（水道料金計算方法等）およびコスト情報の提供 ・水道事業の経営情報や水道料金などに関する情報を、広報紙やホームページなどを通じ、積極的に提供。	○料金設定の仕組み（水道料金計算方法等）およびコスト情報の提供 ・水道事業の経営情報や水道料金などに関する情報を、広報紙やホームページなどを通じ、積極的に提供。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	120.9時間	120.9時間	100%	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%
	期間（d） （従事職員数）	6人	6人		6人	6人		6人	6人		6人	6人	
	単位あたりの作業量（c/d） （1人あたりの実働時間）	20.1時間 （ア）	20.1時間 （イ）	（イ／ア）	20時間 （ア）	20時間 （イ）	（イ／ア）	20時間 （ア）	20時間 （イ）	（イ／ア）	20時間 （ア）	20時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・広報紙「水先案内」に予算及を掲載しました。また、水道事業について集中連載（夏・秋・冬号）をしました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び令和元年度事務事業評価の結果、新・マスタープランの結果をホームページで公表しました。 ・総務省通知「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、令和元年度水道会計決算の経営比較分析表をホームページで公表しました。 ・新・マスタープラン後期実施計画を策定し、ホームページで公表しました。	・広報紙「水先案内」に予算概要を掲載しました。また、水道事業について集中連載（夏・秋・冬号）をしました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び令和２年度事務事業評価の結果、新・マスタープラン中期実施計画の結果をホームページで公表しました。 ・「総務省通知「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、令和２年度水道会計決算の経営比較分析表をホームページで公表しました。	・広報紙「水先案内」に予算概要を掲載しました。また、水道事業について集中連載（夏・秋・冬号）をしました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び令和３年度事務事業評価の結果をホームページで公表しました。 ・「総務省通知「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、令和3年度水道会計決算の経営比較分析表をホームページで公表しました。	・広報紙「水先案内」に予算概要及び料金改定についての審議経過を掲載しました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び令和４年度事務事業評価の結果をホームページで公表しました。 ・「総務省通知「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、令和４年度水道会計決算の経営比較分析表をホームページで公表しました。	・広報紙「水先案内」に予算概要及び料金改定について特集を掲載しました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び令和５年度事務事業評価の結果をホームページで公表しました。 ・「総務省通知「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、令和５年度水道会計決算の経営比較分析表をホームページで公表しました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
料金の仕組み及びコスト情報の提供		1点	
経営効率化に関する取り組み情報の提供		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
料金の仕組み及びコスト情報の提供		1点	
経営効率化に関する取り組み情報の提供		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
料金の仕組み及びコスト情報の提供		1点	
経営効率化に関する取り組み情報の提供		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
料金の仕組み及びコスト情報の提供		1点	
経営効率化に関する取り組み情報の提供		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
料金の仕組みやコスト情報の提供（HP,水先案内に掲載）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	2回/年以上	2回/年以上	2回/年以上	2回/年以上	実施(３回)	実施	3点		実施(３回)	実施	3点		実施(３回)	実施	3点		実施(３回)	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
経営効率化に関する取組情報の提供（HP,水先案内に掲載）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	2回/年以上	2回/年以上	2回/年以上	2回/年以上	実施（２回）	実施	3点		実施（２回）	実施	3点		実施（２回）	実施	3点		実施（２回）	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	―	―	―	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・水道事業の仕組みについての情報、経営効率化に関する取組み情報の提供を予定通り行いました。 ・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・水道事業の仕組みについての情報、経営効率化に関する取組み情報の提供を予定通り行いました。 ・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・水道事業の仕組みについての情報、経営効率化に関する取組み情報の提供を予定通り行いました。 ・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・経営情報、経営効率化に関する取組み情報の提供を予定通り行いました。 ・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・水道事業の仕組みについての情報、経営効率化に関する取り組み情報等について、イラストや図表で分かりやすく広報紙「水先案内」及びホームページで提供しました。 ・引き続き分かりやすい内容での情報提供となるように努めます。			・水道事業の仕組みについての情報、経営効率化に関する取り組み情報等について、イラストや図表で分かりやすく広報紙「水先案内」及びホームページで提供しました。 ・引き続き分かりやすい内容での情報提供となるように努めます。			・水道事業の仕組みについての情報、及び料金改定についての審議経過を可能な限り迅速に、イラストや図表で分かりやすく広報紙「水先案内」及びホームページで提供しました。 ・引き続き分かりやすい内容での情報提供となるように努めます。			・経営情報及び料金改定の内容について、可能な限り迅速に、イラストや図表で分かりやすく広報紙「水先案内」及びホームページで提供しました。 ・引き続き分かりやすい内容での情報提供となるように努めます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**拡充**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	計画に沿った事業の推進に際しては，開示される経営情報のわかりやすさに対して十分に配慮したうえで，利用者である市民にとって本市水道事業の経営状況・環境に対する理解が深まるような工夫を講じることが望ましい.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅵ	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	Ⅵ－４	放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	所管課	経営管理課

①事業概要

【事業の目的】	放射性物質を含む浄水汚泥について、厳重な保管・管理を徹底するとともに、水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度の検査結果、浄水場等における放射線量などについて、お客さまに対し情報提供を行います。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理・処分。 ・通常発生する200bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用を継続。 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続。 ・ホームページ等による検査結果の情報提供を継続。 ・8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、国・県への積極的な要望を継続。	○厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理・処分。 ・通常発生する200bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用を継続。 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続。 ・ホームページ等による検査結果の情報提供を継続。 ・8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、国・県への積極的な要望を継続。 ・満願寺浄水場で保管している8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥を特措法に基づく指定解除に伴い、産業廃棄物として処分。	○厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理・処分。 ・通常発生する200bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用を継続。 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続。 ・ホームページ等による検査結果の情報提供を継続。 ・8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、国・県への積極的な要望を継続。 ・阿賀野川浄水場で保管している8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥について、国に協力し放射性物資濃度の再測定を実施。	○厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理・処分。 ・通常発生する200bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用を継続。 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続。 ・ホームページ等による検査結果の情報提供を継続。 ・阿賀野川浄水場で保管している8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、特措法に基づく指定解除後、全量を産業廃棄物として処分。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0（182,837,250）	0（212,336,000）	0（140,201,000）	0（279,061,000）
	執行額（b）	0（133,988,191）	0（174,989,745）	0（104,286,012）	0（146,343,000）
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	444.6時間	219時間	74.0%	219時間	196時間	74.5%	196時間	159時間	117.1%	159時間	25時間	64.6%
	期間（d） （従事職員数）	60人	40人		40人	48人		48人	33人		33人	8人	
	単位あたりの作業量（c/d） （1人あたりの実働時間）	7.4時間 （ア）	5.5時間 （イ）	（イ／ア）	5.5時間 （ア）	4.1時間 （イ）	（イ／ア）	4.1時間 （ア）	4.8時間 （イ）	（イ／ア）	4.8時間 （ア）	3.1時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥を厳重に保管・管理しました。 ・200bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を有効活用しました。 ・水道水、河川水及び浄水汚泥の放射性物質濃度並びに浄水場周辺の放射線量を検査しました。 ・放射性物質濃度及び放射線量の検査結果をホームページ等で情報提供しました。 ・8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、環境省及び新潟県に対して、日水協新潟県支部として要望書を提出しました。	厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥を厳重に保管・管理しました。 ・200bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を有効活用しました。 ・水道水、河川水及び浄水汚泥の放射性物質濃度並びに浄水場周辺の放射線量を検査しました。 ・放射性物質濃度及び放射線量の検査結果をホームページ等で情報提供しました。 ・8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、環境省及び新潟県に対して、日水協新潟県支部として要望書を提出しました。 ・満願寺浄水場で保管している8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥について、国が放射性物質濃度の再測定を実施した結果、特措法に規定する基準値を下回ることが確認できたことから、具体的な処分の実施に向けた準備を行いました。	厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥を厳重に保管・管理しました。 ・200bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を有効活用しました。 ・水道水、河川水及び浄水汚泥の放射性物質濃度並びに浄水場周辺の放射線量を検査しました。 ・放射性物質濃度及び放射線量の検査結果をホームページ等で情報提供しました。 ・8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、環境省及び新潟県に対して、日水協新潟県支部として要望書を提出しました。 ・満願寺浄水場で保管している放射性物質を含む浄水汚泥を、特措法に基づく指定解除に伴い、産業廃棄物として処分しました。	厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥を厳重に保管・管理しました。 ・200bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を有効活用しました。 ・水道水、河川水及び浄水汚泥の放射性物質濃度並びに浄水場周辺の放射線量を検査しました。 ・放射性物質濃度及び放射線量の検査結果をホームページ等で情報提供しました。 ・8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、環境省及び新潟県に対して、日水協新潟県支部として要望書を提出しました。 ・阿賀野川浄水場で保管している8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥について、国が放射性物質濃度の再測定を実施した結果、特措法に規定する基準値を下回ることが確認できたことから、具体的な処分の実施に向けた準備を行いました。	厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥を厳重に保管・管理しました。 ・200bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を有効活用しました。 ・水道水、河川水及び浄水汚泥の放射性物質濃度並びに浄水場周辺の放射線量を検査しました。 ・放射性物質濃度及び放射線量の検査結果をホームページ等で情報提供しました。 ・阿賀野川浄水場で保管していた8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥について、特措法に規定する基準値を下回ったことから、保管されていた浄水汚泥をすべて処分しました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施		1点	
平均（A）	1点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
汚泥保管施設における放射線量測定結果の情報開示の継続	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	開示	開示	開示	開示	開示	実施	3点		開示	実施	3点		開示	実施	3点		開示	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
放射性物質濃度の分析調査結果の情報開示の継続	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	開示	開示	開示	開示	開示	実施	3点		開示	実施	3点		開示	実施	3点		開示	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・今年度予定されていた取組内容については，計画通り実施しました。			・今年度予定されていた取組内容については，計画通り実施しました。			・今年度予定されていた取組内容については，計画通り実施しました。			・今年度予定されていた取組内容については，計画通り実施しました。 ・阿賀野川浄水場で保管していた8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥について、特措法に規定する基準値を下回ったことから、保管されていた浄水汚泥をすべて処分しました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	4点	B
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・「汚泥保管施設における放射線量測定」及び「放射性物質濃度の分析調査」の結果について、お客さまに対して適切に情報を開示しました。 ・国による満願寺浄水場指定廃棄物の放射性物質濃度再測定について、その結果をお客さまに適切に情報を開示しました。			・「汚泥保管施設における放射線量測定」及び「放射性物質濃度の分析調査」の結果について、お客さまに対して適切に情報を開示しました。 ・満願寺浄水場で保管している放射性物質を含む浄水汚泥を、特措法に基づく指定解除に伴い、産業廃棄物として処分しました。			・「汚泥保管施設における放射線量測定」及び「放射性物質濃度の分析調査」の結果について、お客さまに対して適切に情報を開示しました。 ・国による阿賀野川浄水場指定廃棄物の放射性物質濃度再測定について、その結果をお客さまに適切に情報を開示しました。			・「汚泥保管施設における放射線量測定」及び「放射性物質濃度の分析調査」の結果について、お客さまに対して適切に情報を開示しました。 ・阿賀野川浄水場で保管していた8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥について、特措法に規定する基準値を下回ったことから、保管されていた浄水汚泥をすべて処分しました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅶ	技術・知識を有する人材の確保と育成	事業・取組名	Ⅶ－１	人材育成と専門性の強化	所管課	総務課

①事業概要

【事業の目的】	水道事業は専門性が高いために継承すべき技術が多く、施設整備計画の策定、設計施工管理、危機管理および現場対応力など、これらはいずれも高度な知識と経験が求められます。事業の持続のためには、専門知識と実務経験を併せ持つ職員の確保と育成が重要となります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。 ○各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し、研修計画を適宜、見直しながら充実を図ります。 ○水道研修センターの効果的運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。	○技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。 ○各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し、研修計画を適宜、見直しながら充実を図ります。 ○水道研修センターの効果的運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。	○技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。 ○各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し、研修計画を適宜、見直しながら充実を図ります。 ○水道研修センターの効果的運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。	○技術系・事務系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・R5より開始した事務系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。 ○各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し、研修計画を適宜、見直しながら充実を図ります。 ○水道研修センターの効果的運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	4,114,000	5,932,000	6,470,000	7,180,000
	執行額（b）	4,034,682	3,044,625	3,915,142	4,594,270
	執行率（%）（b）／（a）	98.1%	51.3%	60.5%	64.0%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	1900時間	1900時間	100%	1900時間	1900時間	100%	1900時間	1900時間	100%	1900時間	1900時間	100%
	期間（d） （作業従事職員数）	1人	1人		1人	1人		1人	1人		1人	1人	
	単位あたりの作業量（c/d） （１人年あたりの年間作業時間）	1900時間 （ア）	1900時間 （イ）	（イ／ア）	1900時間 （ア）	1900時間 （イ）	（イ／ア）	1900時間 （ア）	1900時間 （イ）	（イ／ア）	1900時間 （ア）	1900時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、既卒者及び民間企業等経験者などを対象とした追加募集採用試験を実施し、人材の確保に努めました。 ・新規採用職員（技術職）のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、職員研修基本計画に基づき可能と判断した研修を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、水道研修センターについては、計画的な研修に活用したほか、積極的な実施を推奨している職場内ＯＦＦ－ＪＴの会場としても活用しました。	○技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、既卒者及び民間企業等経験者などを対象とした追加募集採用試験を実施するなど、人材の確保に努めました。 ・新規採用職員（技術職）のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。 ○各種研修の実施 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、職員研修基本計画に基づき、可能と判断した研修を行いました。 ○水道研修センターの効果的運用 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、計画的な研修に活用したほか、積極的な実施を推奨している職場内OFF-JTの会場としても活用しました。	○技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、既卒者及び民間企業等経験者などを対象とした追加募集採用試験を実施するなど、人材の確保に努めました。 ・新規採用職員（技術職）のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。 ○各種研修の実施 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、職員研修基本計画に基づき、研修を行いました。 ○水道研修センターの効果的運用 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、計画的な研修に活用したほか、積極的な実施を推奨している職場内OFF-JTの会場としても活用しました。	○技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、今年度から新規で事務系新規採用職員の独自採用方式も開始しました。また、既卒者及び民間企業等経験者などを対象とした追加募集採用試験を実施するなど、人材の確保に努めました。 ・新規採用職員（技術職）のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。 ○各種研修の実施 ・職員研修基本計画に基づき、研修を行いました。また、受講者アンケートの結果に基づき、各部において研修体系や内容の見直しに着手しました。 ○水道研修センターの効果的運用 ・職員研修計画に基づく研修に活用したほか、積極的な実施を推奨している職場内OFF-JTの会場としても活用しました。	○技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 ・事務系・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、既卒者及び民間企業等経験者などを対象とした追加募集採用試験を実施するなど、人材の確保に努めました。 ・新規採用職員（技術職）のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。 ○各種研修の実施 ・職員研修基本計画に基づき、研修を行いました。また、受講者アンケートの結果に基づき、各部において研修体系や内容の見直しを進めました。 ○水道研修センターの効果的運用 ・職員研修計画に基づく研修に活用したほか、積極的な実施を推奨している職場内OFF-JTの会場としても活用しました。

	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
技術系新規採用職員の独自採用、教育配転			1点		技術系新規採用職員の独自採用、教育配転		1点		技術系新規採用職員の独自採用、教育配転		1点		技術系新規採用職員の独自採用、教育配転		1点	
各種研修の実施				0点	各種研修の実施		1点		各種研修の実施		1点		各種研修の実施		1点	
水道研修センターの運用			1点		水道研修センターの運用		1点		水道研修センターの運用		1点		水道研修センターの運用		1点	
平均（A）	0.7点				平均（A）	1点			平均（A）	1点			平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
年間内部研修実施時間（延べ年間研修時間／年度末職員数）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	18.6時間／人	19.4時間／人	20.2時間／人	21.0時間／人	7.9時間	42.5%	1点		12.4時間	63.9%	1点		15.3時間	75.7%	1点		17.8時間	84.8%	2点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	1点		－	－	1点		－	－	1点		－	－	2点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、予算の範囲内で、必要な研修を実施しました。密を伴う施設見学や実技研修を中止したため、費用や作業量に対する実施効率は悪化しました。			・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、予算の範囲内で、必要な研修を実施しました。			・予算の範囲内で、必要な研修を実施しました。 ・研修時間だけでなく、内部研修の体系や内容が効果あるものとなるようブラッシュアップを図るよう取組みを始めました。			・予算の範囲内で、必要な研修を実施しました。 ・研修時間だけでなく、内部研修の体系や内容が効果あるものとなるよう次年度に向け見直しを図るよう取組みを進めました。		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	D	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	4点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、可能と判断した研修を実施しましたが、密を伴う施設見学や実技研修、イベント参加型研修などが中止となったため、十分な研修時間の確保はできませんでした。			・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、階層別研修や専門別研修などを計画的に実施するとともに、職場内OFF-JTを推奨し報告漏れのないようアナウンスしましたが、目標の研修時間を達成することはできませんでした。			・階層別研修や専門別研修などを計画的に実施するとともに、職場内OFF-JTを推奨し報告漏れのないようアナウンスしましたが、目標の研修時間を達成することはできませんでした。			・階層別研修や専門別研修などを計画的に実施するとともに、職場内OFF-JTを積極的に進め、報告漏れのないようアナウンスしましたが、目標の研修時間を達成することはできませんでした。		
評価結果	達成度	1点	総合評価	達成度	1点	総合評価	達成度	1点	総合評価	達成度	2点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	1点	E	進捗度	1点	E	進捗度	1点	E	進捗度	2点	D
	外的要因加点	0点	2点／10点	外的要因加点	0点	2点／10点	外的要因加点	0点	2点／10点	外的要因加点	0点	4点／10点

④２次評価結果

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、コロナ禍が長期化していることもあり、必要に応じて、多様な方法・手段により職員の資質向上のための各種取り組みの実施を検討すること	引き続き，計画に沿って事業を推進すること．なお，コロナ禍以降，オンライン形式での研修・講習も定着しつつあることもあり，多様な方法・手段により職員の資質向上のための各種取り組みの実施を検討するだけでなく，研修等人材育成に関する各種取り組みの体系化を図ることが望ましい，	引き続き，計画に沿って事業を推進すること． なお、より効果的な人材育成方法・システムを検討することが望ましい．	引き続き，計画に沿って事業を推進すること． なお、より効果的な人材育成方法・システムを検討することが望ましい．

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅶ	技術・知識を有する人材の確保と育成	事業・取組名	Ⅶ－２	諸外国との水道技術研究交流	所管課	総務課

①事業概要

【事業の目的】	我が国の水道事業は高度な技術のもと管理・運営されており、世界のトップランナーとして国際的にも高い評価を得ていることから、その技術・経験を国際貢献・国際協力に生かすことが期待されています。本市においても、水道技術の国際交流を通した中で、国際的な視野と見識を持った人材の育成を図ります。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○国際会議等への積極的な参加 ・日米台水道地震対策ワークショップへの参加 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加 ○インターンシップの受入 ・外国人留学生のインターンシップ受入 （新潟大学との連携）	○国際会議等への積極的な参加 ・水道技術国際シンポジウムへの参加 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加	○国際会議等への積極的な参加 ・水道技術国際シンポジウムへの参加 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加	○国際会議等への積極的な参加 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	299,973	127,073	127,073	44,600
	執行額（b）	0	0	41,745	0
	執行率（%）（b）／（a）	0%	0%	32.8%	0%

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	9時間	6時間	66%	6時間	3時間	50%	6時間	3時間	50%	3時間	3時間	100%
	期間（d） （作業従事職員数）	1人	1人		1人	1人		1人	1人		1人	1人	
	単位あたりの作業量（c/d） （1人あたりの年間作業時間）	9時間 （ア）	6時間 （イ）	（イ／ア）	6時間 （ア）	3時間 （イ）	（イ／ア）	6時間 （ア）	3時間 （イ）	（イ／ア）	3時間 （ア）	3時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○コロナ禍の影響により，実際に対面しての会議はありませんでしたが，代替開催されたWeb会議に参加し，先進都市の諸外国への貢献事例や課題，方向性等の情報収集を行いました。 ・自治体水道国際展開プラットフォームに2名Web参加（令和3年1月21日実施） ○外国人留学生のインターンシップは，コロナ禍に伴いWeb実施及び縮小実施となり，当局においての受け入れはありませんでした。（令和3年2月13日　成果発表会にはWeb参加）	○コロナ禍の影響により、実際に対面しての会議はありませんでしたが、代替開催されたWeb会議に参加し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 ・日米台水道地震対策ワークショップ（中止） ・自治体水道国際展開プラットフォームに1名Web参加（令和4年1月12日実施） ○外国人留学生のインターンシップは、コロナ禍に伴いWeb実施及び縮小実施となり、当局においての受け入れはありませんでした。（令和4年3月2日　成果発表会には参加）	○コロナ禍の影響により、実際に対面しての会議はありませんでしたが、代替開催されたWeb会議に参加し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 ・水道技術国際シンポジウム（中止） ・自治体水道国際展開プラットフォームに2名Web参加（令和5年1月11日実施）	○コロナ禍の影響により中止されたものもありましたが、国際会議等に職員を派遣し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 ・水道技術国際シンポジウム（中止） ・東京都で開催された自治体水道国際展開プラットフォームに2名参加（令和6年2月8日実施）	○国際会議にWeb参加し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 ・自治体水道国際展開プラットフォームに2名Web参加（令和7年1月17日実施）

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
自治体水道国際展開プラットフォームへの参加		1点	
国際インターンシップの受け入れ			0点
平均（A）	0.5点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
水道技術国際シンポジウムへの参加			0点
自治体水道国際展開プラットフォームへの参加		1点	
平均（A）	0.5点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
水道技術国際シンポジウムへの参加			0点
自治体水道国際展開プラットフォームへの参加		1点	
平均（A）	0.5点		

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
自治体水道国際展開プラットフォームへの参加		1点	
平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
国際研修等への参加人数	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	3人	1人	2人	2人	1人	33%	1点		2人	200%	5点		2人	100%	3点		2人	100%	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	1点		－	－	5点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
		―																		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・コロナ禍のため、対面の会議が中止されるなど、制約もありましたが、Webによる自治体水道国際展開プラットフォームへの参加により、先進都市の諸外国への貢献事例等の最新情報を収集することができました。			・コロナ禍のため、対面の会議が中止されるなど、制約もありましたが、Webによる自治体水道国際展開プラットフォームへの参加により、先進都市の諸外国への貢献事例等の最新情報を収集することができました。			・会議での報告内容を通して、先進都市の諸外国への貢献事例等の最新情報を収集することができました。			・会議での報告内容を通して、先進都市の諸外国への貢献事例等の最新情報を収集することができました。 ・Web参加としたことにより、出張経費を執行せず予算効率が向上したため、評価が上がりました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	7点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・コロナ禍の影響により、会議の中止等がありましたが、参加した会議においては、報告内容や参加者間での意見交換を通して、国際的視野及び知識を持った人材の育成につなげていくことができました。			・コロナ禍の影響により、会議の中止等がありましたが、参加した会議においては、報告内容や参加者間での意見交換を通して、国際的視野及び知識を持った人材の育成につなげていくことができました。			・コロナ禍の影響により、会議の中止等がありましたが、参加した会議においては、報告内容や参加者間での意見交換を通して、国際的視野及び知識を持った人材の育成につなげていくことができました。			・参加した会議においては、報告内容や参加者間での意見交換を通して、国際的視野及び知識を持った人材の育成につなげていくことができました。		
評価結果	達成度	1点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	1点	E	進捗度	5点	A	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	2点／10点	外的要因加点	0点	10点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅷ	環境に配慮した事業運営	事業・取組名	Ⅷ－１	建設副産物の再利用促進	所管課	技術管理室

①事業概要

【事業の目的】	建設副産物の再利用により、CO2排出量の削減や省エネルギー化を図り、環境保全への社会的責任を果たします。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○建設発生土の有効利用促進、リサイクル率向上方策の検討 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、リサイクル率向上のための方策を検討し、現場内で掘削土を改良する機械の開発や高ｐＨ対策などのフィールド提供を行い、新技術の開発を促進します。	○建設発生土の有効利用促進、リサイクル率向上方策の検討 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、リサイクル率向上のための方策を検討し、現場内で掘削土を改良する機械の開発や高ｐＨ対策などのフィールド提供を行い、新技術の開発を促進します。	○建設発生土の有効利用促進、リサイクル率向上方策の検討 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、リサイクル率向上のための方策を検討し、現場内で掘削土を改良する機械の開発や高ｐＨ対策などのフィールド提供を行い、新技術の開発を促進します。	○建設発生土の有効利用促進、リサイクル率向上方策の検討 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、リサイクル率向上のための方策を検討し、現場内で掘削土を改良する機械の開発や高ｐＨ対策などのフィールド提供を行い、新技術の開発を促進します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（ｃ） （実働時間）	10時間	10時間	100%	10時間	10時間	100%	10時間	10時間	100%	10時間	10時間	100%
	期間（ｄ） （従事職員数）	２人	２人		２人	２人		２人	2人		2人	2人	
	単位あたりの作業量（ｃ/d） （1人あたりの実働時間）	５時間 （ア）	５時間 （イ）	（イ／ア）	５時間 （ア）	５時間 （イ）	（イ／ア）	５時間 （ア）	5時間 （イ）	（イ／ア）	5時間 （ア）	5時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・建設リサイクル法に基づき，アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・平成30年度より，建設副産物に関する集計機関が変更されたことにより，土質改良による発生土のリサイクル率抽出について従前の方法(改良土採用工事の発生土量における採用率)では算出できなくなったことから再生率については，全工事における発生土の土質改良の割合となる。(再生率1.6%) ・建設発生土については，最終処分を必要とする発生土が少なかったこともあり，改良土を含む有効利用率は96.2%となった。 ・建設副産物全体のリサイクル率は97.2%と高い達成率となった。	・建設リサイクル法に基づき，アスファルト廃材及びコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。 （再生率100%） ・建設発生土については，最終処分を必要とする発生土が少なかったこともあり，改良土を含む有効利用率は99.6%となった。 ・建設副産物全体のリサイクル率は99.7%と昨年度より更に高い達成率となった。	・建設リサイクル法に基づき，アスファルト廃材及びコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。 （再生率100%） ・建設発生土については，採石場跡地復旧等を含む有効利用率は92.2%となりました。 ・建設副産物全体のリサイクル率は94.1%と目標を大きく上回る達成率となりましたが，昨年度よりは減少となりました。	・建設リサイクル法に基づき，アスファルト廃材及びコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。 （再生率100%） ・建設発生土については，採石場跡地復旧等を含む有効利用率は99.1%となりました。 ・建設副産物全体のリサイクル率は99.3%と目標を上回る達成率となり、昨年度を上回りました。	・建設リサイクル法に基づき，アスファルト廃材及びコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。 （再生率100%） ・建設発生土については，採石場跡地復旧等を含む有効利用率は99.8%となりました。 ・建設副産物全体のリサイクル率は99.7%と目標を上回る達成率となり、昨年度を上回りました。

	予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～		予定を上回る101%以上	予定どおり90%～100%以下	予定を下回る90%未満～
建設発生土の有効利用の促進	2点			建設副産物のリサイクル率	2点			建設副産物のリサイクル率	2点			建設副産物のリサイクル率	2点		
平均（A）	2点			平均（A）	2点			平均（A）	2点			平均（A）	2点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
建設副産物のリサイクル率	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	85%	85%	85%	85%	99.7%	117.3%	5点		94.1%	110.7%	5点		99.3%	116.8%	5点		99.7%	117.3%	5点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	–	–	–	–	–	–	5点		–	–	5点		–	–	5点		–	–	5点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・改良土については対象の工事が限定され，改良プラントの閉鎖等の関係からも今後利用率が更に減少していくものと思われる。しかし，平成30年度に再資源化対象項目の改訂により，全体のリサイクル率は高い水準で推移していくと推測される。			・建設発生土については、採石場跡地復旧が定着し今後も有効利用が図られ、利用率は高水準が継続していくものと思われます。			・建設発生土については、有効利用が図られ、今後も利用率は高水準が継続していくものと思われます。			・建設発生土については、残土の有効利用の促進について、事業者間で定着するなど今後も高水準で有効利用が継続していくものと思われます。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	B	作業効率	4点	B	作業効率	4点	B	作業効率	4点	B
	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点	外的要因加点	0点	8点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・アスファルト廃材とコンクリート廃材は100%再利用しており，引き続き完全なリサイクルとなるよう促進していかなければならない。また，建設発生土に関しては有効利用及び集計の適正化を図ることで昨年度より更にリサイクル率が上昇した。			・アスファルト廃材とコンクリート廃材は100%再利用しており，引き続き完全なリサイクルとなるよう促進してまいります。また，建設発生土に関しては有効利用の促進及び集計業務の適正化を図りましたが、建設発生土有効利用率の減少によりリサイクル率が昨年度より減少しました。			アスファルト廃材及びコンクリート廃材については、再資源化率が100%で推移しており、今後も継続されるものと思います。また、建設発生土についても、昨年度から採石場跡地復旧や農地転用等の利用の取組みが継続的に行われており、そのため有効利用率が向上し、次年度以降も継続するものと思います。			アスファルト廃材及びコンクリート廃材については、再資源化率が100%で推移しており、今後も継続されるものと思います。また、建設発生土についても、利用についての取組みが定着するなど有効利用率が向上しており、そのため建設副産物全体でのリサイクリル率も向上しています。		
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	5点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度	5点	A	進捗度	5点	A	進捗度	5点	A
	外的要因加点	0点	10点／10点	外的要因加点	0点	10点／10点	外的要因加点	0点	10点／10点	外的要因加点	0点	10点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.

新・マスタープラン事業評価管理シート

施　策	Ⅷ	環境に配慮した事業運営	事業・取組名	Ⅷ－２	水道局環境計画の策定と推進	所管課	経営管理課

①事業概要

【事業の目的】	水道局として環境負荷の少ない水作りを推進するため、環境負荷低減に向けた取り組みを推進していきます。			
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	○再生可能エネルギー等の有効利用 ・施設整備に併せ、再生可能エネルギー等の有効活用を検討。 ○環境報告書の作成・公表 ・環境報告書の作成および公表を実施します。 ○省エネルギー対策の推進 ・施設整備に併せ省エネルギー型の施設・設備に切り替えます。	○再生可能エネルギー等の有効利用 ・施設整備に併せ、再生可能エネルギー等の有効活用を検討。 ○環境報告書の作成・公表 ・環境報告書の作成および公表を実施します。 ○省エネルギー対策の推進 ・施設整備に併せ省エネルギー型の施設・設備に切り替えます。	○再生可能エネルギー等の有効利用 ・施設整備に併せ、再生可能エネルギー等の有効活用を検討。 ○環境報告書の作成・公表 ・環境報告書の作成および公表を実施します。 ○省エネルギー対策の推進 ・施設整備に併せ省エネルギー型の施設・設備に切り替えます。	○再生可能エネルギー等の有効利用 ・施設整備に併せ、再生可能エネルギー等の有効活用を検討。 ○環境報告書の作成・公表 ・環境報告書の作成および公表を実施します。 ○省エネルギー対策の推進 ・施設整備に併せ省エネルギー型の施設・設備に切り替えます。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算額（a）	0	0	0	0
	執行額（b）	0	0	0	0
	執行率（%）（b）／（a）	－	－	－	－

【時間・体制（人員）】 時間（人員）はどれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量（c） （実働時間）	24時間	24時間	100%	24時間	24時間	100%	24時間	24時間	100%	24時間	24時間	100%
	期間（d） （従事職員数）	1人	1人		1人	1人		1人	1人		1人	1人	
	単位あたりの作業量（c/d） （1人あたりの実働時間）	24時間 （ア）	24時間 （イ）	（イ／ア）	24時間 （ア）	24時間 （イ）	（イ／ア）	24時間 （ア）	24時間 （イ）	（イ／ア）	24時間 （ア）	24時間 （イ）	（イ／ア）

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	令和２年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	・環境報告書を作成し、ホームページ等に公表するなど、環境施策の情報提供を行いました。	・環境報告書を作成し、ホームページ等に公表するなど、環境施策の情報提供を行いました。 ・市環境部の提案による民間事業者との再生可能エネルギーの地産地消に係る協定に基づき、満願寺浄水場に電力供給する第三者保有モデル（ＰＰＡ）による太陽光発電設備を設置しました。	・環境報告書を作成し、ホームページ等に公表するなど、環境施策の情報提供を行いました。 ・市環境部の提案による民間事業者との再生可能エネルギーの地産地消に係る協定に基づき、第三者保有モデル（ＰＰＡ）により、満願寺浄水場に設置した太陽光発電設備の運用を開始しました。	・環境報告書を作成し、ホームページ等に公表するなど、環境施策の情報提供を行いました。 ・市環境部の提案による民間事業者との再生可能エネルギーの地産地消に係る協定に基づき、第三者保有モデル（ＰＰＡ）により、満願寺浄水場に設置した太陽光発電設備の運用を継続しています。	・環境報告書を作成し、ホームページ等に公表するなど、環境施策の情報提供を行いました。 ・市環境部の提案による民間事業者との再生可能エネルギーの地産地消に係る協定に基づき、第三者保有モデル（ＰＰＡ）により、満願寺浄水場に設置した太陽光発電設備の運用を継続しています。

	令和3年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	・水道局環境計画の運用		1点	
	・環境報告書の作成・公表		1点	
	・省エネルギー対策の推進		1点	
	平均（A）	1点		

	令和4年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	・水道局環境計画の運用		1点	
	・環境報告書の作成・公表		1点	
	・省エネルギー対策の推進		1点	
	平均（A）	1点		

	令和5年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	・水道局環境計画の運用		1点	
	・環境報告書の作成・公表		1点	
	・省エネルギー対策の推進		1点	
	平均（A）	1点		

	令和6年度	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～100%以下	予定を下回る 90%未満～
	・水道局環境計画の運用		1点	
	・環境報告書の作成・公表		1点	
	・省エネルギー対策の推進		1点	
	平均（A）	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目（評価指標）	目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
環境報告書の作成・公表	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	作成・公表	作成・公表	作成・公表	作成・公表	作成・公表	実施	3点		作成・公表	実施	3点		作成・公表	実施	3点		作成・公表	実施	3点	
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点
	－	－	－	－	－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点		－	－	3点	
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
		―																		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）		0点	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		
	目標（B）	目標（B）	目標（B）	目標（B）	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点	実　績（D）	達成度（D／B）		外的要因加点
	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	目標累計（C）	実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）			実績累計（E）	進捗度（E／C）		

■評価結果

所管評価	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・環境計画の運用や環境報告書の作成・公表を予定通り実施しました。 ・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・環境計画の運用や環境報告書の作成・公表を予定通り実施しました。 ・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・環境計画の運用や環境報告書の作成・公表を予定通り実施しました。 ・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			・環境計画の運用や環境報告書の作成・公表を予定通り実施しました。 ・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・環境報告書の策定、公表を行い、環境施策と効果について市民に情報提供を行いました。 ・進捗度は事業の性質上評価ができませんでした。			・環境報告書の策定、公表を行い、環境施策と効果について市民に情報提供を行いました。 ・進捗度は事業の性質上評価ができませんでした。			・環境報告書の策定、公表を行い、環境施策と効果について市民に情報提供を行いました。 ・進捗度は事業の性質上評価ができませんでした。			・環境報告書の策定、公表を行い、環境施策と効果について市民に情報提供を行いました。 ・進捗度は事業の性質上評価ができませんでした。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点	外的要因加点	0点	6点／10点

④２次評価結果

【方向性】	**維持**	**維持**	**維持**	**維持**
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.	引き続き，計画に沿って事業を推進すること.